

DIRECT STREAMING AV MIXER

VR-6HD



各部の名称とはたらき	4	動画を再生する（ビデオ・プレーヤー）.....	30
◇ トップ・パネル	4	VIDEO SWITCHER ボタンに動画を割り当てる	30
◇ フロント・パネル	6	最終出力に動画を挿入する	30
◇ リア・パネル	7	◇ 入力映像を静止する（フリーズ）.....	31
◇ Bluetooth® 機器の接続	8	動作モードを設定する	31
Bluetooth オーディオ機器を登録する（ペアリング）.....	8	フリーズ機能をオン／オフする	31
ペアリング済みの Bluetooth 機器を接続する.....	8	◇ 最終出力映像をフェード・イン／アウトする	32
◇ フットスイッチの接続	9	映像合成の操作	33
◇ 電源を入れる／切る	10	◇ ピクチャー・イン・ピクチャー（PinP）で映像を合成する.....	33
◇ メニューを操作する.....	10	子画面の詳細を設定する.....	34
◇ セットアップ画面を操作する	11	◇ ダウンストリーム・キーヤー（DSK）で映像を合成する	35
◇ モニターの表示を切り替える	12	DSK モードについて	35
◇ SD カードについて	13	テロップや画像を合成する（ルミナンス・キー）.....	36
SD カードを挿す.....	13	被写体と背景を合成する（クロマ・キー）.....	37
SD カードをフォーマットする	13	アルファ・チャンネル付き静止画を合成する	39
SD カードを抜く.....	13	エクスターナル・キーを使う	40
◇ USB メモリーについて	13	音声の操作	41
USB メモリーをフォーマットする	13	◇ 音声ソースを割り当てる	41
USB メモリーを抜く	13	◇ 入力ゲイン（感度）を調節する.....	41
映像の入出力設定	14	◇ 音量バランスを調節する	42
◇ 映像の入出力フォーマットを設定する.....	14	ミキサー画面で音量バランスを調節する	43
システム・フォーマットを設定する.....	14	◇ 入力音声にエフェクトをかける	44
VIDEO IN 1 ～ 6 端子の入力フォーマットを設定する	14	エフェクト・プリセットを使う.....	45
◇ 映像ソースを割り当てる	15	Web 会議システムのエコーを除去する （エコー・キャンセラー）.....	46
◇ 出力映像を調節する	15	ハウリングを軽減する（アンチ・フィードバック）.....	46
◇ 入力映像を調節する	16	声のキャラクターを変える（ボイス・チェンジャー）.....	46
◇ 出力端子に映像バスを割り当てる	17	映像と音声のズレを補正する（ディレイ）.....	46
◇ AUX バスに送る映像を選ぶ.....	17	リバーブをかける	47
◇ 著作権保護（HDCP）された映像を入力する	18	◇ 出力音声にエフェクトをかける	48
映像の操作	19	◇ 映像の切り替えに音声の出力を連動させる （オーディオ・フォロー）.....	48
◇ 映像を切り替える	19	オーディオ・フォローの対象を追加する	48
操作モードを設定する	19	◇ 音声からノイズを除去する （アダプティブ・ノイズ・リダクション／ロー・フリケンシー・カット）.....	49
DISSOLVE モードで切り替える	19	アダプティブ・ノイズ・リダクション.....	49
PGM/PST モードで切り替える	20	ロー・フリケンシー・カット	49
ミックスのパターンを変更する	20	◇ 自動で聞き取りやすい音量に調節する（オート・マスタリング・ エフェクト）.....	50
ワイプのパターンを変更する	20	ラウドネス・オート・ゲイン・コントロール（LOUDNESS AGC）.....	50
◇ 映像をスプリットする.....	21	◇ 音量を自動的に制御する（オート・ミキシング）.....	51
画面レイアウトを設定する	21	◇ 特定の音声だけ消音する（ミュート）.....	52
スプリットで表示する.....	21	入力音声をミュートする.....	52
◇ 自動的に映像を切り替える（オート・スイッチング）.....	22	出力音声をミュートする.....	52
動作モードについて	22	◇ 特定の音声を確認する（ソロ）.....	52
オート・スイッチング機能をオン／オフする	22	入力音声をソロにする.....	52
動作モードを設定する	22	出力音声をソロにする.....	52
◇ 静止画を読み込む.....	25	◇ 音楽ファイルを再生する（オーディオ・プレーヤー）.....	53
ストレージから静止画を読み込む	25	オーディオ・ファイルを読み込む.....	53
入出力映像から静止画をキャプチャーする	26	オーディオ・クリップを再生する	53
◇ 読み込んだ静止画を出力する	26	オーディオ・クリップの設定をする.....	54
VIDEO SWITCHER ボタンに静止画を割り当てる.....	26	オーディオ・プレーヤーのミキサー設定.....	54
最終出力に静止画を挿入する	26	◇ AUX バスの音声を出力する.....	55
◇ 静止画を削除する.....	27	AUX バスを割り当てる	55
すべての静止画を削除する	27	AUX バスへ音声を送る.....	55
◇ SD カードや USB メモリーに静止画を書き出す	28	◇ 入力音声を HDMI 映像に乗せて出力する	56
◇ 動画を読み込む	29		
◇ 読み込んだ動画を出力する	30		

ライブ配信	57	◇ エクスプレッション・ペダルを使う	89
◇ ストリーミング用の映像／音声をパソコンに出力する	57	ペダルを調節する (ペダル・キャリブレーション)	89
パソコンに映像／音声を出力する	57	ペダルに機能を割り当てる	89
ループバック機能を使う	57	◇ TALLY/GPIO 端子を使った制御	90
パソコンで配信する	57	TALLY/GPIO 端子仕様	90
パソコンで録画する	57	制御信号を入力する	90
◇ 直接配信／録画をする	58	タリー信号を出力する	91
必要なネットワーク環境	58	制御信号を出力する	91
ライブ配信時の注意	58	◇ スマート・タリーを使う	92
配信・録音・録画のスタート／ストップ	58	無線 LAN 親機を介して接続する	92
配信・録音・録画のオン／オフ	58	スマート・タリーを起動する	92
YouTube Live で配信する	59	◇ 誤操作を防止する (パネル・ロック)	93
Facebook Live で配信する	60	◇ 設定を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)	94
Twitch で配信する	61	◇ VR-6HD のリモート・コントロール	95
カスタム設定で配信する	62		
テザリング	63	メニュー一覧	96
配信中の偶発的なトラブルを回避する (セーフティー・ディレイ)	64	1 : VIDEO	96
その他の機能	65	2 : AUDIO	99
◇ 設定を保存する／呼び出す (シーン・メモリー)	65	3 : TRANSITION	122
シーン・メモリーに保存する	65	4 : PinP/DSK	123
シーン・メモリーを呼び出す	66	5 : STREAM/RECORD	125
シーン・メモリーを初期化する	66	6 : VIDEO PLAYER	126
シーン・メモリーの名前を変更する	66	7 : AUDIO PLAYER	126
サムネイルの位置を変更する	67	8 : MEMORY/MACRO/SEQ	127
USB メモリーにシーン・メモリーを保存する	67	9 : STILL IMAGE	129
◇ 複数の操作を記録して自動的に実行する (マクロ)	69	10 : AUTO SWITCHING	130
マクロに記録する	69	11 : REMOTE	132
マクロを実行する	71	12 : NETWORK	136
マクロの設定をコピーする	72	13 : SD CARD/USB MEMORY	136
マクロの設定を入れ替える	72	14 : DASHBOARD	137
マクロを初期化する	73	15 : SYSTEM	138
マクロの名前を変更する	73		
マクロの設定を保存する／呼び出す	74	資料	142
すべてのマクロを初期化する	75	◇ 主な仕様	142
◇ シーン・メモリーやマクロを組み合わせて操作する (シーケンサー)	76	◇ 外形寸法図	146
シーケンサーに記録する	76	◇ ビデオ・ブロック・ダイアグラム	147
シーケンサーを実行する	78	◇ オーディオ・ブロック・ダイアグラム	148
自動的にシーケンサーを実行する (オート・シーケンス)	79		
シーケンサーの設定を保存する／呼び出す	80		
シーケンサーを初期化する	81		
◇ 本体の設定をバックアップ／リストアする	82		
バックアップする	82		
リストア (復元) する	83		
◇ ダッシュボードを使う	84		
ダッシュボードに情報を表示させる	84		
ダッシュボードの USER ボタンに機能を割り当てる	84		
◇ VR-6HD から外部レコーダーの録画開始／停止を コントロールする	85		
◇ PTZ カメラをリモート・コントロールする	86		
カメラのネットワーク設定をする	86		
カメラの設定をプリセットに登録する	86		
プリセットを呼び出す	87		
◇ フットスイッチを使う	88		

- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 AUDIO PLAYER

パッドに BGM や効果音などの音源ソースを割り当てて、再生します。

※ 音源ソースには USB メモリーや SD カードにあるオーディオ・ファイル (WAV) を使います。

[LEVEL] つまみ

音源ソースの再生音量を調節します。

SIG/PEAK インジケーター

音声の出力を感知すると点灯します。

赤点灯	音量が過大 (0dB 以上)
黄点灯	適正な音量 (-20 ~ -1dB)
緑点灯	音量が過小 (-50 ~ -21dB)

[SETUP] ボタン

セットアップ画面をディスプレイに表示します。

パッド [1] ~ [6]

パッドを押すと、割り当てられている音源ソースを再生します。

2 AUDIO OUT

[AUX 1]、[AUX 2] つまみ

AUX バス出力の音量を調節します。

[USB STREAM] つまみ

USB 出力の音量を調節します。

[STREAM/RECORD] つまみ

配信や録画の音量を調節します。

SIG/PEAK インジケーター

音声の出力を感知すると点灯します。

赤点灯	音量が過大 (0dB 以上)
黄点灯	適正な音量 (-20 ~ -1dB)
緑点灯	音量が過小 (-50 ~ -21dB)

3 AUDIO EFFECT

[1] ~ [3] ボタン

オーディオ・エフェクトをオン/オフします。各ボタンに別の機能を割り当ててすることもできます。

[SETUP] ボタン

セットアップ画面をディスプレイに表示します。

AUDIO MIXER

4 [SETUP] ボタン

セットアップ画面をディスプレイに表示します。

5 [SOLO] ボタン

ボタンを押して選んだ入力チャンネルの音声だけを出力します。オン (点灯) にすると、フェーダー調節前の音声をヘッドホンで確認することができます。

6 [MUTE] ボタン

ボタンを押して選んだ入力チャンネルの音声を、ミュート (消音) します。

7 レベル・メーター

メイン出力の音量を表示します。

8 [SETUP] ボタン、[MUTE] ボタン

メイン出力用のボタンです。

9 [1] ~ [7/8] フェーダー

各チャンネルの入力音量を調節します。

10 [MAIN] フェーダー

出力音量を調節します。

11 ディスプレイ (タッチパネル)

入出力映像や配信/録画の状態、パラメーターやメニューを表示します。

12 [MENU] ボタン

メニューの表示／非表示を切り替えます。

13 [EXIT] ボタン

メニューの階層を抜けたり、操作をキャンセルしたりします。

14 [VALUE] つまみ

回す	メニュー項目の選択、設定値の変更をします。
押す	選んだメニュー項目や変更した設定値を決定します。

15 PinP & KEY 1 ～ 2

PinP & KEY 1 ～ 2 レイヤーを使って、ピクチャーインピクチャー (PinP) による映像合成をします。

[PVW] ボタン

子画面のプレビュー出力をオン／オフします。

[PGM] ボタン

PinP 合成をオン／オフします。

[POSITION H] つまみ

子画面の水平方向の位置を調節します。
押しながら回すと、子画面のサイズを調節します。

[POSITION V] つまみ

子画面の垂直方向の位置を調節します。
押しながら回すと、子画面映像の拡大率を調節します。

16 [MONITOR] ボタン

本体モニターでモニタリングする映像を切り替えます。

機能	説明
MULTI-VIEW	最終出力映像、プレビュー出力映像、VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンに割り当てられている映像を分割表示します。
PROGRAM	最終出力映像を表示します
AUDIO LEVEL	オーディオ・レベル画面を表示します。
STILL-VIEW	読み込んだ静止画を 16 分割画面で表示します。

※ 上記は、工場出荷時の設定です。ボタンに別の機能を割り当てることができます。

17 [OUTPUT FADE] ボタン

最終出力映像と音声をフェード・イン／アウトします。

点灯	フェード・アウト完了
点滅	フェード・イン／アウト中
消灯	通常の出力

※ 上記は、工場出荷時の設定です。[OUTPUT FADE] ボタンに、別の機能を割り当てることができます。

18 DSK

DSK レイヤーを使って、ダウンストリーム・キーヤー (DSK) による映像合成をします。

[PVW] ボタン

DSK 合成結果のプレビュー出力をオン／オフします。

[PGM] ボタン

DSK 合成をオン／オフします。

19 PANEL**[SETUP] ボタン**

セットアップ画面をディスプレイに表示します。

20 MODE

ボタンを押して選んだモードによって、VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンの役割が変わります。

[INPUT SELECT] ボタン

PGM バスまたは PVW バスに送る映像ソースを VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンで選びます。

[AUX] ボタン

AUX バスに送る映像を VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンで選びます。

[SCENE MEMORY] ボタン

シーン・メモリー (映像や音声などの設定を登録したもの) を VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンで呼び出します。VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンを長押しすると、現在の設定をシーン・メモリーに登録します。

[MACRO] ボタン

VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンで、マクロ (記録した一連の操作) を実行します。

21 TRANSITION

映像の切り替え効果を選びます。

[MIX] ボタン

2 つの映像が混ざり合いながら切り替わります。

[WIPE] ボタン

元の映像に次の映像が割り込んでくる形で切り替わります。

[SPLIT] ボタン

画面を左右／上下に分割にして 2 つの映像を表示します。

各部の名称とはたらき

22 VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタン

選ばれているモードによって、ボタンの役割が変わります。

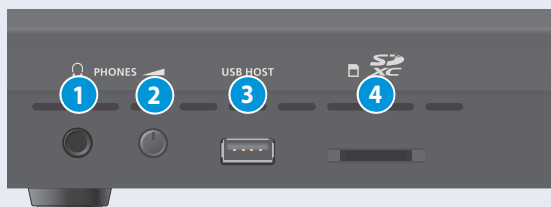
23 [CUT] ボタン、[AUTO] ボタン

操作モードに応じて、映像を切り替えるときの動作を決めたり、映像を切り替えたりします。

映像の切り替えには、「DISSOLVE」と「PGM/PST」の2つの操作モードがあります。

操作モード	説明								
DISSOLVE (工場出荷時の設定)	出力したい映像を選び、PGM バスへ即座に出力するモードです。 [CUT] ボタン、または [AUTO] ボタンを押して、映像を切り替えるときの動作を選びます。(押したボタンが緑点灯)								
	<table><tr><th>操作するボタン</th><th>操作したときの動作</th></tr><tr><td rowspan="3">VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタン</td><td>[CUT] ボタンが緑点灯しているとき 瞬時に映像が切り替わります。</td></tr><tr><td>[AUTO] ボタンが緑点灯しているとき 切り替え (トランジション) 効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。</td></tr><tr><td></td></tr></table>	操作するボタン	操作したときの動作	VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタン	[CUT] ボタンが緑点灯しているとき 瞬時に映像が切り替わります。	[AUTO] ボタンが緑点灯しているとき 切り替え (トランジション) 効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。			
	操作するボタン	操作したときの動作							
	VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタン	[CUT] ボタンが緑点灯しているとき 瞬時に映像が切り替わります。							
		[AUTO] ボタンが緑点灯しているとき 切り替え (トランジション) 効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。							
※ 切り替え効果中は選んだ VIDEO SWITCHER ボタンが赤点滅し、映像が完全に切り替わると赤点灯に変わります。									
PGM/PST	PVW バスに PST 映像を表示させ、映像を確認してから PGM バスへ出力するモードです。 VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンを押して PST 映像を選ぶと (緑点灯)、PVW バスに内容が表示されます。								
	<table><tr><th>操作するボタン</th><th>操作したときの動作</th></tr><tr><td>[CUT] ボタン</td><td>瞬時に映像が切り替わります。</td></tr><tr><td>[AUTO] ボタン</td><td>切り替え (トランジション) 効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	操作するボタン	操作したときの動作	[CUT] ボタン	瞬時に映像が切り替わります。	[AUTO] ボタン	切り替え (トランジション) 効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。		
	操作するボタン	操作したときの動作							
	[CUT] ボタン	瞬時に映像が切り替わります。							
	[AUTO] ボタン	切り替え (トランジション) 効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。							
※ 切り替え効果中は [AUTO] ボタンが赤点滅し、映像が完全に切り替わると消灯します。									

フロント・パネル



1 PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

2 [PHONES] つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。

3 USB HOST 端子

USB メモリーや外付け SSD などの USB ストレージを接続し、本体の設定をバックアップしたり、ストレージ内の素材を本体にインポートしたりします。また、スマートフォンを接続して、テザリングをすることもできます。

4 SDXC カード・スロット

SD カードを差し込みます。

録画／録音、本体設定のバックアップ、ストレージ内の素材を本体にインポートすることができます。

リア・パネル

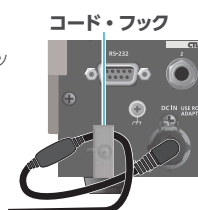
※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



1 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。コードが通しにくい場合は、コード・フックのネジを少し緩めると通しやすくなります。



2 [POWER] スイッチ

電源をオン／オフします。

3 TALLY/GPIO 端子

タリー表示機能を備えた機器や、制御信号の入出力機能を搭載した機器を接続します。

4 USB STREAM 端子 (USB Type-C®)

- 映像と音声をパソコンに出力します。また、パソコンで再生した音声を VR-6HD に入力します。
- 専用ソフトウェアを使って、接続したパソコンや iPad から VR-6HD をリモート・コントロールします。

※ HD 映像を USB 出力する場合は、パソコンの USB 3.0 端子に接続してください。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

※ 延長ケーブルや USB ハブを使って接続すると、パソコンが VR-6HD を認識しない場合があります。

5 DIRECT STREAM 端子

- ネットワーク機器と接続して、ライブ配信をします。
- ターミナル・ソフトウェアなどを使って、VR-6HD をリモート・コントロールします。
- 専用ソフトウェアを使って、接続したパソコンや iPad から VR-6HD をリモート・コントロールします。
- VR-6HD から接続したカメラをリモート・コントロールします。
- ネットワーク接続した iOS デバイスや Android デバイスにタリーを表示します (スマート・タリー機能)。

注意

GbE 対応のため、CAT5e 以上の LAN ケーブルを使って接続してください。

6 VIDEO OUT 1 ～ 3 端子

映像を出力します。接続する機器に合わせて、端子を選びます。端子ごとに映像/バスの割り当てを変更することができます。工場出荷時は、以下のバスが割り当てられています。

端子	バス
VIDEO OUT 1	PROGRAM (最終出力映像)
VIDEO OUT 2	PREVIEW (プレビュー出力映像)
VIDEO OUT 3	MULTI-VIEW (マルチビュー)

7 VIDEO IN 1 ～ 6 端子

映像を入力します。接続する機器に合わせて、端子を選びます。入力フォーマットは、自動的に識別されます。

8 RS-232 端子

RS-232 対応のパソコンなどを接続し、VR-6HD をリモート・コントロールします。

9 接地端子

外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

10 CTL/EXP 1、2 端子

フットスイッチ (別売: BOSS FS-6 など) やエクスプレッション・ペダル (別売: EV-5 など) を接続します。映像切り替えなどの操作を足元でコントロールするときに使います。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの (別売: EV-5、EV-30、BOSS FV-500L、FV-500H) をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

11 AUDIO OUT (XLR、RCA) 端子

音声を出力します。接続する機器に合わせて、端子を選びます。端子ごとに出力する音声バス (MAIN、AUX 1、AUX 2、MONITOR) の割り当てを変更することができます。

12 AUDIO IN 1 ～ 6 (XLR / TRS) 端子

音声を入力します。マイクやライン・レベルのアナログ・オーディオ機器を接続します。

※ ファンタム電源について

AUDIO IN 1 ～ 6 端子 (XLR) からは、ファンタム電源 (+48V) を供給することができます。ファンタム電源の必要なコンデンサー・マイクを使うときは、ファンタム電源をオンにしてください。

[MENU] ボタン → [AUDIO] → [INPUT] → [AUDIO IN 1] ～ [AUDIO IN 6] → [PHANTOM +48V] を [ON] にします。

AUDIO IN 7/L、8/R (LINE IN) 端子

音声を入力します。オーディオ・ミキサーなどのアナログ・オーディオ機器を接続します。

AUDIO IN 1 ～ 6 (XLR / TRS) 端子のピン配置



AUDIO OUT 端子 (XLR) のピン配置



Bluetooth® 機器の接続

Bluetooth 機能を使って、Bluetooth 対応機器と VR-6HD を無線で接続します。以下の操作ができます。

- Bluetooth オーディオ機器から音声を入力する。
- iPad から専用アプリ「VR-6HD Remote」を使って、VR-6HD をリモート・コントロールする (P.95)。
※ 専用アプリとの接続 (ペアリング) については、専用アプリの取扱説明書をご覧ください。
※ VR-6HD Remote は、バージョン・アップで対応予定です。

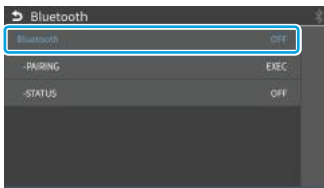
Bluetooth オーディオ機器を登録する (ペアリング)

Bluetooth 機器を接続するには、Bluetooth 機器とのペアリング (登録) が必要です。

一度ペアリングをすれば、次回からペアリング操作は不要です。

※ すでにペアリングが済んでいる Bluetooth 機器と接続するときは、このページの「ペアリング済みの Bluetooth 機器を接続する」をご覧ください。

※ Bluetooth 機器の操作について、詳しくは Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

1. Bluetooth 機器を VR-6HD 周辺に置く。
2. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [Bluetooth] → [Bluetooth] を選び、[VALUE] つまみを押す。

3. [VALUE] つまみで「ON」を選び、[VALUE] つまみを押す。
VR-6HD の Bluetooth 機能がオンになります。
4. [VALUE] つまみで「PAIRING」を選び、[VALUE] つまみを押す。
確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

5. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。
ペアリングが開始されます。
ペアリング中は、以下のメッセージが表示されます。
[NOW PAIRING...]
6. Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする。
7. Bluetooth 機器で Bluetooth デバイス画面などを表示し、「Roland VR-6HD Audio」を選ぶ。
ペアリングに成功すると、VR-6HD のメッセージが「COMPLETED」になります。
8. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

ペアリング済みの Bluetooth 機器を接続する

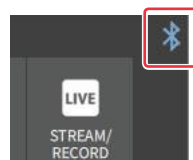
1. Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする。
2. VR-6HD の Bluetooth 機能をオンにする。
接続に成功すると、VR-6HD の STATUS 表示が「CONNECTED」になります。



※ 接続できない場合は、Bluetooth 機器の Bluetooth デバイス画面などに表示されている「Roland VR-6HD Audio」を選んでください。

メモ

- MENU 画面、Bluetooth 設定画面に表示される、 (Bluetooth) インジケータで、接続状態を確認することもできます。



点灯	接続済み	速い点滅	ペアリング中
消灯	Bluetooth 機能オフ	点滅	接続待ち

- 以下のような場合は、再度ペアリングしてください。
 - Bluetooth 機器のペアリングの情報から削除された場合
 - VR-6HD を工場出荷時の状態に戻した場合 (P.94)
- Bluetooth 接続を切断するときは、VR-6HD または Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオフにします。
- ダッシュボードに機能を割り当てて、Bluetooth 機能のオン/オフやペアリング操作をすることができます (P.84)。

フットスイッチの接続



FS-5U × 2 の場合

ステレオ標準プラグ
↑
標準プラグ × 2

RING

TIP



CTL A



CTL B

FS-5U × 1 の場合

標準プラグ
↑
標準プラグ



CTL B

FS-6 の場合

ステレオ標準プラグ
↑
ステレオ標準プラグ



CTL A

CTL B

FS-7 の場合

ステレオ標準プラグ
↑
ステレオ標準プラグ

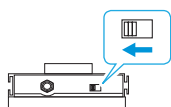


CTL A

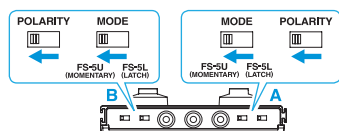
CTL B

モード／ポラリティー・スイッチ

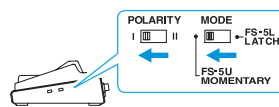
FS-5U



FS-6



FS-7



注意

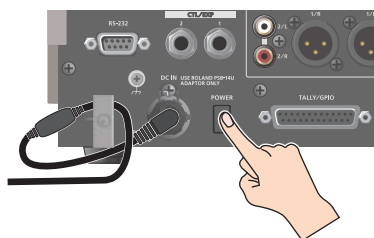
BOSS FS-6 の A、B、A&B 端子は、電源スイッチを兼ねています。端子に接続プラグを差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。電池の消耗を防ぐために、BOSS FS-6 を使わないときは、端子に接続しているプラグを抜いてください。

電源を入れる／切る

- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- ※ USB メモリー／SD カードにアクセス中は、絶対に電源を切ったり、USB メモリー／SD カードを抜いたりしないでください。
- ※ 本機は 1 か月を超える長期間の連続稼働をサポートしていません。長期間お使いになる場合は、定期的に電源を入れ直してお使いください。

電源を入れる

1. すべての機器の電源がオフになっていることを確認する。
2. VR-6HD の [POWER] スイッチをオンにして、電源を入れる。



3. ソース機器の電源を入れる。

ビデオ・カメラなど、VR-6HD の入力端子に接続したソース機器の電源を入れます。

4. 出力機器の電源を入れる。

プロジェクターなど、VR-6HD の出力端子に接続した機器の電源を入れます。

電源を切る

1. 出力機器→ソース機器の順に電源を切る。
2. VR-6HD の [POWER] スイッチをオフにする。

以下のメッセージが表示されます。



3. [VALUE] つまみを押して、シャットダウンを完了する。
キャンセルするときは、もう一度 [POWER] スイッチを押します。

オート・オフ機能について

本機は、操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オート・オフ機能）。

自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください。（P.141）

- 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

メニューを操作する

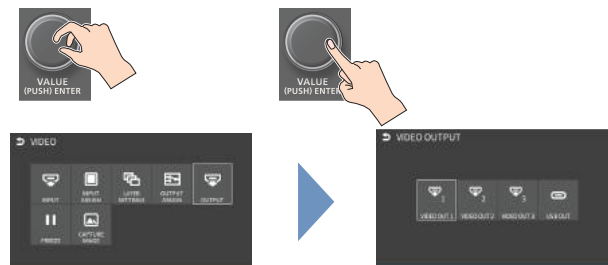
メニューを表示して、映像／音声に関する設定や本体の設定をします。

1. [MENU] ボタンを押して、メニューを表示させる。



メニューは、機能ごとに分けられています。

2. [VALUE] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押して決定する。



3. 必要に応じて、手順 2 を繰り返す。

[EXIT] ボタンを押すと、1 つ上の階層に戻ります。

4. [VALUE] つまみを回してパラメーターを選び、[VALUE] つまみを押す。

カーソルが白い枠のときは [VALUE] つまみでパラメーターを選べる状態です。パラメーターを選んで [VALUE] つまみを押すと、カーソルが青い枠に変わり、パラメーター値の変更ができる状態になります。

5. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE] つまみを押して決定する。

カーソルが白い枠に戻り、他のパラメーターを選べる状態になります。

- [VALUE] つまみを押しながらかくと、設定値を大きく変えることができます。
- [VALUE] つまみを長押しすると、設定中のメニュー項目が初期値に戻ります。

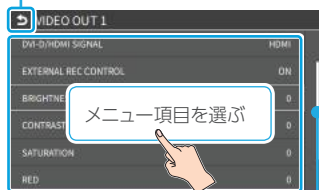
6. 必要に応じて、手順 4 ～ 5 を繰り返す。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

メニュー画面のアイコンをタッチして操作することもできます。

上の階層に戻る

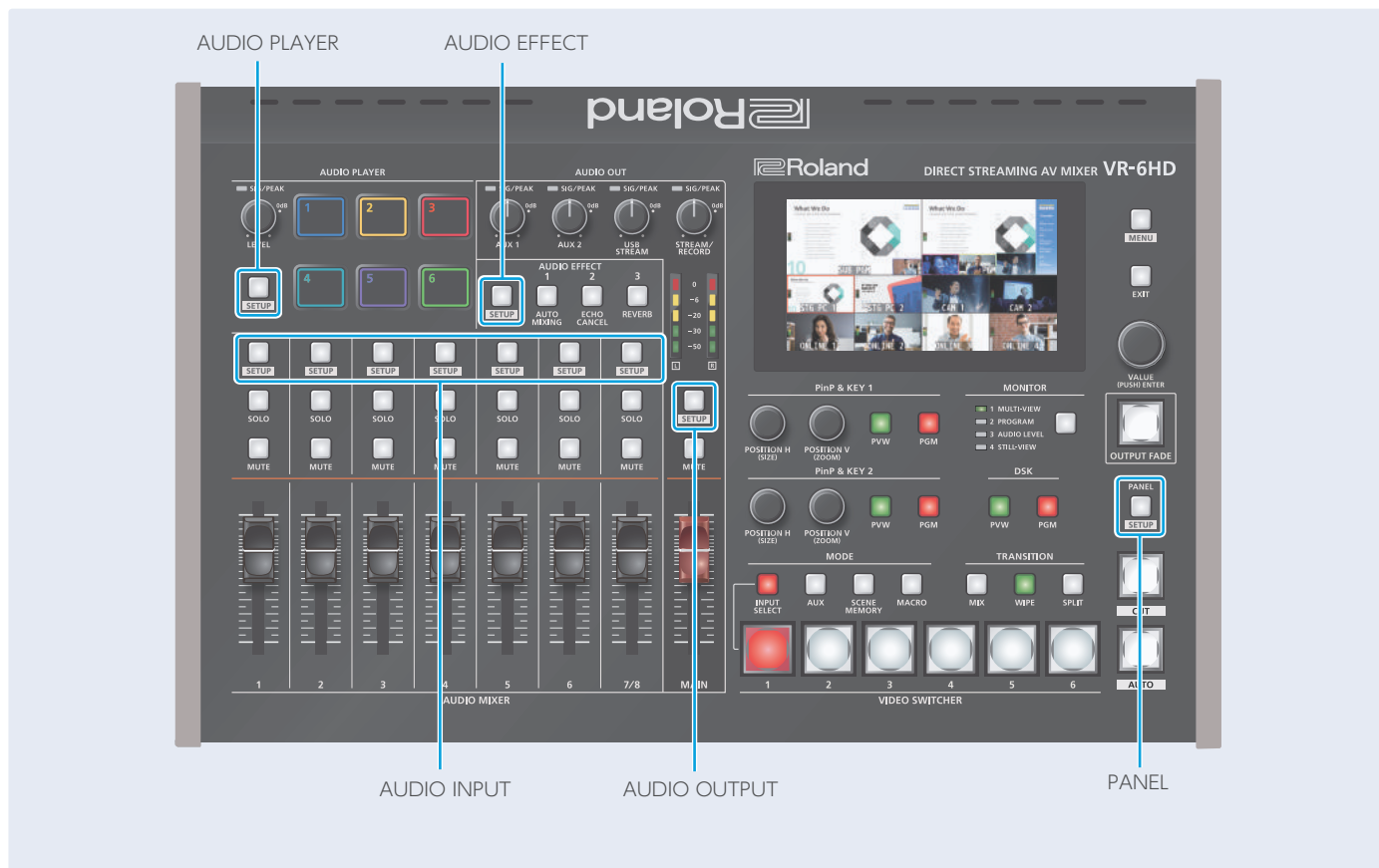


メニュー項目をスクロールさせる

セットアップ画面を操作する

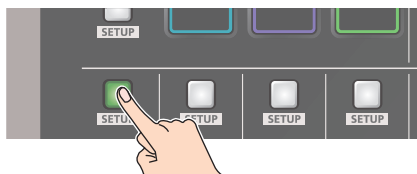
VR-6HD では、セクションごとに [SETUP] ボタンが用意されています。[SETUP] ボタンを押すと、そのセクション用のセットアップ画面が表示され、タッチパネル操作で簡単に主要な設定ができます。

より詳細な設定をするときは、メニューからの操作で設定をします。(P.10)



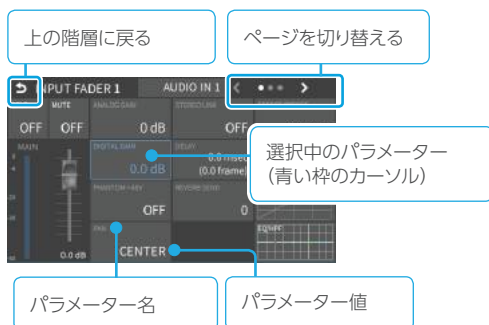
ここでは、チャンネル 1 のセットアップ画面を例にして説明します。

1. チャンネル 1 の [SETUP] ボタンを押す。



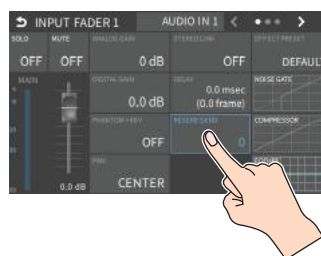
チャンネル 1 のセットアップ画面が表示されます。

2. 画面にタッチして、パラメーターの値を変えたりページを切り替えたりする。



- ページを切り替えと、別のパラメーターが表示されます。
- 他のチャンネルの [SETUP] ボタンを押すと、押したチャンネルのセットアップ画面が表示されます。

画面上のパラメーターにタッチするとカーソルが青い枠になり、[VALUE] つまみでパラメーター値を編集できます。別のパラメーターにタッチすると、青い枠のカーソルがその場所に移るので、この操作を繰り返してパラメーターを編集します。



3. チャンネル 1 の [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

メモ

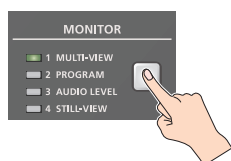
タッチパネル操作をせずに、[MENU] ボタン、[VALUE] つまみ、[EXIT] ボタンで設定をすることもできます。

メニュー操作と同じように、カーソルが白い枠の状態で [VALUE] つまみを回してパラメーターを選んだあとに、[VALUE] つまみを押してカーソルを青い枠に変えます。(値が変更できる状態) [VALUE] つまみを回して値の変更をしたあと、もう一度 [VALUE] つまみを押すと、カーソルが白い枠 (パラメーターを選べる状態) に戻ります。

モニターの表示を切り替える

マルチビュー表示の他に、用途に応じてモニタリングする映像（入力映像や静止画の一覧など）を切り替えることができます。

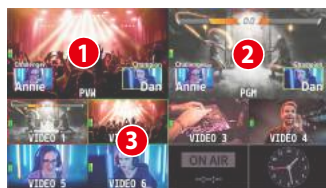
1. [MONITOR] ボタンを押す。



ボタンを押すたびにモニターの表示が切り替わります。

MONITOR 1 (MULTI-VIEW)

最終出力映像、プレビュー出力映像、VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンに割り当てられている映像を分割表示します（マルチビュー）。



1 PVW（プレビュー）セクション

プレビュー出力映像（次に出力される映像）を表示します。

- ※ フェード・イン／アウトの効果（P.32）は、反映されません。
- ※ 設定で PGM セクションと表示位置を入れ替えることができます。（P.141）

2 PGM（プログラム）セクション

最終出力映像を表示します。

- ※ 設定で PVW セクションと表示位置を入れ替えることができます。（P.141）

3 VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンの映像

各 VIDEO SWITCHER ボタンに割り当てられている映像を表示します。

最終出力映像とプレビュー出力映像には、タリー枠（赤、緑）が表示されます。



1 EXTERNAL REC インジケータ

REC ステータス機能対応カメラの接続時に、カメラの REC ボタンが押されたことを示します。

2 AUX/SOURCE インジケータ

以下を示します。

黄	PinP & KEY の子画面映像
マゼンタ	DSK の映像ソース
緑	AUX バスの映像ソース

MONITOR 2 (PROGRAM)

最終出力映像を表示します。

MONITOR 3 (AUDIO LEVEL)

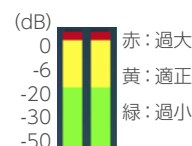
各チャンネルのオーディオ・レベルを表示します。

MONITOR 4 (STILL-VIEW)

読み込んだ静止画を 16 分割画面で表示します。



オーディオ・レベル・メーター表示



- オーディオ・レベル・メーターの表示／非表示を変更することができます。また、マルチビューに表示されるオーディオ・レベル・メーターは、表示位置を個別に設定することができます。

[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [MULTI-VIEW SETTINGS] 以下のメニュー項目を設定します。

メニュー項目	説明
AUDIO LEVEL METER	オーディオ・レベル・メーターの表示／非表示を設定します。
MULTI-VIEW	

メモ

- MONITOR ボタンで切り替えるモニタリング映像を変更することができます。

[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [MONITOR SELECT ASSIGN] → 「1」～「4」で設定します。

モニターの表示内容

タリー枠やラベルなどの表示／非表示を個別に設定することができます。

[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [MULTI-VIEW SETTINGS] 以下のメニュー項目を設定します。

メニュー項目	説明
TALLY FRAME	タリー枠
AUX/SOURCE INDICATOR	AUX/SOURCE インジケータ
EXTERNAL REC INDICATOR	外部接続の録画インジケータ
AUDIO LEVEL METER	オーディオ・レベル・メーター
MULTI-VIEW LAYOUT	マルチ・ビューのレイアウト
LABEL EDIT	マルチ・ビューのラベル
LABEL SIZE	ラベルのサイズ

- ラベル名を変更することができます。

[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [MULTI-VIEW SETTINGS] → [LABEL EDIT] で編集します。

- REC ステータス機能に対応したカメラについては、ローランドのホームページをご覧ください。

<https://proav.roland.com/jp/>

SD カードについて

SD カードを使うと以下のことができます。

- 録画や録音
- 動画ファイルや音声ファイルの読み込み
- 静止画や設定ファイル読み込み／書き出し

VR-6HD で使用できる SD カードについて



VR-6HD は、SDXC カードに対応しています。

SD カードのメーカーや種類によっては、VR-6HD で正しく録画／録音ができないことがあります。

最新の動作確認情報はローランド・サポート・ページでご案内しています。

https://roland.cm/vr-6hd_om



注意

市販の SD カードを VR-6HD で使用するときには、最初に「SD カードをフォーマットする」の手順でフォーマットしてください。

SD カードを挿す

1. SD カードを、SDXC カード・スロットに「カチッ」と音がするまで差し込む。

注意

SD カードは挿入方向や裏表に注意して確実に奥まで差し込んでください。また、無理に差し込まないでください。

SD カードをフォーマットする

1. [MENU] ボタン→「SD CARD/USB MEMORY」→「SD CARD」→「FORMAT」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

2. [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。

SD カードがフォーマットされます。

SD カードを抜く

1. [MENU] ボタン→「SD CARD/USB MEMORY」→「SD CARD」→「EJECT」を選び、[VALUE] つまみを押す。

2. [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。

画面に「SAFE TO REMOVE」とメッセージが表示され、安全にカードを取り出せる状態になります。

3. SD カードを押し込む。

4. SD カードをつまんで手前に引っ張る。



USB メモリーについて

USB メモリーを使うと以下のことができます。

- 動画ファイルや音声ファイルの読み込み
- 静止画や設定ファイル読み込み／書き出し

VR-6HD で使用できる USB メモリーについて

市販の USB メモリーをお使いください。

注意

市販の USB メモリーを VR-6HD で使用するときには、最初に「USB メモリーをフォーマットする」の手順でフォーマットしてください。

USB メモリーをフォーマットする

1. USB HOST 端子に USB メモリーを接続する。



フロント・パネル

※ USB メモリーは、挿入方向や表裏に注意して、確実に奥まで差し込んでください。また、無理な挿入はしないでください。

2. [MENU] ボタン→「SD CARD/USB MEMORY」→「USB MEMORY」→「FORMAT」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときには、[EXIT] ボタンを押します。

3. [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。

USB メモリーがフォーマットされます。

USB メモリーを抜く

1. [MENU] ボタン→「SD CARD/USB MEMORY」→「USB MEMORY」→「EJECT」を選び、[VALUE] つまみを押す。

2. [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。

画面に「SAFE TO REMOVE」とメッセージが表示され、安全に USB メモリーを取り出せる状態になります。

3. USB メモリーを抜く。

注意

- 他の機器でフォーマットした SD カードや USB メモリーは、VR-6HD では正常に使用できないことがあります。必ず VR-6HD でフォーマットしてください (SD カード: exFAT 形式、USB メモリー: FAT32 形式)。

- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードや USB メモリーを抜いたりしないでください。

- フォーマットすると、SD カードや USB メモリーに保存されているデータ (録画、録音、静止画データなど) はすべて消去されます。必要なデータがある場合は、あらかじめパソコンなどにバックアップしてから、フォーマットしてください。

映像の入出力設定

映像の入出力フォーマットを設定する

接続する機器に合わせて、入出力フォーマットを設定します。

システム・フォーマットを設定する

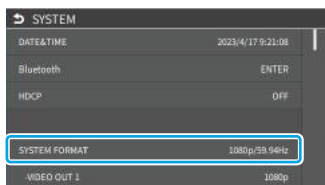
VR-6HD では、システム・フォーマットによって、入出力フォーマットが決定されます。接続する機器に合わせて、システム・フォーマットを設定します。

システム・フォーマット	入力フォーマット (*1)	出力フォーマット	
	VIDEO IN 1～6 端子	VIDEO OUT 1～3 端子	USB STREAM 端子 DIRECT STREAM 端子
1080p	1080p、1080i	1080p、1080i	1080p、720p
720p	720p	720p	720p

(*1) VIDEO IN 1～6 端子は、マルチフォーマットに対応(工場出荷時)しており、システム・フォーマットに関係なく個別に入力フォーマットを設定することができます。

詳しくは、このページの「VIDEO IN 1～6 端子の入力フォーマットを設定する」をご覧ください。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [SYSTEM FORMAT] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで[SYSTEM FORMAT]を選び、[VALUE] つまみを押す。

3. [VALUE] つまみで「1080p」または「720p」を選び、[VALUE] つまみを押す。

※ 設定の変更は、[VALUE] つまみを押して確定するまで反映されません。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

内部処理について

VR-6HD の内部処理は、プログレッシブです。インターレースで入力された映像は、自動的にプログレッシブに変換されます。

このとき、映像がギザギザになったように見えたり、PinP の子画面やマルチビューの映像がぶれたりすることがあります。

これはプログレッシブ変換によるもので、故障ではありません。

フレーム・レートについて

VR-6HD のフレーム・レートは、[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [SYSTEM FORMAT] → [FRAME RATE] で設定します。

※ USB 出力のフレーム・レートは、[MENU] ボタン → [SYSTEM] → SYSTEM FORMAT [USB OUT] → [FRAME RATE] で設定します。

※ 配信や録画のフレーム・レートは、[MENU] ボタン → [SYSTEM] → SYSTEM FORMAT [STREAM/RECORD] → [FRAME RATE] で設定します。

VIDEO IN 1～6 端子の入力フォーマットを設定する

工場出荷時、VIDEO IN 1～6 端子の EDID 情報は、「INTERNAL」(すべての入力可能フォーマットの EDID 情報が送信される設定)になっています。

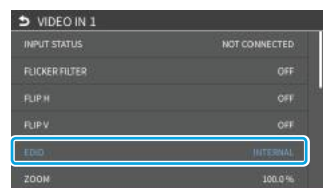
任意の入力フォーマットを指定したい場合は、入力する映像信号に合わせて、送信する EDID 情報の設定を変更します。

EDID とは？

EDID とは、VR-6HD をソース機器に接続したときに、VR-6HD からソース機器に送信されるデータです。EDID には、VR-6HD に入力できるフォーマット(解像度、カラー・スペース、色深度)や音声情報などのデータが記録されています。

ソース機器は、受信した EDID 情報を元に VR-6HD に最適な映像を出力します。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO] → [INPUT] → [VIDEO IN 1] ～ [VIDEO IN 6] → [EDID] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで入力フォーマット(送信する EDID 情報)を選び、[VALUE] つまみを押す。

※ 設定の変更は、[VALUE] つまみを押して確定するまで反映されません。

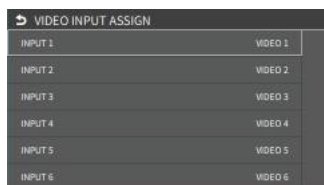
設定値
INTERNAL (すべての入力可能なフォーマットの EDID 情報を送信します。)
SVGA (800 x 600)
XGA (1024 x 768)
WXGA (1280 x 800)
FWXGA (1366 x 768)
SXGA (1280 x 1024)
SXGA+ (1400 x 1050)
UXGA (1600 x 1200)
WUXGA (1920 x 1200)
720p
1080i
1080p

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

映像ソースを割り当てる

VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンに、映像ソース（入力映像、静止画、ビデオ・プレーヤーなど）を割り当てます。

1. PANEL [SETUP] ボタンを押す。
2. <MODE>にタッチする。
3. <INPUT SELECT>にタッチする。
セットアップ画面が表示されます。
4. 画面にタッチして、映像ソースを選ぶ。



映像ソース	説明
VIDEO 1 ～ 6	VIDEO IN 端子 1 ～ 6 の映像
STILL 1 ～ 16	静止画 1 ～ 16
V. PLAYER	ビデオ・プレーヤーの映像
N/A	映像ソースなし

※ N/A をアサインしたチャンネルへは映像を切り替えることができません。すでに出力されている VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンのアサインを N/A に切り替えた場合、出力映像は黒画面になります。

メモ

静止画は、以下の方法で本体に読み込むことができます。

- ➡ 「ストレージから静止画を読み込む」 (P.25)
- ➡ 「入出力映像から静止画をキャプチャーする」 (P.26)

出力映像を調節する

VR-6HD の出力を受ける機器に合わせて、出力映像を調節します。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO] → [OUTPUT] → [VIDEO OUT 1 ～ 3]、[USB OUT] を選び、[VALUE] つまみを押す。



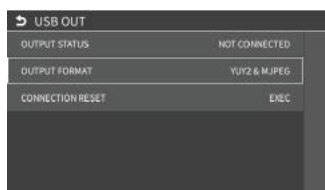
2. [VALUE] つまみで以下のメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。

VIDEO OUT 1 ～ 3



メニュー項目	説明
OUTPUT STATUS	接続状態や HDCP 信号の有無を表示します。
COLOR SPACE	カラー・スペースを設定します。
DVI-D/HDMI SIGNAL	出力信号の種類を設定します。
EXTERNAL REC CONTROL	外部接続された録画機器の制御を設定します。
BRIGHTNESS	明るさを調節します。
CONTRAST	コントラストを調節します。
SATURATION	彩度を調節します。
RED	赤レベルを調節します。
GREEN	緑レベルを調節します。
BLUE	青レベルを調節します。

USB OUT



メニュー項目	説明
OUTPUT STATUS	接続状態を表示します。
OUTPUT FORMAT	出力先のライブ配信アプリで選ぶことができるフォーマットを設定します。
CONNECTION RESET	映像が乱れるなど動作が安定しないときに、パソコンと VR-6HD を再接続します。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

ディスプレイの画質調節に便利なテスト・パターンを出力することができます。

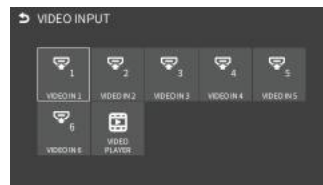
[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [TEST PATTERN] でテスト・パターンを設定します。

入力映像を調節する

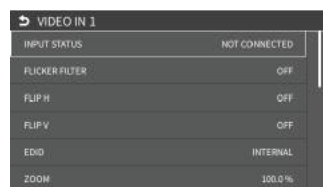
入力映像の画質を調節します。

VIDEO IN 1 ～ 6 端子の映像では、スケーリングの調節もできます。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO] → [INPUT] → [VIDEO IN 1 ～ 6] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで以下のパラメーターを選び、[VALUE] つまみを押す。



パラメーター	説明
INPUT STATUS	入力映像の情報を表示します。
FLICKER FILTER	「ON」にすると、ちらつきを軽減します。
FLIP H	「ON」にすると、映像を左右反転させて入力します。
FLIP V	「ON」にすると、映像を上下反転させて入力します。
EDID	入力フォーマット (EDID) を設定します。
ZOOM	拡大／縮小率を設定します。
SCALING TYPE	スケーリング・タイプを設定します。
MANUAL SIZE H	スケーリング・タイプが「MANUAL」のときの水平方向のサイズを調節します。
MANUAL SIZE V	スケーリング・タイプが「MANUAL」のときの垂直方向のサイズを調節します。
POSITION H	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	垂直方向の位置を調節します。
BRIGHTNESS	明るさを調節します。
CONTRAST	コントラストを調節します。
SATURATION	彩度を調節します。
RED	赤レベルを調節します。
GREEN	緑レベルを調節します。
BLUE	青レベルを調節します。

※ VIDEO PLAYER は以下のパラメーターのみ

FLIP H	「ON」にすると、映像を左右反転させて入力します。
FLIP V	「ON」にすると、映像を上下反転させて入力します。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

出力端子に映像バスを割り当てる

VR-6HDには、7種類の映像バスがあります。各映像出力端子(VIDEO OUT 1～3 端子、USB STREAM 端子、STREAM/RECORD 端子)や本体ディスプレイに、任意の映像バスを割り当てることができます。

映像出力端子	
VIDEO OUT 1～3	VIDEO OUT 1～3 端子
USB OUT	USB STREAM 端子
STREAM/RECORD	DIRECT STREAM 端子
LCD MONITOR	本体ディスプレイ

映像バス	説明
PROGRAM	最終出力映像
SUB PROGRAM	PROGRAM バスと同じ映像 SUB PROGRAM バスでは、PinP & KEY レイヤーと DSK レイヤーの表示/非表示を、PROGRAM バスとは別に設定することができます。 レイヤーの設定を変更することで、PROGRAM バスとは異なる映像を出力することができます。
PREVIEW	プレビュー出力映像 (次に出力される映像) ※ フェード・イン/アウトの効果 (P.32) は、反映されません。
AUX	AUX バスに送られた任意の映像 (P.17) 特定の入力映像を固定で出力したい場合など、最終出力とは別に独立した出力を確保することができます。
MULTI-VIEW	最終出力映像、プレビュー出力映像、VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンに割り当てられている映像 (マルチビュー) メモ マルチビューの上側に表示する映像を、左右それぞれ変更することができます。 [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [MULTI-VIEW SETTINGS] → [MULTI-VIEW LAYOUT] の [LEFT] [RIGHT] で設定します。
STILL-VIEW	読み込んだ静止画 (16 分割画面)

※ 工場出荷時の設定については、「[VIDEO OUTPUT ASSIGN] (P.97) をご覧ください。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO] → [OUTPUT ASSIGN] を選び、[VALUE] つまみを押す。



OUTPUT ASSIGN 画面が表示されます。

2. [VALUE] つまみで映像出力端子を選び、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

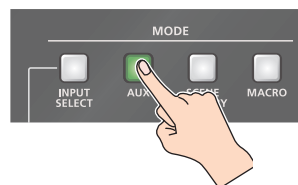
映像バスの割り当てと音声出力について

映像バスとは別に、端子ごとに任意の音声バス (MAIN バス、AUX 1 バス、AUX 2 バス、MONITOR バス) を割り当てることができます (P.55)。

AUX バスに送る映像を選ぶ

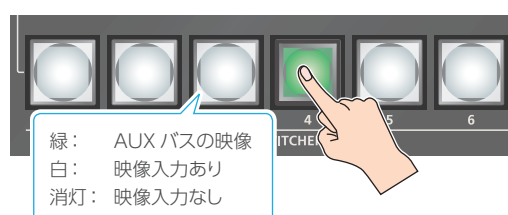
AUX バスに任意の映像を送ります。特定の入力映像を固定で出力したい場合など、最終出力とは別に独立した出力を確保することができます。

1. MODE [AUX] ボタンを押す。



VIDEO SWITCHER ボタンで設定する

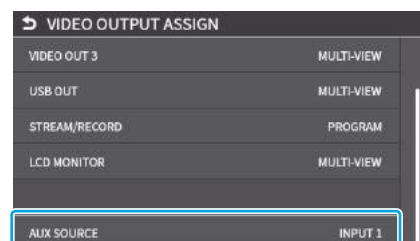
2. VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンを押して、AUX バスに送る映像を選ぶ。



AUX バスが割り当てられている出力端子の映像が切り替わります。

セットアップ画面で設定する

3. 画面にタッチして、AUX バスに送る映像を選ぶ。



メモ

- AUX バスへの音声の送り量を調節することもできます。
➔ 「AUX バスへ音声を送る」 (P.55)

• AUX バスに最終出力と同じ映像を送る (AUX リンク)

AUX リンク機能を使うと、AUX バスに最終出力と同じ映像を送ることができます。映像切り替えに連動して、AUX バスに送られる映像も自動的に切り替わります。

[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [AUX LINKED PGM] を [AUTO LINK] または [MANUAL LINK] に設定します (P.139)。

著作権保護（HDCP）された映像を入力する

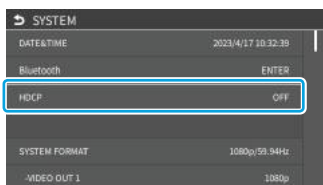
BD プレーヤーなどから著作権保護（HDCP）された映像を入力するには、HDCP の入力を有効にする必要があります。

※ 著作権保護（HDCP）された映像／音声を出力するときは、HDCP 対応の機器を接続してください。

HDCP とは？

ビデオ再生機器からディスプレイなどの表示機器にデジタル信号を送る際、その経路を暗号化し、コンテンツが不正にコピーされるのを防止するための著作権保護技術です。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [HDCP] を選び、[VALUE] つまみを押す。



設定値	説明
ON	著作権保護（HDCP）された映像を入力できます。また、出力される映像に HDCP を付加します。 ※ USB STREAM 端子から映像／音声は出力されません。
OFF	著作権保護（HDCP）された映像は入力できません。

2. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

HDCP 対応機器の確認

ソース機器

ソース機器の HDCP 対応状況は、[MENU] ボタン → [VIDEO] → [INPUT] → [VIDEO IN 1 ～ 6] → [INPUT STATUS] で確認できます。

著作権保護（HDCP）された映像が入力されているときは、「DETECTED」と表示されます。



出力機器

HDCP 対応機器が接続されているときは、[MENU] ボタン → [VIDEO] → [OUTPUT] → [VIDEO OUT 1 ～ 3] → [OUTPUT STATUS] に「HDCP」と表示されます。



映像の操作

映像を切り替える

PGM バスと PST バスの映像を切り替えて、最終出力します。

操作モードを設定する

映像切り替えには、「DISSOLVE」と「PGM/PST」の2つの操作モードがあります。

DISSOLVE モード（工場出荷時の設定）

出力したい映像を選び、PGM バスへ即座に出力するモードです。

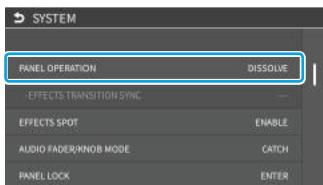
「CUT」ボタン、または「AUTO」ボタンを押して、映像を切り替えるときの動作を選びます。（押したボタンが緑点灯）

PGM/PST モード

PVW バスに PST 映像を表示させ、映像を確認してから PGM バスへ出力するモードです。

VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンを押して PST 映像を選ぶと（緑点灯）、PVW バスに内容が表示されます。

1. 「MENU」ボタン → 「SYSTEM」 → 「PANEL OPERATION」を選び、「VALUE」つまみを押す。



2. 「VALUE」つまみで「DISSOLVE」または「PGM/PST」を選び、「VALUE」つまみを押す。
3. 「MENU」ボタンを押して、メニューを閉じる。

DISSOLVE モードで切り替える

ここでは、操作モードの設定で「DISSOLVE モード」（P.19）を選んだ場合の手順を説明します。

1. 「MIX」または「WIPE」ボタンを押して、切り替え効果を選ぶ。



MIX

2つの映像が混ざり合いながら切り替わります。



WIPE

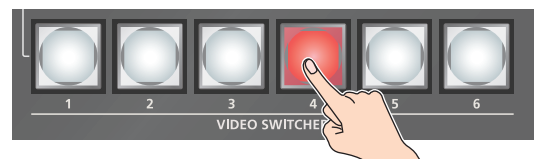
元の映像に次の映像が割り込んでくる形で切り替わります。



2. MODE 「INPUT SELECT」ボタンを押す。
3. 「CUT」または「AUTO」ボタンを押す。



4. VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンを押して、次に出力したい映像を選ぶ。



操作するボタン	操作したときの動作
VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタン	「CUT」ボタンが緑点灯しているとき 瞬時に映像が切り替わります。
	「AUTO」ボタンが緑点灯しているとき 切り替え（トランジション）効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。

※ 切り替え効果中は選んだ VIDEO SWITCHER ボタンが赤点滅し、映像が完全に切り替わると赤点灯に変わります。

メモ

MULTI-VIEW や STILL-VIEW の画面を直接タッチして映像を選ぶこともできます。

PGM/PST モードで切り替える

ここでは、操作モードの設定で「PGM/PST モード」を選んだ場合の手順を説明します。

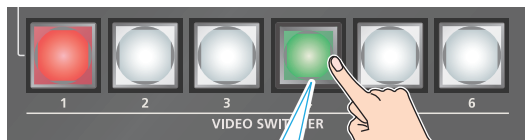
1. [MIX]または[WIPE]ボタンを押して、切り替え効果を選ぶ。



2. MODE [INPUT SELECT] ボタンを押す。

3. VIDEO SWITCHER [1] ~ [6] ボタンを押して、プレビュー出力映像（次に出力される映像）を選ぶ。

マルチビューの PVW セクションで、プレビュー出力映像を確認できます。

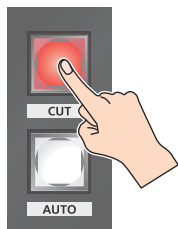


緑点灯: プレビュー出力映像 (次に出力される映像)

メモ

MULTI-VIEW や STILL-VIEW の画面を直接タッチして映像を選ぶこともできます。

4. [CUT] または [AUTO] ボタンを押す。



操作するボタン	操作したときの動作
[CUT] ボタン (赤点灯)	瞬時に映像が切り替わります。
[AUTO] ボタン (赤点滅)	切り替え (トランジション) 効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。 映像切り替え時間は、 [MENU] ボタン → [TRANSITION] → [MIX] → [TIME] または [MENU] ボタン → [TRANSITION] → [WIPE] → [TIME] で設定します。

メモ

ミックスやワイプの切り替えパターンを変更することができます。

- ➡ 「ミックスのパターンを変更する」 (P.20)
- ➡ 「ワイプのパターンを変更する」 (P.20)

ミックスのパターンを変更する

ミックスの切り替えパターンを変更することができます。

1. [MIX] ボタンが点灯している状態で、[MENU] ボタン → [TRANSITION] → [MIX] を選び、[VALUE] つまみを押す。

セットアップ画面が表示されます。

2. 画面にタッチして、設定をする。



メニュー項目	説明
TYPE	ミックスの切り替えパターンを設定します。
TIME	切り替えにかかる時間を設定します。

※ パラメーターの詳細については、「3: TRANSITION」 (P.122) をご覧ください。

3. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

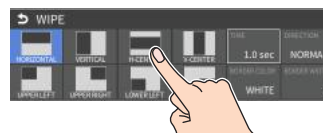
ワイプのパターンを変更する

ワイプの切り替えパターンや方向などを変更することができます。

1. [MIX] ボタンが点灯している状態で、[MENU] ボタン → [TRANSITION] → [WIPE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

セットアップ画面が表示されます。

2. 画面にタッチして、設定をする。



メニュー項目	説明
TYPE	ワイプの切り替えパターンを設定します。
TIME	切り替えにかかる時間を設定します。
DIRECTION	ワイプの方向を設定します。
BORDER COLOR	ワイプの周囲に付ける縁取りの色を設定します。
BORDER WIDTH	ワイプの周囲に付ける縁取りの幅を設定します。

※ パラメーターの詳細については、「3: TRANSITION」 (P.122) をご覧ください。

3. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

映像をスプリットする

画面を左右／上下に分割にして 2 つの映像を表示します。

映像の配置

左または上側：PGM バスの映像

右または下側：PST バスの映像



画面レイアウトを設定する

スプリット画面のレイアウトを設定することができます。

1. [SPLIT] ボタンが点灯している状態で、[MENU] ボタン → [TRANSITION] → [SPLIT] を選び、[VALUE] つまみを押す。

セットアップ画面が表示されます。

2. 画面にタッチして、設定をする。

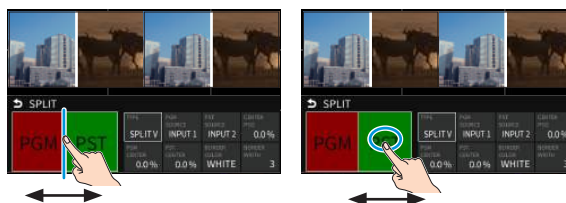


設定値	説明
TYPE	SPLIT V 映像の中央部を縦に切り出して合成します（左右分割）。
	SPLIT H 映像の中央部を横に切り出して合成します（上下分割）。
PGM SOURCE	左または上側に表示させたい映像ソースを選びます。
PST SOURCE	右または下側に表示させたい映像ソースを選びます。
PGM-CENTER	左または上側に配置された映像の位置を調節します。
PST-CENTER	右または下側に配置された映像の位置を調節します。
CENTER POS	境界線の位置を調節します。
BORDER COLOR	境界線の色を設定します。
BORDER WIDTH	境界線の幅を設定します。

※ パラメーターの詳細については、「3：TRANSITION」(P.122) をご覧ください。

メモ

スプリットのセットアップ画面が表示されているときは、CENTER POS や PGM-CENTER、PST-CENTER などのパラメーターを、画面を直接ドラッグして変更することができます。



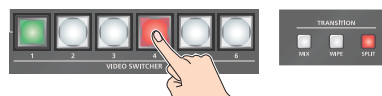
3. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

スプリットで表示する

1. [SPLIT] ボタンを押して、スプリット合成をオン（点灯）にする。

SPLIT ボタンが赤点灯します。

2. VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンを押して、上または左側に表示させたい映像を選ぶ。



SPLIT ボタンが赤点灯しているときは、PGM 側の映像が選ばれます。

メモ

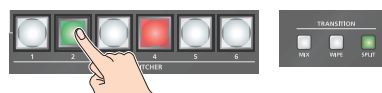
MULTI-VIEW や STILL-VIEW の画面を直接タッチして映像を選ぶこともできます。

3. もう一度 [SPLIT] ボタンを押す。

SPLIT ボタンが緑点灯します。

※ SPLIT ボタンを押すたびに、赤点灯 ↔ 緑点灯が切り替わります。

4. VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンを押して、下または右側に表示させたい映像を選ぶ。



SPLIT ボタンが緑点灯しているときは、PST 側の映像が選ばれます。

メモ

MULTI-VIEW や STILL-VIEW の画面を直接タッチして映像を選ぶこともできます。

5. スプリットをオフにするときは、[MIX] または [WIPE] ボタンを押す。

自動的に映像を切り替える（オート・スイッチング）

INPUT 1 ～ 6 の映像やシーン・メモリー（P.65）を自動的に切り替えます（オート・スイッチング機能）。

映像を自動的に切り替えることで、オペレーションを省力化することができます。

動作モードについて

オート・スイッチングには、状況に合わせて選べる「インプット・スキャン」「シーン・メモリー・スキャン」「ビート・シンク」「ビデオ・フォロー・オーディオ」「PinP & KEY スキャン」「DSK スキャン」の 6 つの動作モードが用意されています。

指定した間隔で切り替える（インプット・スキャン）

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に INPUT 1 ～ 6 の映像が切り替わります。映像ごとに表示時間を変えたり、映像をランダムに切り替えたりすることもできます。

複数のカメラ映像を切り替えて、弾き語りをライブ配信するときなどに便利です。

※ 映像入力がない場合は、スキップされます。

シーン・メモリーを切り替える（シーン・メモリー・スキャン）

シーン・メモリー 1 ～ 32 を自動的に呼び出します。各シーン・メモリーに保存されている設定に従って、映像／音声が切り替わります。

※ 設定が保存されていないシーン・メモリーは、スキップされます。

曲のビート（拍）に合わせて切り替える（ビート・シンク）

曲からビートを検出し、ビートのタイミングで映像を自動的に切り替えます。DJ パフォーマンスや音楽演奏のライブ配信などで、曲に同期した映像切り替えをすることができます。

マイクからの音声に合わせて切り替える（ビデオ・フォロー・オーディオ）

マイクから入力される音声を検出し、音量に応じて任意の映像に自動的に切り替えます。トーク番組や対談で、演者が話しているときは演者のクローズアップ映像、トークの合間には演者二人のワイドショット映像に切り替えるといった演出をすることができます。

PinP & KEY の映像を切り替える（PinP & KEY スキャン）

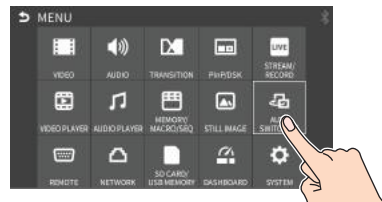
あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に PinP & KEY 1/2 の映像が切り替わります。映像ごとに表示時間を変えたり、映像をランダムに切り替えたりすることもできます。

DSK の映像を切り替える（DSK スキャン）

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に DSK の映像が切り替わります。映像ごとに表示時間を変えたり、映像をランダムに切り替えたりすることもできます。

オート・スイッチング機能をオン／オフする

1. [MENU] ボタン → 「AUTO SWITCHING」を選び、[VALUE] つまみを押す。



オート・スイッチング機能のセットアップ画面が表示されます。

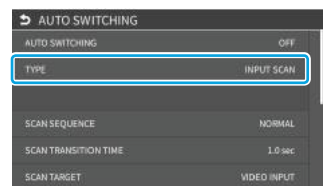
2. [VALUE] つまみで「AUTO SWITCHING」を選び、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで「ON」を選び、[VALUE] つまみを押す。
動作モードに従って映像が自動的に切り替わります。
4. オート・スイッチング機能をオフにするときは、「OFF」を選ぶ。
5. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

動作モードを設定する

1. [MENU] ボタン → 「AUTO SWITCHING」を選び、[VALUE] つまみを押す。

オート・スイッチング機能のセットアップ画面が表示されます。

2. [VALUE] つまみで「TYPE」を選び、[VALUE] つまみを押す。



3. [VALUE] つまみで動作モードを選び、[VALUE] つまみを押す。

動作モードに従って映像が自動的に切り替わります。

インプット・スキャン

1. 動作モードに「INPUT SCAN」を選ぶ。(P.22)
セットアップ画面の内容が変わります。
2. [VALUE] つまみで以下のパラメーターを選び、[VALUE] つまみを押す。

パラメーター	説明
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 NORMAL : INPUT 1 → 6 の順に切り替わります。 REVERSE : INPUT 6 → 1 の順に切り替わります。 RANDOM : ランダムに切り替わります。
SCAN TRANSITION TIME	映像の切り替え時間を設定します。
SCAN TARGET	オート・スイッチングの対象とする映像を設定します。 VIDEO INPUT : 最終出力映像とプレビュー映像 PinP & KEY 1 ~ 2 : PinP & KEY レイヤー (子画面) の映像 DSK : DSK レイヤー (子画面) の映像
INPUT 1 ~ 6 TIME	映像の表示時間を設定します。「OFF」にすると、スキップされます。

※ パラメーターの詳細については、「10: AUTO SWITCHING」(P.130) をご覧ください。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

シーン・メモリー・スキャン

1. 動作モードに「SCENE MEMORY SCAN」を選ぶ。(P.22)
セットアップ画面の内容が変わります。
2. [VALUE] つまみで以下のパラメーターを選び、[VALUE] つまみを押す。

パラメーター	説明
SCAN SEQUENCE	シーン・メモリーを切り替える順番を設定します。 NORMAL : シーン・メモリー 1 → 32 の順に切り替わります。 REVERSE : シーン・メモリー 32 → 1 の順に切り替わります。 RANDOM : ランダムに切り替わります。
MEMORY 1 ~ 32 TIME	次のシーン・メモリーに切り替えるまでの時間を設定します。「OFF」にすると、スキップされます。

※ パラメーターの詳細については、「10: AUTO SWITCHING」(P.130) をご覧ください。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

ビート・シンク

1. 動作モードに「BEAT SYNC」を選ぶ。(P.22)
セットアップ画面の内容が変わります。
2. [VALUE] つまみで以下のパラメーターを選び、[VALUE] つまみを押す。

パラメーター	説明
SYNC SOURCE	映像を同期させる入力音声を設定します。
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 NORMAL : INPUT 1 → 6 の順に切り替わります。 REVERSE : INPUT 6 → 1 の順に切り替わります。 RANDOM : ランダムに切り替わります。
SCAN TRANSITION TIME	映像の切り替え時間を設定します。
SCAN CYCLE	何拍で次の映像に切り替えるかを設定します。
SCAN TARGET	オート・スイッチングの対象とする映像を設定します。 VIDEO INPUT : 最終出力映像とプレビュー映像 PinP & KEY 1 ~ 2 : PinP & KEY レイヤー (子画面) の映像 DSK : DSK レイヤー (子画面) の映像

※ パラメーターの詳細については、「10: AUTO SWITCHING」(P.130) をご覧ください。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

メモ

ダッシュボードの USER ボタンにオート・スイッチング機能を割り当てたときは、現在の BPM に同期して、USER ボタンが点滅します。



ビデオ・フォロー・オーディオ

1. 動作モードに「VIDEO FOLLOWS AUDIO」を選ぶ。
(P.22)
セットアップ画面の内容が変わります。
2. [VALUE] つまみで以下のパラメーターを選び、[VALUE] つまみを押す。

パラメーター	説明
AUDIO IN 1 ~ 7/8 TARGET、 USB IN TARGET、 Bluetooth IN TARGET、 AUDIO PLAYER TARGET、 VIDEO IN 1 ~ 6 TARGET、 V.PLAYER TARGET	音声を検出したときに出力する映像を設定します。
-THRESHOLD	ビデオ・フォロー・オーディオ機能が動作する基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超える音声が検出されると、映像が切り替わります。
AUDIO MIX TARGET	複数のマイクで音声を検出したときに出力する映像を設定します。「OFF」にすると、音声を検出した順番に映像が切り替わります。
AUDIO SILENT TARGET	すべてのマイクから音声入力がないときに出力する映像を設定します。「OFF」にすると、最後に切り替わった映像を出力し続けます。
AUDIO REDETECTION TIME	映像切り替えが完了したあと、再び音声の検出を始めるまでの時間を設定します。

※ パラメーターの詳細については、「10：AUTO SWITCHING」(P.130) をご覧ください。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

PinP & KEY スキャン

1. 動作モードに「PinP & KEY 1 SCAN」または「PinP & KEY 2 SCAN」を選ぶ。(P.22)
セットアップ画面の内容が変わります。
2. [VALUE] つまみで以下のパラメーターを選び、[VALUE] つまみを押す。

パラメーター	説明
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 NORMAL： INPUT 1 → 6、STILL 1 → 16 の順に切り替わります。 REVERSE： STILL 16 → 1、INPUT 6 → 1 の順に切り替わります。 RANDOM： ランダムに切り替わります。
VIDEO IN 1 ~ 6 TIME	映像の表示時間を設定します。
STILL 1 ~ 16 TIME	静止画の表示時間を設定します。
V.PLAYER TIME	動画の映像の表示時間を設定します。

※ パラメーターの詳細については、「10：AUTO SWITCHING」(P.130) をご覧ください。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

DSK スキャン

1. 動作モードに「DSK SCAN」を選ぶ。(P.22)
セットアップ画面の内容が変わります。
2. [VALUE] つまみで以下のパラメーターを選び、[VALUE] つまみを押す。

パラメーター	説明
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 NORMAL： INPUT 1 → 6、STILL 1 → 16 の順に切り替わります。 REVERSE： STILL 16 → 1、INPUT 6 → 1 の順に切り替わります。 RANDOM： ランダムに切り替わります。
VIDEO IN 1 ~ 6 TIME	映像の表示時間を設定します。
STILL 1 ~ 16 TIME	静止画の表示時間を設定します。
V.PLAYER TIME	動画の映像の表示時間を設定します。

※ パラメーターの詳細については、「10：AUTO SWITCHING」(P.130) をご覧ください。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

静止画を読み込む

静止画を読み込んで、映像と同じように出力したり (P.26)、DSK 合成 (P.35) のソースとして使ったりすることができます。静止画の読み込みには、「ストレージ (SD カードや USB メモリー) から読み込む方法」と「入力映像をキャプチャーする方法」の 2 つの方法があります。

静止画は、16 枚まで本体に保存することができます。

※ 本体に静止画が保存されると、画像サイズと静止画の保存枚数に応じて、起動時間が長くなります。

ストレージから静止画を読み込む

ストレージに保存した静止画を本体に読み込みます。

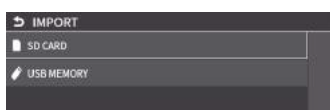
1. SD カードまたは USB メモリーのルート・ディレクトリーに、静止画を保存する。
2. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。
※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。
3. [MENU] ボタン → [STILL IMAGE] → [LOAD FROM STORAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。
4. 画面にタッチして、静止画の読み込み先メモリー (STILL 1 ~ 16) を選ぶ。
6. [VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。
静止画が本体に読み込まれます。完了すると [COMPLETED] と表示されます。
7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。



ストレージ内の静止画が一覧表示されます。



※ 画面上の [SD CARD] [USB MEMORY] を選ぶことで、読み込み元のストレージを切り替えることができます。



5. 読み込みたい静止画のファイル名にタッチする。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

メモ

静止画の保存方法を「一時保存」にすることができます。電源を切ると、読み込んだ静止画は削除されます。

[MENU] ボタン → [STILL IMAGE] → [SAVE TO INTERNAL STORAGE] を [DISABLE] にして、静止画を読み込みます。

注意

- 静止画は出力フォーマット・サイズにスケーリングされます。
- SD カードや USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-6HD でフォーマットしてください (P.13)。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードや USB メモリーを抜いたりしないでください。
- SD カードや USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。

読み込み対応フォーマット

フォーマット	Bitmap ファイル (.bmp)、24 ビットカラー、非圧縮
	PNG ファイル (.png)、24 ビットカラー ※ アルファ・チャンネル対応
	JPEG ファイル (.jpg、.jpeg)、24 ビットカラー
解像度	システム・フォーマット (P.14) に準拠
ファイル名	半角英数 64 文字以内 必ず拡張子 [.bmp]、[.png]、[.jpg]、または [.jpeg] を付けてください。

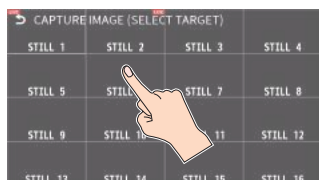
入出力映像から静止画をキャプチャーする

入出力映像から静止画をキャプチャーして、本体に保存します。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO] → [CAPTURE IMAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

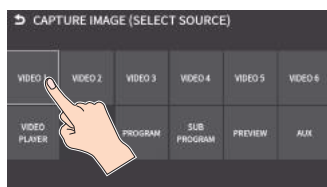
CAPTURE IMAGE 画面が表示されます。

2. 画面にタッチして、静止画の保存先メモリー (STILL 1 ~ 16) を選ぶ。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

3. 画面にタッチして、キャプチャーする入出力映像を選ぶ。



キャプチャーが実行されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

4. [MENU] ボタンを押して、操作を終了する。

メモ

- 静止画の保存方法を「一時保存」にすることができます。電源を切ると、キャプチャーした静止画は削除されます。
[MENU] ボタン → [STILL IMAGE] → [SAVE TO INTERNAL STORAGE] を [DISABLE] にして、キャプチャーを実行します。
- HDCP (P.18) がオンのときにキャプチャーすると、作成された静止画は、HDCP 付きの映像と同様に扱われます。HDCP がオフのときは、使用できません。

読み込んだ静止画を出力する

VIDEO SWITCHER [1] ~ [6] ボタンに静止画を割り当て、映像と同じように出力したり、最終出力を一時的に止めて静止画を出力したりすることができます。

※ アルファ・チャンネル付き静止画 (.png) を出力するときは、アルファ・チャンネル (透過度) 情報は無視されます。

VIDEO SWITCHER ボタンに静止画を割り当てる

VIDEO SWITCHER [1] ~ [6] ボタンに本体に読み込んだ静止画を割り当てて、映像と同じように出力します。

1. 以下の手順に従って、本体に静止画を読み込む。

- ➡ 「ストレージから静止画を読み込む」 (P.25)
- ➡ 「入出力映像から静止画をキャプチャーする」 (P.26)

2. 「映像ソースを割り当てる」 (P.15) の手順に従って、VIDEO SWITCHER ボタンに静止画を割り当てる。

3. 「映像を切り替える」 (P.19) の手順に従って、静止画を出力する。

最終出力に静止画を挿入する

最終出力を一時的に止めて、任意の静止画をカットで出力します。

VIDEO SWITCHER ボタンに静止画を割り当てずに、ダイレクトに静止画を出力することができます。

※ プレビューにも最終出力と同じ静止画が出力されます。

静止画の出力には、以下の方法があります。

ダッシュボードの USER ボタンを操作する

- ➡ 「ダッシュボードを使う」 (P.84)

フットスイッチを操作する

- ➡ 「フットスイッチを使う」 (P.88)

エクスプレッション・ペダルを操作する

- ➡ 「エクスプレッション・ペダルを使う」 (P.89)

外部から制御信号を入力する (GPI)

- ➡ 「制御信号を入力する」 (P.90)

メモ

フェード・イン効果を付けて静止画を出力する

[OUTPUT FADE] ボタンを使うと、フェード・イン効果を付けて、静止画を出力することができます。

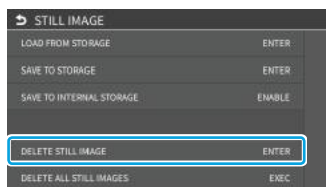
AUX バスに静止画を割り当て、[OUTPUT FADE] ボタンの機能を以下のように変更します。 (P.138)

[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [OUTPUT FADE ASSIGN VIDEO] を「AUX」に設定します。

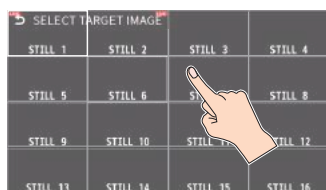
静止画を削除する

本体に保存されている静止画を削除します。

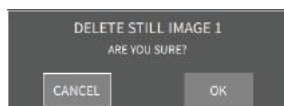
1. [MENU] ボタン → [STILL IMAGE] → [DELETE STILL IMAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. 画面にタッチして、削除する静止画を選ぶ。



確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

3. [VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。
静止画が削除されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

すべての静止画を削除する

1. [MENU] ボタン → [STILL IMAGE] → [DELETE ALL STILL IMAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

2. [VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。
すべての静止画が削除されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。
3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

SD カードや USB メモリーに静止画を書き出す

入出力映像からキャプチャーした静止画（P.26）を、ストレージ（SD カードや USB メモリー）に書き出すことができます。

※ HDCP（P.18）がオンのときに作成された静止画は、書き出しできません。

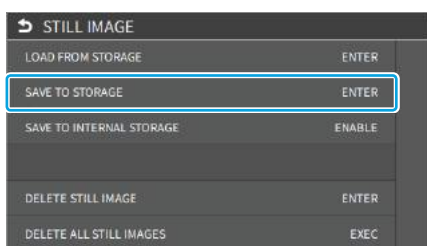
注意

- SD カードや USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-6HD でフォーマットしてください（P.13）。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードや USB メモリーを抜いたりしないでください。
- SD カードや USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。
- 静止画は「Roland/VR-6HD/still」フォルダーに保存されます。

1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → 「STILL IMAGE」 → 「SAVE TO STORAGE」を選び、[VALUE] つまみを押す。



3. 画面にタッチして、書き出したい静止画を選ぶ。



ストレージ内（静止画フォルダー）の静止画が一覧表示されます。



※ 画面上の「TARGET STORAGE」で、書き出し先のストレージを切り替えることができます。

4. 「FILE NAME」を選び、[VALUE] つまみを押す。

入力用のソフトウェア・キーボードが表示されます。

5. ファイル名を入力する。

※ 入力できる文字数は、32 文字までです。

6. ソフトウェア・キーボードの「Enter」にタッチする。



7. ファイル・タイプを選ぶ。

① [VALUE] つまみで「SAVE FORMAT」を選び、[VALUE] つまみを押す。

② [VALUE] つまみで「BITMAP」、「JPEG」、または「PNG」を選び、[VALUE] つまみを押す。

8. [VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

9. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージに静止画が書き出されます。

静止画はストレージ内の「Roland/VR-6HD/still」フォルダー（静止画フォルダー）に書き出されます。

10. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

静止画を上書き保存する

手順 5 の画面で既存の静止画のファイル名にタッチすると、ファイル・ネーム欄のファイル名が引き継がれ、上書き保存することができます。

動画を読み込む

ストレージに保存した動画を本体に読み込みます。読み込んだ動画を再生して、映像と同じように出力することができます。

1. SD カードまたは USB メモリーのルート・ディレクトリーに、動画を保存する。

2. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

3. [MENU] ボタン → [VIDEO PLAYER] を選び、[VALUE] つまみを押す。

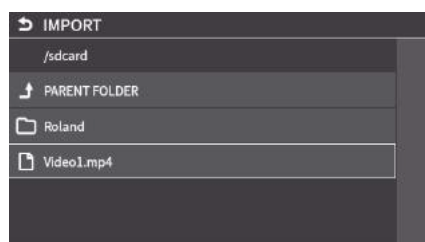
ビデオ・プレーヤーのセットアップ画面が表示されます。



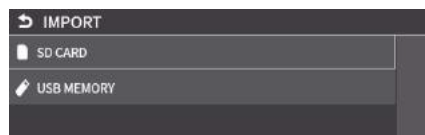
4. 画面右上のファイル名にタッチする。



※ 工場出荷時は「Demo.mp4」が読み込まれています。
ストレージ内の動画が一覧表示されます。



- ※ フォルダにタッチするとフォルダの中に移動します。
- ※ <PARENT FOLDER>にタッチすると1つ上の階層に移動します。
- ※ 画面上の「SD CARD」「USB MEMORY」を選ぶことで、読み込み元のストレージを切り替えることができます。



5. 読み込みたい動画のファイル名にタッチする。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

6. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。
動画が本体に読み込まれます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

※ ファイル・サイズが大きい動画は、読み込みに時間がかかります。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

注意

- 動画は出力フォーマット・サイズにスケーリングされます。
- SD カードや USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-6HD でフォーマットしてください (P.13)。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードや USB メモリーを抜いたりしないでください。
- SD カードや USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。

読み込み対応フォーマット

フォーマット	MP4 File (.mp4) H.264、AAC (48kHz)、 平均ビットレート 20Mbps 以下
解像度	最大 1920 × 1080 ピクセル
ファイル名	半角英数、拡張子を含め 64 文字以内

読み込んだ動画を出力する

VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンに動画を割り当て、映像と同じように出力したり、最終出力を一時的に止めて動画を出力したりすることができます。

動画を再生する（ビデオ・プレーヤー）

読み込んだ動画を再生するには、ビデオ・プレーヤーを使います。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO PLAYER] を選び、[VALUE] つまみを押す。

ビデオ・プレーヤーのセットアップ画面が表示されます。



2. 画面にタッチして、ビデオ・プレーヤーの設定をする。

メニュー項目	説明
ファイル名	読み込んだ動画のファイル名を表示します。タッチすると動画を読み込みます。
START TIME	動画の再生開始ポイントを設定します。
END TIME	動画の再生終了ポイントを設定します。
REPEAT	リピート再生をオン／オフします。
ページ 2	
SKIP FORWARD TIME	<▶▶>にタッチしたときの早送り時間を設定します。
SKIP BACKWARD TIME	<◀◀>にタッチしたときの早送り時間を設定します。
MIXER INPUT(ENTER)	動画の再生音量を調節します。

3. <▶>にタッチする。

設定に従って動画が再生されます。

VIDEO SWITCHER ボタンに動画を割り当てる

VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンに本体に読み込んだ動画を割り当てて、映像と同じように出力します。

1. 「動画を読み込む」（P.29）の手順に従って、本体に動画を読み込む。
2. 「映像ソースを割り当てる」（P.15）の手順に従って、VIDEO SWITCHER ボタンに動画を割り当てる。
3. 「映像を切り替える」（P.19）の手順に従って、動画を出力する。

メモ

MULTI-VIEW や STILL-VIEW の画面を直接タッチして映像を選ぶこともできます。

最終出力に動画を挿入する

最終出力を一時的に止めて、任意の動画をカットで出力します。

VIDEO SWITCHER ボタンに動画を割り当てずに、ダイレクトに動画を出力することができます。

※ プレビューにも最終出力と同じ動画が出力されます。

動画の出力には、以下の方法があります。

ダッシュボードの USER ボタンを操作する

➡ 「ダッシュボードを使う」（P.84）

フットスイッチを操作する

➡ 「フットスイッチを使う」（P.88）

エクスプレッション・ペダルを操作する

➡ 「エクスプレッション・ペダルを使う」（P.89）

外部から制御信号を入力する（GPI）

➡ 「制御信号を入力する」（P.90）

注意

- 配信、録画フォーマット、ビデオ・プレーヤーで再生するファイルのいずれかが 1080 / 30p を超える場合、配信、録画機能とビデオ・プレーヤー機能を同時に使用できません。
- 配信、録画ビットレート設定と、ビデオ・プレーヤーで再生するファイルのビットレートの合計が 20,000kbps を超える場合、配信、録画機能とビデオ・プレーヤー機能を同時に使用できません。

入力映像を静止する（フリーズ）

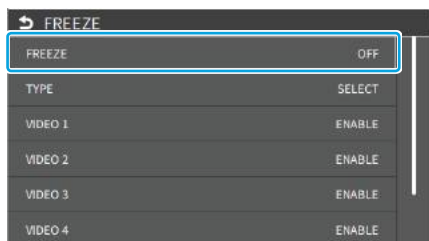
入力映像を一時的に静止します（フリーズ機能）。
映像を静止させた状態で、切り替え効果をかけることができます。

動作モードを設定する

フリーズには、入力映像をすべて静止する「ALL モード」と、指定した入力映像だけを静止する「SELECT モード」の 2 つの動作モードがあります。用途に合わせて動作モードを設定します。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO] → [FREEZE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

フリーズ機能のセットアップ画面が表示されます。



2. [VALUE] つまみで「TYPE」を選び、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで動作モードを選び、[VALUE] つまみを押す。

設定値	説明
ALL	すべての入力映像が静止します。
SELECT	指定した入力映像だけが静止します。

「SELECT」を選んだ場合

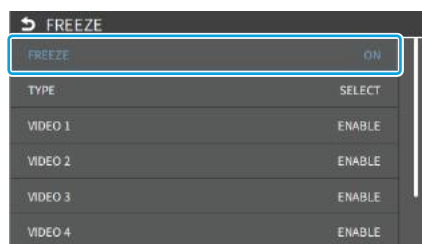
4. 画面にタッチして、「VIDEO 1」～「VIDEO 6」の指定をする。

設定値	説明
ENABLE	入力映像が静止します。
DISABLE	入力映像は静止しません。

5. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

フリーズ機能をオン／オフする

1. [MENU] ボタン → [VIDEO] → [FREEZE] を選び、[VALUE] つまみを押す。
フリーズ機能のセットアップ画面が表示されます。
2. [VALUE] つまみで「FREEZE」を選び、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで「ON」を選ぶ。



入力映像が静止します。

4. フリーズ機能をオフにするときは、もう一度 [VALUE] つまみを操作して「OFF」を選ぶ。
5. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。

メモ

ダッシュボードの USER ボタンにフリーズ機能を割り当てて、オン／オフを切り替えることができます（P.84）。

最終出力映像をフェード・イン／アウトする

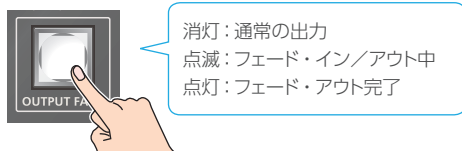
最終出力映像から黒画面へフェード・アウト、または黒画面から最終出力映像へフェード・インします。

映像出力したくない場面で、映像を黒画面にすることができます。

※ 工場出荷時の設定では、最終出力映像と音声と同時にフェード・イン／アウトします。

※ フェード・イン／アウトの効果が適用されるのは、最終出力のみです。

1. [OUTPUT FADE] ボタンを押す。



最終出力映像から黒画面にフェード・アウトします。

完全にフェード・アウトすると、[OUTPUT FADE] ボタンが点灯します。

2. フェード・インさせるときは、もう一度 [OUTPUT FADE] ボタンを押す。

[OUTPUT FADE] ボタンが点滅し、最終出力が始まります。

完全にフェード・インすると、[OUTPUT FADE] ボタンが消灯します。

メモ

- 白画面や AUX バスの映像を使って、フェード・イン／アウトの効果を付けることもできます。
[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [OUTPUT FADE ASSIGN VIDEO] で設定します。
- 音量を変えずに、映像だけをフェード・イン／アウトするには、
[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [OUTPUT FADE ASSIGN AUDIO] を「DISABLE」に設定します。
- フェード・イン／アウトにかかる時間は、[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [OUTPUT FADE ASSIGN TIME] で設定します。

映像合成の操作

ピクチャーインピクチャー (PinP) で映像を合成する

背景映像の上に子画面の映像を合成します。PinP & KEY 1 ~ 2 を同時に使って、2 つの子画面を表示することができます。ここでは、「PinP & KEY 1」を使って映像を合成する操作を説明します。「PinP & KEY 2」を使う場合も、同様に操作できます。

子画面 1 (PinP & KEY 1)

子画面 2 (PinP & KEY 2)



背景映像

1. PANEL [SETUP] ボタンを押す。

2. < PinP & KEY 1 > にタッチする。

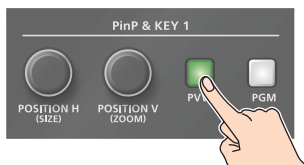
PinP のセットアップ画面が表示されます。



3. < SOURCE > にタッチして、子画面にしたい映像を選ぶ。



4. PinP & KEY 1 [PVW] ボタンを押して、子画面のプレビュー出力をオン (点灯) にする。



マルチビューの PVW セクションに子画面が表示され、子画面の位置や大きさを確認することができます。この段階では、最終出力には反映されません。

5. セットアップ画面にタッチして、子画面の位置を調節する。

パラメーター	説明
POSITION H	子画面の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	子画面の垂直方向の位置を調節します。
SIZE	子画面のサイズを調節します。

メモ

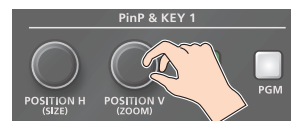
子画面にタッチして調節する (EDIT on PREVIEW 画面のみ)

子画面を直接ドラッグして位置を調節したり、ピンチ・イン/ピンチ・アウトで子画面のサイズを調節したりすることができます。



POSITION つまみで調節する

[POSITION H] [POSITION V] つまみを回して、子画面の位置を調節することができます。



6. PinP & KEY 1 [PGM] ボタンを押して、PinP 合成をオン (点灯) にする。



子画面が最終出力されます。

7. PinP 合成をオフにするときは、もう一度 PinP & KEY 1 [PGM] ボタンを押す。

映像切り替えに連動させて PinP 合成や DSK 合成をオン/オフする

映像切り替えに連動させて、PinP 合成や DSK 合成をオン/オフすることができます。

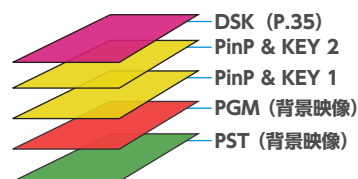
1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [PANEL OPERATION] を [PGM/PST] にしてから、[EFFECTS TRANSITION SYNC] を [ON] にする。

2. 手順 4 のあとに、[AUTO] [CUT] ボタンで映像を切り替える。

PinP 合成がオンになり、プレビューされていた合成結果が最終出力されます。

メモ

出力映像のレイヤー構造は、下図のとおりです。



• 各レイヤーの [PVW] または [PGM] ボタンを長押しすると、ボタンを押している間、操作対象のレイヤーだけを表示することができます (スポット機能: [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [EFFECTS SPOT] を [ENABLE] にします)。

• 子画面がフェード・イン/アウトする時間は、[MENU] ボタン → [PinP & KEY] → [PinP & KEY 1 ~ 2] → [TIME] で設定します。

子画面の詳細を設定する

PinP のセットアップ画面で、子画面のサイズや形、縁取り幅などを細かく設定することができます。

PinP&KEY 1 < ● ● >		COPY/SWAP	EDIT ON PREVIEW
SOURCE	TYPE	TIME	SIZE
VIDEO 1	PinP	1.0 sec	35.0 %
POSITION H	POSITION V	CROPPING H	CROPPING V
-40.0 %	0.0 %	100.0 %	100.0 %

パラメーター	説明
SOURCE	子画面の映像ソースを設定します。
TYPE	PinP 合成のタイプを設定します。
TIME	映像の切り替え時間を設定します。
子画面を調節します。	
POSITION H	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	垂直方向の位置を調節します。
SIZE	サイズ（拡大／縮小）を調節します。
CROPPING H	水平方向のサイズを調節します。
CROPPING V	垂直方向のサイズを調節します。
SHAPE	子画面の形（長方形、丸、ひし形）を設定します。
BORDER COLOR	縁取りの色を設定します。
BORDER WIDTH	縁取りの幅を調節します。
子画面に表示される映像を調節します。	
POSITION H	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	垂直方向の位置を調節します。
ZOOM	拡大率を調節します。

※ パラメーターの詳細については、「4：PinP/DSK」（P.123）をご覧ください。

子画面をキー合成する

子画面の一部を透明にして、背景映像と合成します。

黒または白背景のルミナンス・キー、青または緑背景のクロマ・キーを使うことができます。

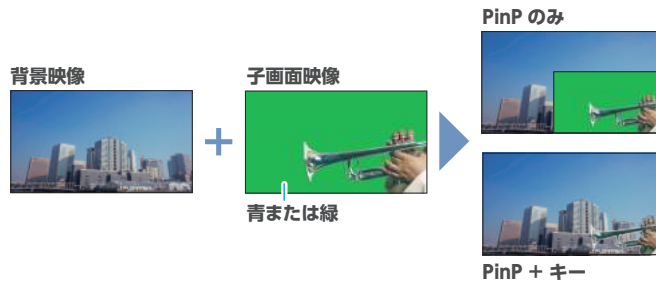
ルミナンス・キー

黒または白部分を透明にしてロゴや画像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



クロマ・キー

青または緑部分を透明にして映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



1. PinP のセットアップ画面で、「TYPE」にタッチして PinP 合成のタイプを選ぶ。



設定値	説明
LUMINANCE WHITE KEY	PinP とルミナンス・キー（白）の組み合わせです。子画面映像の白い部分を透明にして、背景映像と合成します。
LUMINANCE BLACK KEY	PinP とルミナンス・キー（黒）の組み合わせです。子画面映像の黒い部分を透明にして、背景映像と合成します。
CHROMA KEY	PinP とクロマ・キーの組み合わせです。子画面映像の青または緑部分を透明にして、背景映像と合成します。

※ パラメーターの詳細については、「4：PinP/DSK」（P.123）をご覧ください。

2. 選んだタイプに応じて、効果のかかり具合を調節する。

ダウンストリーム・キーヤー（DSK）で映像を合成する

スプリット（P.21）や PinP（P.33）で合成された映像に、さらにタイトルやテロップ、映像を合成することができます（DSK 合成）。DSK レイヤーは他のレイヤーの手前に置かれます（➡ P.33 メモ欄）。

DSK モードについて

DSK 合成には、「セルフ・キー」「アルファ・キー」「エクスターナル・キー」の 3 つのモードがあります。DSK モードに応じて、以下の映像合成ができます。

セルフ・キー

ルミナンス・キー（P.36）

黒または白部分を透明にして文字や画像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



クロマ・キー（P.37）

青または緑部分を透明にして映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。素材から色を選んで、キー・カラーを設定することもできます。



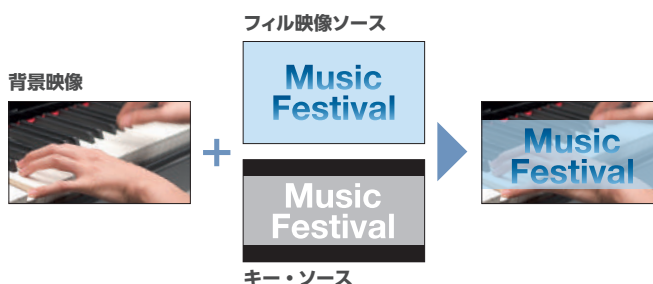
アルファ・キー（P.39）

アルファ・チャンネル（透過度情報を持つ領域）を利用して静止画を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



エクスターナル・キー（P.40）

キー信号（切り抜く形状）とフィル映像（合成される映像）を別々に設定します。キー信号でフィル映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



テロップや画像を合成する（ルミナンス・キー）

黒または白部分を透明にして文字や画像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



DSK 合成する

1. PANEL [SETUP] ボタンを押す。

2. < DSK > にタッチする。

DSK のセットアップ画面が表示されます。



3. セットアップ画面にタッチして、以下のように設定する。

パラメーター	説明
MODE	SELF KEY
TYPE	LUMINANCE WHITE KEY (明るさを基準にして、白い部分を透明にします。)
	LUMINANCE BLACK KEY (明るさを基準にして、黒い部分を透明にします。)

4. < DSK SOURCE > にタッチして、DSK 映像ソースを選ぶ。



5. DSK [PVW] ボタンを押して、DSK プレビュー出力をオン(点灯)にする。



マルチビューの PVW セクションに合成結果が表示されます。
この段階では、最終出力には反映されません。

6. セットアップ画面にタッチして、効果のかかり具合を調節する。

パラメーター	説明
DSK	
LEVEL	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
GAIN	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。
TIME	DSK 映像ソースがフェード・イン／アウトする時間を調節します。

※ パラメーターの詳細については、「4：PinP/DSK」（P.123）をご覧ください。

7. DSK [PGM] ボタンを押して、DSK 合成をオン（点灯）にする。



合成結果が最終出力されます。

8. DSK 合成をオフにするときは、もう一度 DSK [PGM] ボタンを押す。

映像切り替えに連動させて DSK 合成や PinP 合成をオン／オフする

映像切り替えに連動させて、DSK 合成や PinP 合成をオン／オフすることができます。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [PANEL OPERATION] を [PGM/PST] にしてから、[EFFECTS TRANSITION SYNC] を [ON] にする。

2. 手順 5 のあとに、[AUTO] [CUT] ボタンで映像を切り替える。
DSK 合成がオンになり、プレビューされていた合成結果が最終出力されます。

テロップや画像を加工する

上に重ねたテロップや画像を塗りつぶしたり、縁取りを付けたりすることができます。

DSK のセットアップ画面で、以下のパラメーターを設定します。

パラメーター	説明
FILL	
FILL TYPE	[MATTE] に設定すると、上に重ねたテロップや画像を [MATTE COLOR] で指定した色で塗りつぶします。
EDGE	
EDGE TYPE	縁取りの種類を設定します。
EDGE COLOR	縁取りの色を設定します。
EDGE WIDTH	縁取りの幅を設定します。

※ クロマ・キー（P.37）と共通の設定です。

被写体と背景を合成する（クロマ・キー）

青または緑部分を透明にして映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。ブルー・バックやグリーン・バックで撮影した被写体を合成することができます。



DSK 合成する

1. PANEL [SETUP] ボタンを押す。

2. < DSK > にタッチする。

DSK のセットアップ画面が表示されます。

DSK				
MODE	SELF KEY	DSK SOURCE	STILL 1	TIME 1.0 sec
TYPE	LUMINANCE	LEVEL	60	MIX LEVEL 255
	BLACK	GAIN	0	

3. セットアップ画面にタッチして、以下のように設定する。

パラメーター	説明
MODE	SELF KEY
TYPE	CHROMA
CHROMA (ページ 2)	
COLOR	キー色を「GREEN」または「BLUE」に設定します。

4. < DSK SOURCE > にタッチして、DSK 映像ソースを選ぶ。

DSK				
MODE	SELF KEY	DSK SOURCE	STILL 1	TIME 1.0 sec
TYPE	CHROMA	LEVEL	60	MIX LEVEL 255
		GAIN	0	

5. DSK [PVW] ボタンを押して、DSK プレビュー出力をオン(点灯)にする。



マルチビューの PVW セクションに合成結果が表示されます。

この段階では、最終出力には反映されません。

6. セットアップ画面にタッチして、効果のかかり具合を調節する。

パラメーター	説明
DSK	
LEVEL	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
GAIN	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。
TIME	DSK 映像ソースがフェード・イン／アウトする時間を調節します。

※ パラメーターの詳細については、「4 : PinP/DSK」(P.123) をご覧ください。

7. DSK [PGM] ボタンを押して、DSK 合成をオン(点灯)にする。



合成結果が最終出力されます。

8. DSK 合成をオフにするときは、もう一度 DSK [PGM] ボタンを押す。

映像切り替えに連動させて DSK 合成や PinP 合成をオン／オフする

映像切り替えに連動させて、DSK 合成や PinP 合成をオン／オフすることができます。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [PANEL OPERATION] を [PGM/PST] にしてから、[EFFECTS TRANSITION SYNC] を [ON] にする。
2. 手順 5 のあとに、[AUTO] [CUT] ボタンで映像を切り替える。
DSK 合成がオンになり、プレビューされていた合成結果が最終出力されます。

キー色を微調節する

キー色を微調節することができます。

DSK のセットアップ画面で、以下のパラメーターを設定します。

パラメーター	説明
CHROMA (ページ 2)	
HUE WIDTH	色相の幅を調節します。
HUE FINE	色相の中心位置を調節します。
SATURATION WIDTH	彩度の幅を調節します。
SATURATION FINE	彩度の中心位置を調節します。

※ パラメーターの詳細については、「4: PinP/DSK」(P.123) をご覧ください。

上に重ねた映像を加工する

上に重ねた映像を塗りつぶしたり、縁取りを付けたりすることができます。

DSK のセットアップ画面で、以下のパラメーターを設定します。

パラメーター	説明
FILL	
FILL TYPE	「MATTE」に設定すると、上に重ねたテロップや画像を「MATTE COLOR」で指定した色で塗りつぶします。
MATTE COLOR	
EDGE	
EDGE TYPE	縁取りの種類を設定します。
EDGE COLOR	縁取りの色を設定します。
EDGE WIDTH	縁取りの幅を設定します。

※ ルミナンス・キー (P.36) と共通の設定です。

アルファ・チャンネル付き静止画を合成する

アルファ・チャンネル（透過度情報を持つ領域）を利用して静止画を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



DSK 合成する

1. PANEL [SETUP] ボタンを押す。

2. < DSK > にタッチする。

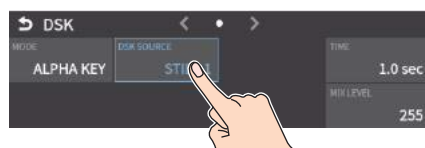
DSK のセットアップ画面が表示されます。



3. セットアップ画面にタッチして、以下のように設定する。

パラメーター	説明
MODE	ALPHA KEY
DSK SOURCE	アルファ・チャンネル付きの静止画を指定します。

4. < DSK SOURCE > にタッチして、DSK 映像ソースを選ぶ。



5. DSK [PVW] ボタンを押して、DSK プレビュー出力をオン（点灯）にする。



マルチビューの PVW セクションに合成結果が表示されます。
この段階では、最終出力には反映されません。

6. セットアップ画面にタッチして、効果のかかり具合を調節する。

パラメーター	説明
MIX LEVEL	キー全体の濃度（出力レベル）を調節します。
TIME	DSK 映像ソースがフェード・イン／アウトする時間を調節します。

※ パラメーターの詳細については、「4: PinP/DSK」(P.123) をご覧ください。

7. DSK [PGM] ボタンを押して、DSK 合成をオン（点灯）にする。



合成結果が最終出力されます。

8. DSK 合成をオフにするときは、もう一度 DSK [PGM] ボタンを押す。

映像切り替えに連動させて DSK 合成や PinP 合成をオン／オフする

映像切り替えに連動させて、DSK 合成や PinP 合成をオン／オフすることができます。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [PANEL OPERATION] を [PGM/PST] にしてから、[EFFECTS TRANSITION SYNC] を [ON] にする。

2. 手順 5 のあとに、[AUTO] [CUT] ボタンで映像を切り替える。
DSK 合成がオンになり、プレビューされていた合成結果が最終出力されます。

エクスターナル・キーを使う

キー信号（切り抜く形状）とフィル映像（合成される映像）を別々に設定します。キー信号でフィル映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



DSK 合成する

1. PANEL [SETUP] ボタンを押す。

2. < DSK > にタッチする。

DSK のセットアップ画面が表示されます。



3. セットアップ画面にタッチして、以下のように設定する。

パラメーター	説明
MODE	EXTERNAL KEY
KEY SOURCE	キー信号として使用する映像を指定します。
FILL SOURCE	フィル映像のソースを指定します。

4. < FILL SOURCE > にタッチして、フィル映像のソースを選ぶ。

5. < KEY SOURCE > にタッチして、キー信号として使用する映像を選ぶ。

6. DSK [PVW] ボタンを押して、DSK プレビュー出力をオン（点灯）にする。



マルチビューの PVW セクションに合成結果が表示されます。
この段階では、最終出力には反映されません。

7. セットアップ画面にタッチして、効果のかかり具合を調節する。

パラメーター	説明
MIX LEVEL	キー全体の濃度（出力レベル）を調節します。
TIME	DSK 映像ソースがフェード・イン／アウトする時間を調節します。

※ パラメーターの詳細については、「4：PinP/DSK」（P.123）をご覧ください。

8. DSK [PGM] ボタンを押して、DSK 合成をオン（点灯）にする。



合成結果が最終出力されます。

9. DSK 合成をオフにするときは、もう一度 DSK [PGM] ボタンを押す。

映像切り替えに連動させて DSK 合成や PinP 合成をオン／オフする

映像切り替えに連動させて、DSK 合成や PinP 合成をオン／オフすることができます。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [PANEL OPERATION] を [PGM/PST] にしてから、[EFFECTS TRANSITION SYNC] を [ON] にする。
2. 手順 6 のあとに、[AUTO] [CUT] ボタンで映像を切り替える。
DSK 合成がオンになり、プレビューされていた合成結果が最終出力されます。

音声の操作

音声ソースを割り当てる

チャンネル 1 ～ 7/8 には、マイクの音声やライン入力、映像入力などを割り当てることができます。

ここでは、チャンネル 1 に音源ソースを割り当てる手順を例にして説明します。

1. 設定を変更したいチャンネルの [SETUP] ボタンを押す。



押したチャンネルのセットアップ画面が表示されます。

2. INPUT FADER 1 のラベルの右側にあるチャンネル割り当てエリアにタッチして、チャンネルに割り当てる音声ソースを選ぶ。



設定値	説明
AUDIO IN 1 ～ 6	AUDIO IN 1 ～ 6 端子からの音声
AUDIO IN 7/8	AUDIO IN 7/8 端子からの音声
USB IN	USB STREAM 端子からの音声
Bluetooth IN	Bluetooth IN からの音声
AUDIO PLAYER	オーディオ・プレーヤーからの音声
VIDEO IN 1 ～ 6 (*1)	VIDEO IN 1 ～ 6 端子からの音声
V.PLAYER	ビデオ・プレーヤーからの音声

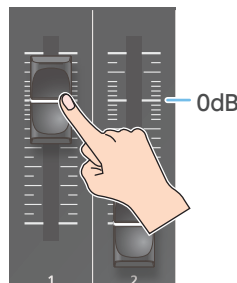
(*1) HDMI エンベデッド・オーディオのうち、チャンネル 1 / 2、チャンネル 3 / 4、チャンネル 5 / 6、チャンネル 7 / 8 から選びます。

3. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

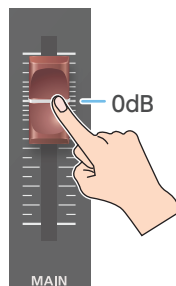
入力ゲイン（感度）を調節する

入力音声に適正なレベルになるように、入力ゲインを調節します。
ここでは、チャンネル 1 の音声为例にして説明します。

1. チャンネル 1 のオーディオ・フェーダーを「0dB」付近に合わせる。



2. [MAIN] フェーダーを「0dB」付近に合わせる。



3. チャンネル 1 の [SETUP] ボタンを押す。



セットアップ画面が表示されます。

4. <ANALOG GAIN>にタッチして、チャンネル 1 の入力ゲインを最小（0dB）に設定する。



5. 実際に入力する音声を出しながら入力ゲインを上げて、調節する。

最も大きな音量のときに、チャンネル 1 の SIG/PEAK インジケーターが赤点灯しない範囲で、入力ゲインをできるだけ上げます。

注意

AUDIO FADER/KNOB MODE が「CATCH」になっているときは、フェーダーの位置とレベルの値が一致していない場合は、レベルの値と一致するまで操作が無視されます。（P.138）

※ 操作が無視されている間は、該当するチャンネルの [SETUP] ボタンが点滅します。

メモ

ステレオ・リンク機能

2つのチャンネルをリンクさせて、ステレオ・チャンネルとして動作させることができます。

チャンネル1～6で設定できます。設定を変更したいチャンネルの[SETUP]ボタン⇒[STEREO LINK]をオンにします。

※ ステレオ・リンクをオンにすると、オンにしたチャンネルの設定が、対になるチャンネルの設定に反映されます。

※ ステレオ・リンクがオンのときは、対になるチャンネルのオーディオ・フェーダーの操作が無効になります。

※ ファンタム電源がオンのときに、ステレオ・リンクのオン/オフを切り替えると、ファンタム電源は自動的にオフになります。

マイクの定位（パン）調整

音声の左右の位置を定位（パン）といいます。2本のマイクを使って演奏会の様子を配信するときなど、定位を左右に振ることで、音に広がりを持たせることができます。

チャンネル1～6で設定できます。設定を変更したいチャンネルの[SETUP]ボタン⇒[PAN]を調節します。

SIG/PEAK インジケータ表示

点灯色	状態
赤	音量が過大 (0dB 以上)
黄	適正な音量 (-20 ~ -1dB)
緑	音量が過小 (-50 ~ -21dB)

デジタル・ゲインの調節

すべての入力で「デジタル・ゲイン」を調節することができます。アナログ・ゲインはアナログ音声を調節し、デジタル・ゲインは、デジタル音声を調節します。

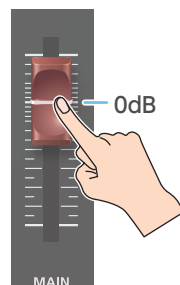
HDMI のデジタル音声入力では、大きなレベルの音声が入力された場合、エフェクト処理で歪みが発生することがあります。

デジタル・ゲインを使うと、エフェクト処理に影響が出ないように、入力レベルを抑えることができます。

音量バランスを調節する

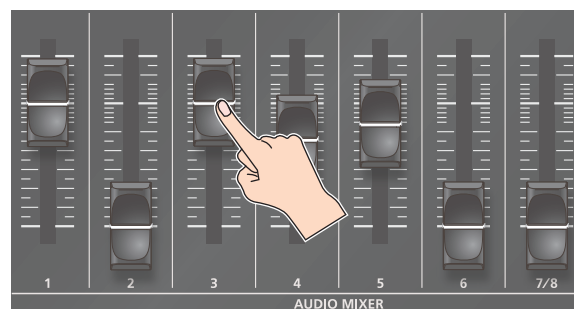
各入力の音量バランスと全体の音量を調節します。

1. [MAIN] フェーダーを「0dB」付近に合わせる。



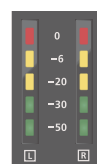
2. スピーカーやヘッドホンで音声を聴きながらオーディオ・フェーダーで、各入力の音量バランスを調節する。

たとえば、司会者用のマイクなど、強調したい音声の音量は上げて、他の音声の音量は下げます。音声の入力がないときや使わない音声は、音量を最小 (-INFdB) に絞ります。



3. [MAIN] フェーダーで、出力音量を調節する。

MAIN レベル・メーターが黄点灯する程度が適正です。



点灯色	状態
赤	音量が過大 (0dB 以上)
黄	適正な音量 (-20 ~ -1dB)
緑	音量が過小 (-50 ~ -21dB)

注意

AUDIO FADER/KNOB MODE が「CATCH」になっているときは、フェーダーの位置とレベルの値が一致していない場合は、レベルの値と一致するまで操作が無視されます。(P.138)

※ 操作が無視されている間は、該当するチャンネルの[SETUP]ボタンが点滅します。

ミキサー画面で音量バランスを調節する

本体ディスプレイのミキサー画面で、さまざまな音量の値を確認しながら調節することができます。

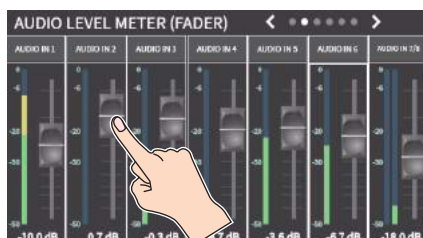
1. [MONITOR] ボタンを何回か押して、AUDIO LEVEL を選ぶ。



オーディオ・レベル画面が表示されます。



2. 画面上部のタブにタッチして、ALL ～ CUSTOM のいずれかのページを表示させる。
3. 画面内のフェーダーをドラッグして、音量を調整する。
(FADER / AUDIO IN / OTHERS / VIDEO IN / CUSTOM)



画面上部のタブで、表示内容を切り替えることができます。

表示内容	説明
ALL	すべての入出力チャンネルのオーディオ・レベル
FADER	フェーダーに割り当てた音源ソース
AUDIO IN	AUDIO IN 1 ～ 7/8 端子からの音声
OTHERS	USB STREAM 端子、Bluetooth In、オーディオ・プレーヤー、ビデオ・プレーヤーからの音声
VIDEO IN	VIDEO IN 1 ～ 6 端子からの音声
CUSTOM	カスタム設定。入出力を自由に割り当てできます。

入力音声にエフェクトをかける

入力音声にエフェクトをかけて、音質を調節します。使えるエフェクトは下表のとおりです。

入力音声	ハイパス・フィルター	エコー・キャンセラー	アンチ・フィードバック	ノイズ・ゲート	ディエッサー	コンプレッサー	イコライザー	ボイス・チェンジャー	ディレイ	リバーブ
AUDIO IN 1, 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
AUDIO IN 3 ~ 6	○	—	—	○	○	○	○	—	○	○
AUDIO IN 7/8	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○
USB IN	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○
Bluetooth IN	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○
VIDEO IN	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○
AUDIO PLAYER, VIDEO PLAYER	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○

1. エフェクトをかけたいチャンネルの [SETUP] ボタンを押す。



押したチャンネルのセットアップ画面が表示されます。

● ハイパス・フィルター

不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、80Hz です。

● エコー・キャンセラー (P.46)

Web 会議システムのスピーカーとマイクを利用した通話で、通話音声からエコー成分を除去します。

● アンチ・フィードバック (P.46)

ハウリングを抑制します。

● ノイズ・ゲート

設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。

● ディエッサー

歯擦音（サ行などの発声時に生じる耳障りな音）を軽減します。

● コンプレッサー

設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声聞き取りやすくなります。

● イコライザー

4 バンド・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音量を調節します。

● ボイス・チェンジャー (P.46)

声の音程や音質を変えます。

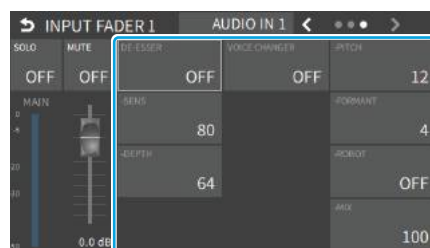
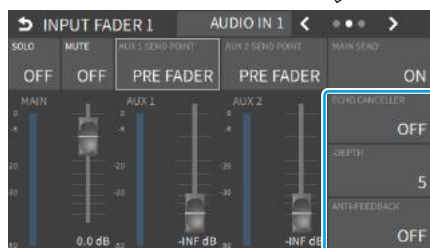
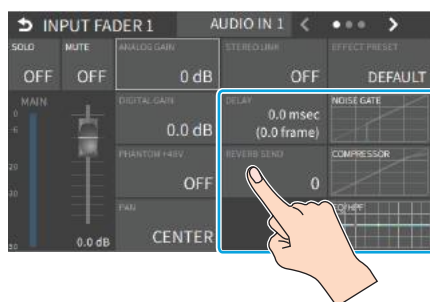
● ディレイ (P.46)

音声を遅らせて出力します。

● リバーブ (P.46)

音声に残響を加えます。

2. 画面にタッチして、エフェクトの設定をする。



※ パラメーターの詳細については、「2：AUDIO」(P.99) をご覧ください。

3. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

エフェクト・プリセットを使う

VR-6HD には、特定の環境に合わせて調節されたエフェクトが用意されています。これを「エフェクト・プリセット」と呼びます。

エフェクト・プリセットは、4 種類のエフェクト（ハイパス・フィルター、コンプレッサー、イコライザー、ノイズ・ゲート）を組み合わせで作られています。

エフェクト・プリセットを選ぶだけで、目的に応じたエフェクトを簡単に適用することができます。

メモ

- プリセットを微調節したいときは、チャンネルのセットアップ画面でハイパス・フィルター、コンプレッサー、イコライザー、ノイズ・ゲートの設定を変更します。
- エフェクト・プリセットは、上書きできません。変更したプリセットの設定は、シーン・メモリーに保存してください（P.65）。
- エフェクト・プリセットを読み込むと、各エフェクトの設定は、プリセットの初期設定（工場出荷時の設定）に戻ります。

1. チャンネルのセットアップ画面で＜EFFECT PRESET＞にタッチする。



2. [VALUE] つまみでエフェクト・プリセットを選び、[VALUE] つまみを押す。

設定値	説明
DEFAULT	ライン入力向け（初期値の設定）
MEETING	会議向け
INTERVIEW	インタビュー向け
AMBIENT MIC	環境音の集音向け
WINDY FIELD	風が強いエリアでの環境音の集音向け

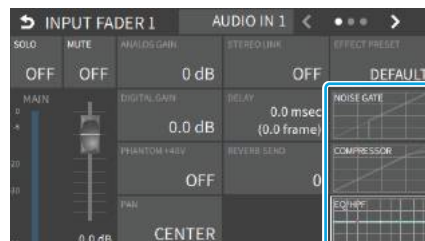
確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

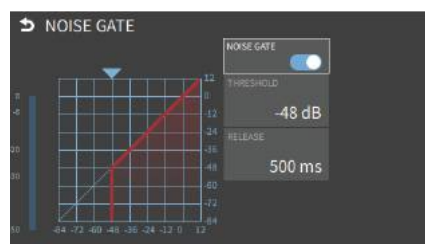
3. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。 エフェクト・プリセットが読み込まれます。

4. 必要に応じて各エフェクトの設定をする。

画面内のグラフィック部分をタッチすると、そのエフェクトの設定が拡大表示されます。画面内のグラフのポイントを直接ドラッグしてエディットすることもできます。



● ノイズ・ゲート



● コンプレッサー



● イコライザー、ハイパス・フィルター



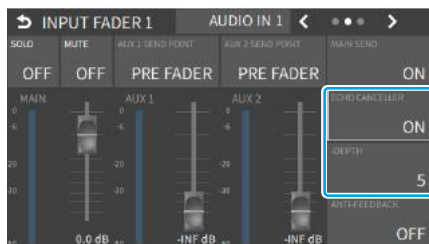
※ パラメーターの詳細については、「2：AUDIO」（P.99）をご覧ください。

Web 会議システムのエコーを除去する (エコー・キャンセラー)

Web 会議システムのスピーカーとマイクを利用した通話では、スピーカーから聞こえる相手の声をマイクが拾ってしまうことで、再び相手の声が送り返されて、エコーが発生します。

エコー・キャンセラーを使うと、VR-6HD に接続したマイクが拾った音声からエコー成分を除去して、自分の声だけを相手に送ることができます。

※ AUDIO IN 1、2 からの入力音声にのみ対応しています。



パラメーター	説明
ECHO CANCELLER	エコー・キャンセラーをオン/オフします。
DEPTH	エコー・キャンセラーの効き具合 (1 ~ 10) を調節します。最もエコーが軽減される値に設定します

メモ

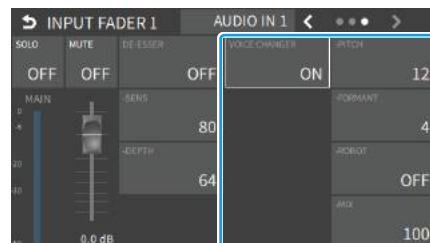
- エコー・キャンセラーは、約 20m² の部屋に対応しています。
- 自分の声が回り込んで聞こえてくるときは、相手側でエコー・キャンセラーの設定をしてもらう必要があります。
- エコー・キャンセラーは、USB IN からの音声を基準にして動作します。

声のキャラクターを変える (ボイス・チェンジャー)

マイクから入力される声の高さや声質を変えます。

「女性から男性の声」や「男性から女性の声」、「ロボット声」などに交換することができます。

※ AUDIO IN 1、2 からの入力音声にのみ対応しています。



パラメーター	説明
VOICE CHANGER	ボイス・チェンジャーをオン/オフします。
PITCH	声の高さ (ピッチ) を半音単位で調節します。「0」が元の声の高さです。
FORMANT	声の性質 (フォルマント) を調節します。- (マイナス) にするほど男性的な声質に、+ (プラス) にするほど女性的な声質に変化します。「0」が元の声です。
ROBOT	「ON」にすると、声の高さを一定にして、無機質なロボットのような声にします。
MIX	普通の声 (0) とエフェクトをかけた声 (100) のバランスを調節します。

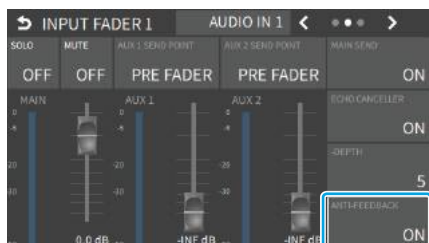
メモ

AUDIO EFFECT ボタンに機能を割り当てて、ボイス・チェンジャーのオン/オフを切り替えることができます (P.84)。

ハウリングを軽減する (アンチ・フィードバック)

マイクをスピーカーに近づけたときなどに生じるハウリングを軽減します。

※ AUDIO IN 1、2 からの入力音声にのみ対応しています。



パラメーター	説明
ANTI-FEEDBACK	アンチ・フィードバックをオン/オフします。

映像と音声のズレを補正する (ディレイ)

映像と音声にズレが発生したときに、入力音声を遅らせることで、映像と音声の出力タイミングを調節します。

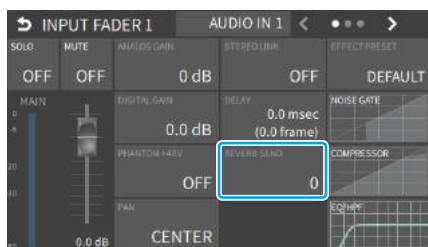


パラメーター	説明
DELAY	音声の遅延時間を調節します。

リバーブをかける

音声に残響を加えます。

リバーブへの送り量の調節



パラメーター	説明
REVERB SEND	リバーブへの音声の送り量を調節します。

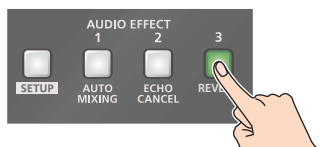
リバーブからの戻り量の調節

※ リバーブからの戻り量はオーディオ・アウトプットのセットアップ画面で調節します。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO] → [OUTPUT] → [MAIN BUS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

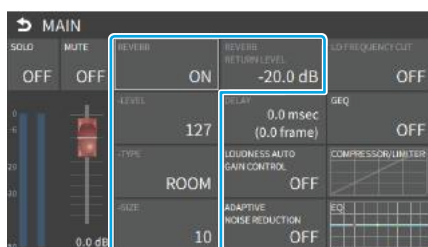
セットアップ画面が表示されます。

2. AUDIO EFFECT [REVERB] ボタンを押して点灯させる。



リバーブがオンになります。

3. 画面にタッチして、設定をする。



パラメーター	説明
LEVEL	リバーブからの音声の戻り量（リターン・レベル）を設定します。全体にかかるリバーブの深さを調節します。
TYPE	リバーブ・タイプを選びます。 ROOM： 部屋の自然な残響が得られます。 HALL： コンサート・ホールなどで演奏しているような響きが得られます。
SIZE	空間の広さを設定します。数値が大きくなるほど、残響時間が長くなります。
REVERB RETURN LEVEL	リバーブの戻り量を調節します。

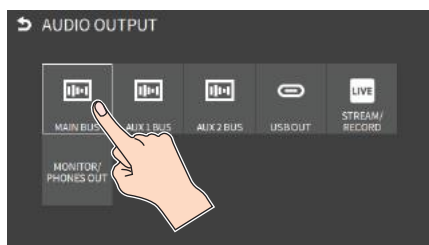
4. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

出力音声にエフェクトをかける

出力音声にエフェクトをかけて、音質を調節します。
使えるエフェクトは下表のとおりです。

音声バス	リバーブ	イコライザー	ディレイ	コンプレッサー／リミッター	グラフィック・イコライザー	アダプティブ NR	ラウドネス AGC
MAIN BUS	○	○	○	○	○	○	○
AUX BUS 1 AUX BUS 2	○	○	○	○	○	—	—
USB OUT	—	○	○	—	—	—	—
STREAM/ RECORD	—	○	○	—	—	—	—

1. MAIN [SETUP] ボタンを押す。
AUDIO OUTPUT 画面が表示されます。
2. 調整したいバスの<SETUP>アイコンにタッチする。



選んだバスのセットアップ画面が表示されます。

3. 画面にタッチして、設定をする。
※ パラメーターの詳細については、「2：AUDIO」(P.99) をご覧ください。
4. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

● イコライザー

4 バンド・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。

● ディレイ

音声を遅らせて出力します。出力を遅らせることで、出力先機器に入力される音声のタイミングのズレを補正します。

● コンプレッサー／リミッター

設定した基準レベルを超える音声を圧縮したり、設定した基準レベルを超えないように出力音量を制限したりします。

● グラフィック・イコライザー

15 の帯域に分割された周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。

● アダプティブ・ノイズ・リダクション (P.49)

入力音声を継続的にモニタリングしながら無音時のノイズを特定し、ノイズ成分のみを取り除きます。

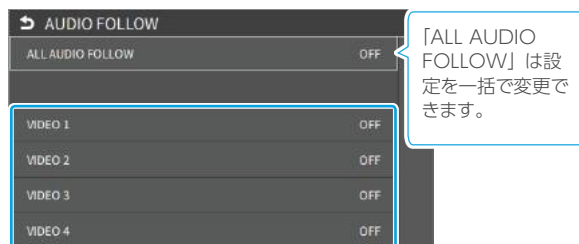
● ラウドネス・オート・ゲイン・コントロール (P.50)

長期間の平均的なラウドネスを計測して、全体として適切な音量となるように調節します。

映像の切り替えに音声の出力を連動させる (オーディオ・フォロー)

映像の切り替えに連動させて、音声の出力を自動的に切り替えます (オーディオ・フォロー機能)。

1. [MENU] ボタン → 「AUDIO」 → 「AUDIO FOLLOW」を選び、[VALUE] つまみを押す。
2. [VALUE] つまみで、オーディオ・フォローを使いたい入力映像を選ぶ。



3. [VALUE] つまみを押して、「ON」にする。

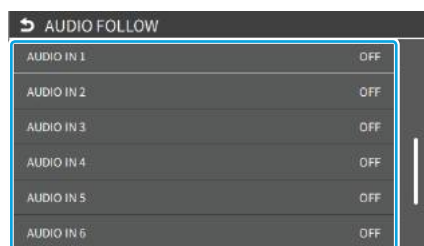
設定値	説明
ON	映像が選ばれたときのみ、音声を出します。他の映像が選ばれたときは、自動的に消音します。
OFF	映像の選択に関係なく、常に音声を出します。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

オーディオ・フォローの対象を追加する

AUDIO IN や USB IN、Bluetooth IN の音声をオーディオ・フォローの対象にすることができます。

1. [MENU] ボタン → 「AUDIO」 → 「AUDIO FOLLOW」を選び、オーディオ・フォローの対象とする入力音声を選ぶ。



2. [VALUE] つまみで、「INPUT 1」～「INPUT 6」のいずれかを選ぶ。

設定値	説明
VIDEO 1 ～ 6 STILL 1 ～ 16 V.PLAYER INPUT 1 ～ 6	各音声に対して、オーディオ・フォロー機能を使う入力映像を指定します。指定した入力映像が選ばれたときのみ、音声を出します。
OFF	映像の選択に関係なく、常に音声を出します。

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

PinP & KEY や DSK のオン／オフ時に音声を連動させることができます。(P.138)

音声からノイズを除去する (アダプティブ・ノイズ・リダクション／ロー・フリケンシー・カット)

入力音声からノイズを取り除きます。「アダプティブ・ノイズ・リダクション」と「ロー・フリケンシー・カット」の2つのエフェクトが用意されています。

● アダプティブ・ノイズ・リダクション

入力音声を継続的にモニタリングしながら無音時のノイズを特定し、ノイズ成分のみを取り除きます。決まった周波数の音を取り除く従来のノイズ・リダクションと異なり、環境に応じてノイズの周波数を解析して除去するため、自然な音が得られます。

※ 「トーキング・ディテクター」の設定により、入力信号中の音声の有無を検出します。

● ロー・フリケンシー・カット

200Hz以下の帯域を4つに分割し、各帯域を継続的に解析しながら不要な低域をカットします。従来のロー・カットと異なり、低音域の音痩せが発生しません。

アダプティブ・ノイズ・リダクション

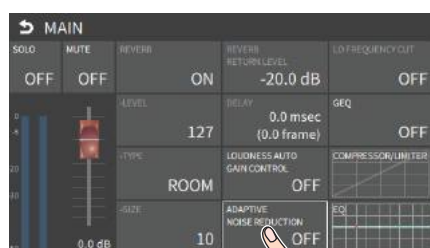
1. MAIN [SETUP] ボタンを押す。

AUDIO OUTPUT 画面が表示されます。

2. < MAIN BUS > にタッチする。

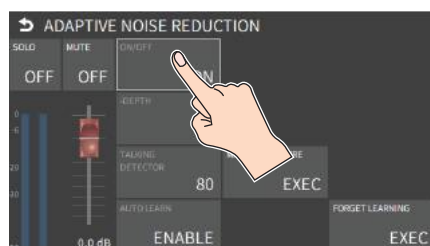
MAIN バスのセットアップ画面が表示されます。

3. < ADAPTIVE NOISE REDUCTION > にタッチする。



アダプティブ・ノイズ・リダクションのセットアップ画面が表示されます。

4. < ON/OFF > にタッチして「ON」にする。



アダプティブ・ノイズ・リダクション機能がオンになります。

5. < AUTO LEARN > にタッチして「ENABLE」にする。

自動的にノイズ成分を検出し、ノイズを除去します。

※ 手でノイズを検出したい場合は、< MANUAL MEASURE > をタッチします。

< MANUAL MEASURE > をタッチすると自動で測定が始まります。測定が完了すると「COMPLETED」と表示されます。

6. < DEPTH > にタッチして、デプス（ノイズ除去のかかりの強さ）を設定する。

7. 周囲の環境のノイズ・レベルが高い場合は、< TALKING DETECTOR > にタッチして感度を調節する。

※ 値を大きくするとトーキング・ディテクターの感度が上がり、ノイズの大きな環境でも検出しやすくなります。

8. ノイズ除去された結果をリセットして元に戻したい場合は、< FORGET LEARNING > にタッチする。

※ メニュー項目の詳細については、「2: AUDIO」(P.99)をご覧ください。

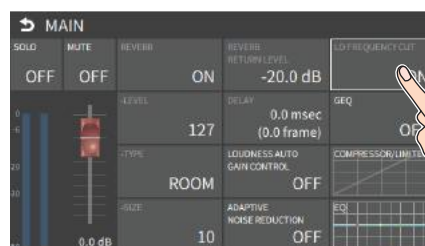
9. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

ロー・フリケンシー・カット

ロー・フリケンシー・カットも、MAIN バスのセットアップ画面で設定します。

1. < LO FREQUENCY CUT > にタッチして「ON」にする。

ロー・フリケンシー・カット機能がオンになります。



自動で聞き取りやすい音量に調節する（オート・マスタリング・エフェクト）

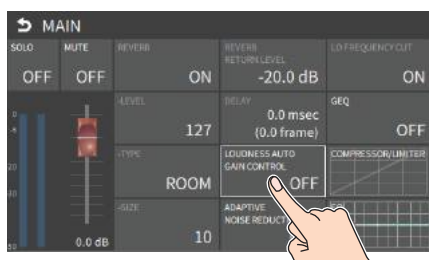
音の大きさを示す指標「ラウドネス」を元に、ブロードキャストなどに最適な音量を、自動的に調節します。ラウドネスの計測には、長期間と短期間があり、音量調節の対象となる期間が異なります。

● ラウドネス・オート・ゲイン・コントロール（LOUDNESS AGC）

長期間の平均的なラウドネスを計測して、全体として適切な音量となるように調節します。楽曲などのように、強弱を活かしたい音声に使用します。

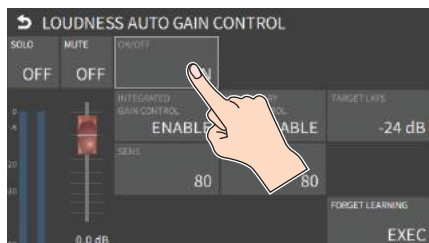
ラウドネス・オート・ゲイン・コントロール（LOUDNESS AGC）

1. MAIN [SETUP] ボタンを押す。
AUDIO OUTPUT 画面が表示されます。
2. < MAIN BUS >にタッチする。
MAIN バスのセットアップ画面が表示されます。
3. < LOUDNESS AUTO GAIN CONTROL >にタッチする。



ラウドネス・オート・ゲイン・コントロールのセットアップ画面が表示されます。

4. < TARGET LKFS >にタッチして、出力音声の目標レベルを設定する。
5. < ON/OFF >にタッチして「ON」にする。



ラウドネス・オート・ゲイン・コントロール機能がオンになります。

6. < SENS >にタッチしたあと、[VALUE] つまみで目標レベル（TARGET LKFS）に近づく速さを調節します。

※ 大きくすると素早く、小さくすると少しずつ目標レベルに近づきます。

7. 調節された値をリセットして元に戻したいときは < FORGET LEARNING >にタッチする。

※ メニュー項目の詳細については、「2：AUDIO」（P.99）をご覧ください。

8. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

音量を自動的に制御する（オート・ミキシング）

通常はオペレーターが操作する音量調節を、自動的に制御します（オート・ミキシング機能）。

音量調節の操作を VR-6HD に任せることができるため、専任のオペレーターがいない場面などで活用できます。特に会議やディスカッション、討論会など、複数のマイクが使われる場合に有効です。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO] → [AUTO MIXING] を選び、[VALUE] つまみを押す。

セットアップ画面が表示されます。

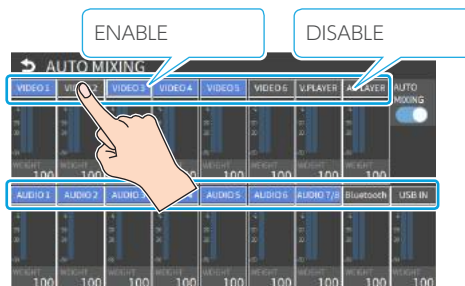


2. AUDIO EFFECT [AUTO MIXING] ボタンを押して、オン（点灯）にする。



オート・ミキシング機能がオンになります。

3. 画面にタッチして、オート・ミキシングの対象／非対象を設定する。



「ENABLE」（青色）になっている音声が入力音がオート・ミキシングの対象です。BGM などオート・ミキシングが不要な音声では、「DISABLE」（黒色）にします。

4. 画面にタッチして、音量配分の優先度（WEIGHT）を設定する。



司会者用のマイクだけ音量を大きくしたいなど、強調したい音声がある場合は、強調したい音声のウェイト・レベルは上げて、他の音声のウェイト・レベルは下げます。

エアコンなどのノイズが気になる場合は、ウェイト・レベルを低めに設定します。

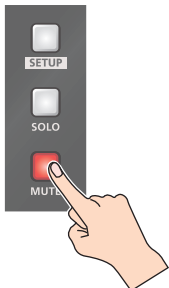
5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。
6. オート・ミキシング機能をオフにするときは、もう一度 AUDIO EFFECT [AUTO MIXING] ボタンを押す。

特定の音声だけ消音する（ミュート）

一時的に特定の音声を消音します（ミュート機能）。

入力音声をミュートする

1. ミュートしたいチャンネルの【MUTE】ボタンを押す。



ボタンが点灯し、ミュート機能がオンになります。

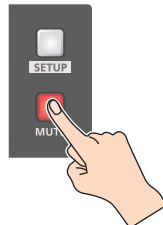
メモ

各チャンネルのセットアップ画面でも、< MUTE >にタッチしてミュートすることができます。

出力音声をミュートする

MAIN バスや USB OUT、AUX 1 / 2 バスの音声をミュートします。

1. MAIN 【MUTE】ボタンを押す。



ボタンが点灯し、ミュート機能がオンになります。

メモ

各バスのセットアップ画面でも、< MUTE >にタッチしてミュートすることができます。

特定の音声を確認する（ソロ）

一時的に特定の入力音声だけをヘッドホンでモニターします（ソロ機能）。

※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。

入力音声をソロにする

1. ソロにしたいチャンネルの【SOLO】ボタンを押す。



ボタンが点灯し、ソロ機能がオンになります。

オンにした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。

メモ

各チャンネルのセットアップ画面でも、< SOLO >にタッチしてソロにすることができます。

出力音声をソロにする

MAIN バスや AUX 1 / 2 バスの音声をソロにします。

1. 各バスのセットアップ画面で、< SOLO >にタッチする。



ソロ機能がオンになります。

音楽ファイルを再生する（オーディオ・プレーヤー）

パソコンで作成したオーディオ・ファイルを素材として本体に読み込み、パッド操作で再生することができます。
オーディオ・ファイルは、12 個まで本体に保存することができます。

オーディオ・ファイルを読み込む

あらかじめパソコンで作成したオーディオ・ファイルを、SD カードや USB メモリーのルート・ディレクトリーに保存しておきます。
ここでは、パッド [1] にオーディオ・ファイルを読み込む手順を例にして説明します。

1. SDXC カード・スロットに、素材ファイルの入った SD カードを差し込む。

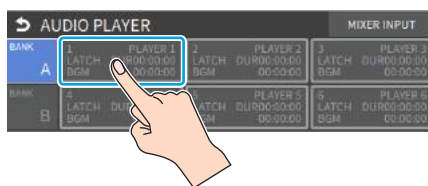
※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. AUDIO PLAYER [SETUP] ボタンを押す。



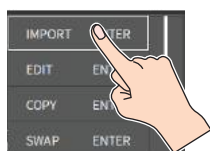
オーディオ・プレーヤーのセットアップ画面が表示されます。

3. オーディオ・クリップ・エリア<1>にタッチする。



メニュー画面が表示されます。

4. <IMPORT> にタッチする。



ストレージ内のオーディオ・ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「SD CARD」「USB MEMORY」を選ぶことで、読み込み元のストレージを切り替えることができます。



5. 読み込みたいオーディオ・ファイル名にタッチする。

6. ダイアログが表示されたら、「OK」を選び [VALUE] つまみを押す。

インポートが実行され、パッド [1] (PLAYER 1) にオーディオ・クリップとして配置されます。

※ 「PREVIEW」を選ぶと、ヘッドホンでファイルの試聴ができます。

7. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

対応ファイル

フォーマット	WAV (リニア PCM、48kHz、16 ビット、ステレオ / 44.1kHz、16 ビット、ステレオ)
ファイル名	半角英数字、拡張子込み 64 文字以内。 ※ 拡張子 (.wav) は必ず付けてください。

オーディオ・クリップを再生する

1. AUDIO PLAYER [LEVEL] つまみを 0dB の位置に合わせる。



注意

AUDIO FADER/KNOB MODE が「CATCH」になっているときは、つまみの位置とレベルの値が一致していない場合は、レベルの値と一致するまで操作が無視されます。(P.138)

2. 再生したいオーディオ・クリップが配置されたパッド [1] ～ [6] を押す。



対応したオーディオ・クリップが再生されます。

3. オーディオ・クリップの音を出しながら AUDIO PLAYER [LEVEL] つまみで、オーディオ・クリップ全体の音量を調節する。

最も大きな声量のときに、AUDIO PLAYER の SIG/PEAK インジケーターが赤点灯しない範囲で調節します。

メモ

オーディオ・プレーヤーのセットアップ画面を表示させておけば、オーディオ・クリップの情報（クリップ名、再生時間、ループなど）を確認しながら再生することができます。

オーディオ・クリップの設定をする

1. AUDIO PLAYER [SETUP] ボタンを押す。

オーディオ・プレーヤーのセットアップ画面が表示されます。

2. 設定したい番号のオーディオ・クリップ・エリアにタッチする。



メニュー画面が表示されます。

3. < EDIT >にタッチする。



設定画面が表示されます。

4. 画面にタッチして、設定する。

パラメーター	説明
NAME	オーディオ・クリップに名前を付けます。 タッチすると入力用のソフトウェア・キーボードが表示されるので、クリップ名を入力します。
DURATION	オーディオ・クリップの長さを表示します。
OFFSET TIME	オーディオ・クリップの再生開始位置を設定します。
LEVEL	オーディオ・クリップの音量を設定します。
FADE IN TIME	フェード・イン時間を設定します。
FADE OUT TIME	フェード・アウト時間を設定します。
PAD MODE	オーディオ・クリップを再生するときの動作を設定します。
PAD COLOR	対応するパッドの、点灯色を設定します。
PLAYING MODE	オーディオ・クリップの再生方法を設定します。

※ パラメーターの詳細については、「7：AUDIO PLAYER」(P.126)をご覧ください。

5. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

クリップを入れ替える／コピーする／削除する

オーディオ・クリップをコピー／入れ替えをしたり、不要なオーディオ・クリップを初期化して削除したりすることができます。

1. AUDIO PLAYER [SETUP] ボタンを押す。

オーディオ・プレーヤーのセットアップ画面が表示されます。

2. 設定したい番号のオーディオ・クリップ・エリアにタッチする。

メニュー画面が表示されます。

3. < COPY >、< SWAP >または< INITIALIZE >にタッチして、設定をする。

機能	操作
COPY	コピー先のオーディオ・クリップのエリアをタッチします。
SWAP	入れ替える先のオーディオ・クリップのエリアをタッチします。
INITIALIZE	—

確認メッセージが表示されます。

4. [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。

5. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

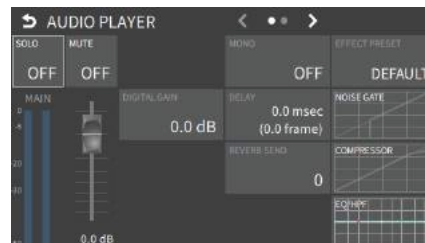
オーディオ・プレーヤーのミキサー設定

1. AUDIO PLAYER [SETUP] ボタンを押す。

オーディオ・プレーヤーのセットアップ画面が表示されます。

2. < MIXER INPUT >にタッチする。

オーディオ・プレーヤーのミキサー画面が表示されます。



3. 画面にタッチして、各バスへの送り量を設定する。

4. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

AUX バスの音声を出力する

VR-6HD には、「MAIN バス」と「AUX 1 バス」「AUX 2 バス」「MONITOR バス」の 4 種類の音声バスがあります。出力端子ごとに任意のバスを割り当てることができます。

音声バス	説明
MAIN バス	すべての入力音声をミックスして出力します（メイン出力）。
AUX 1 バス AUX 2 バス	AUX バスに送られた入力音声だけをミックスして出力します。メイン出力とは異なる音声を出力することができます。たとえば、ライブ会場では、すべての入力音声をミックスした音声を出力し、録音やストリーミング配信には、ある特定の入力音声だけ（AUX バス）を出力するといった使いかたができます。
MONITOR バス	ヘッドホンと同じ音声を出力します。音量は「MONITOR LEVEL」で調節します。

AUX バスを割り当てる

1. [MENU] ボタン → [AUDIO] → [OUTPUT ASSIGN] を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUDIO OUTPUT ASSIGN 画面が表示されます。

AUDIO OUTPUT ASSIGN	
AUDIO OUT 1 (XLR)	MAIN BUS
AUDIO OUT 2 (RCA)	MAIN BUS
PHONES OUT/MONITOR	MAIN BUS
USB OUT	MAIN BUS
STREAM/RECORD	MAIN BUS
AUDIO RECORD	MAIN BUS

2. 画面にタッチして、各端子に割り当てるバスを設定する。

端子	選択できるバス
AUDIO OUT 1(XLR) AUDIO OUT 2(RCA) VIDEO OUT 1～3	MAIN BUS、AUX 1 BUS、 AUX 2 BUS、MONITOR BUS
PHONES OUT/MONITOR USB OUT STREAM/RECORD AUDIO RECORD	MAIN BUS、AUX 1 BUS、 AUX 2 BUS、

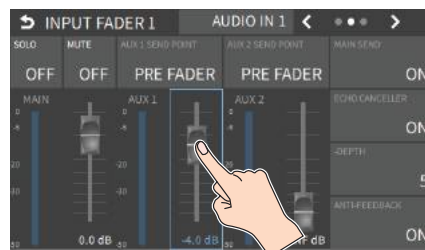
AUX バスへ音声を送る

※ AUX バス出力の音量は、[AUX 1] つまみ、[AUX 2] つまみで調節します。

注意

AUDIO FADER/KNOB MODE が「CATCH」になっているときは、つまみの位置とレベルの値が一致していない場合は、レベルの値と一致するまで操作が無視されます。（P.138）

1. AUX バスに音声を送りたいチャンネルの、[SETUP] ボタンを押す。
押したチャンネルのセットアップ画面が表示されます。
2. ページ 2 の < AUX 1 SEND POINT > にタッチして、送り量を設定する。



※ AUX 2 バスの場合は、< AUX 2 SEND POINT > にタッチします。

3. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

音質を設定する

AUX バスに「元の音声」または「エフェクトがかかった音声」のどちらを送るかを選ぶことができます。

1. AUX バスに音声を送りたいチャンネルの、[SETUP] ボタンを押す。

押したチャンネルのセットアップ画面が表示されます。

2. < AUX 1 SEND POINT > にタッチして、設定する。



設定値	説明
DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量（INPUT LEVEL）に関係なく、送り量は一定です。
POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量（INPUT LEVEL）を調節することで、送り量を変更することができます。

3. 点灯している [SETUP] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

メモ

[MENU] ボタン → [AUDIO] → SEND SETTINGS 画面では、各チャンネルの状態を確認しながら、まとめて送り量を調節できます。



入力音声を HDMI 映像に乘せて出力する

VIDEO OUT 端子は、6 チャンネルのエンベデッド・オーディオに対応しています。入力音声を HDMI 映像に乘せて、出力することができます。

HDMI エンベデッド・オーディオと音声の割り当て

HDMI のエンベデッド・オーディオのチャンネル 3 ～ 8 に、任意の入力音声を割り当てることができます。

エンベデッド・オーディオ	音声
CH 1	OUTPUT ASSIGN で割り当てたパス (L) (P.55)
CH 2	OUTPUT ASSIGN で割り当てたパス (R) (P.55)
CH 3/4	AUDIO IN 1/2、AUDIO IN 3/4
CH 5/6	AUDIO IN 5/6、AUDIO IN 7/8
CH 7/8	USB IN、Bluetooth IN、AUDIO PLAYER VIDEO IN 1 ～ 6、VIDEO PLAYER

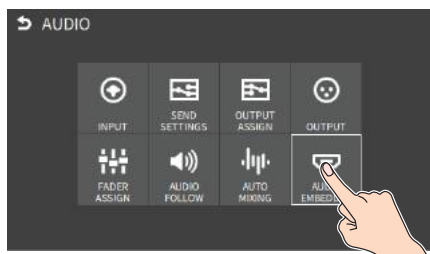
録画／録音時のバックアップとして ...

HDMI のエンベデッド・オーディオからは、デジタル音声を 1 チャンネルずつ取り出せるので、録画／録音後にチャンネル単位で音声を編集することができます。

多言語対応として ...

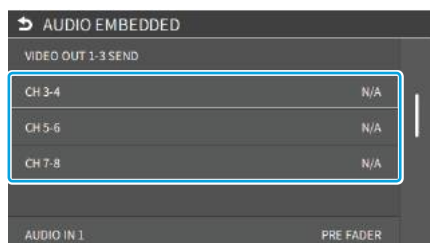
多言語のナレーションなどをエンベデッド・オーディオにして、HDMI 映像に乘せておくと、あとから必要な言語のデジタル音声を取り出して使うことができます。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO] → [AUDIO EMBEDDED] を選び、[VALUE] つまみを押す。



音声を割り当てる

2. [VALUE] つまみで VIDEO OUT 1 ～ 3 SEND のエンベデッド・オーディオ・チャンネルを選び、[VALUE] つまみを押す。

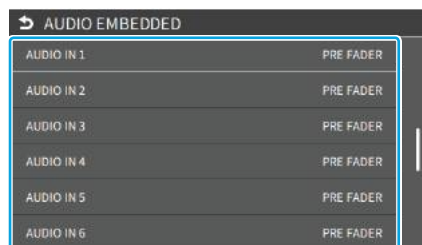


3. [VALUE] つまみでチャンネルに割り当てる入力音声を選び、[VALUE] つまみを押す。

入力音声	説明
AUDIO IN 1 ～ 7/8	AUDIO IN 1 ～ 7/8 端子からの音声
USB IN	USB STREAM 端子からの音声
Bluetooth IN	Bluetooth IN の音声
AUDIO PLAYER	オーディオ・プレーヤーからの音声
VIDEO IN 1 ～ 6	VIDEO IN 1 ～ 6 端子からの音声
VIDEO PLAYER	ビデオ・プレーヤーからの音声

音質を設定する

4. [VALUE] つまみで入力音声を選び、[VALUE] つまみを押す。



5. [VALUE] つまみで [DRY] [PRE FADER] または [POST FADER] を選び、[VALUE] つまみを押す。

設定値	説明
OFF	音声を送りません。
DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。

6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

VIDEO OUT 1 ～ 3 端子からは、エンベデッド・オーディオのチャンネル 3 ～ 6 を含む音声出力されます。

ストリーミング用の映像／音声をパソコンに出力する

パソコンと接続して、VR-6HD でミックスした映像／音声を出力します。また、パソコンで再生した音声を入力することもできます。インターネットに接続されたパソコンと配信用アプリをお使いいただくことで、インターネット・ライブ配信が可能になります。

VR-6HD からの映像／音声をパソコンで正しく視聴するには、USB ビデオ・クラスと USB オーディオ・クラスに対応したアプリをパソコンにインストールする必要があります。

※ 最新の動作条件については、ローランド・ホームページ (<https://proav.roland.com/jp/>) をご覧ください。

パソコンに映像／音声を出力する

1. VR-6HD の USB STREAM 端子とパソコンの USB 3.0 端子を USB 3.0 ケーブルで接続する。

2. VR-6HD の電源を入れる。

3. パソコンを起動する。

パソコンとの通信が確立すると、VR-6HD は、パソコンから USB ビデオ・デバイス／USB オーディオ・デバイスとして認識されます。VR-6HD を初めてパソコンに接続したとき、自動的に OS 標準のドライバがインストールされます。

4. VR-6HD を操作し、パソコンに出力する映像／音声を準備する。

5. パソコンで VR-6HD からの入力を確認する。

USB ビデオ・クラス／オーディオ・クラスに対応したアプリを起動し、VR-6HD からの映像／音声入力を確認します。

メモ

映像が乱れるなど動作が安定しないときは

[MENU] ボタン → [VIDEO] → [OUTPUT] → [USB OUT] → [CONNECTION RESET] を実行して、パソコンと VR-6HD を再接続してみてください。

映像フォーマットについて

USB 出力の映像フォーマットや圧縮方式は、出力先のライブ配信用アプリなどで変更することができます。

以下の映像フォーマットに対応しています。

USB OUT の フレーム・レート	映像フォーマット		
59.94Hz	1080/59.94p	720/59.94p	640 × 480/59.94p
60Hz	1080/60p	720/60p	640 × 480/60p
29.97Hz	1080/29.97p	720/29.97p	640 × 480/29.97p
30Hz	1080/30p	720/30p	640 × 480/30p
50Hz	1080/50p	720/50p	640 × 480/50p
25Hz	1080/25p	720/25p	640 × 480/25p

※ 非圧縮 (YUY2) と圧縮 (Motion JPEG) に対応しています。

ループバック機能を使う

パソコンからの音声を USB 経由で VR-6HD に入力し、他の音声とミックスして、再びパソコンに戻すことができます (ループバック機能)。パソコンで再生した音楽にナレーションを付けてライブ配信したり、パソコンのアプリで録音したりすることができます。

パソコンで配信する

アプリ「Roland Live Streamer」を使って、VR-6HD から USB 出力された映像／音声をパソコンで配信することができます。

詳しい操作方法については、「Roland Live Streamer」の取扱説明書をご覧ください。



「Roland Live Streamer」は、ローランド・ホームページからダウンロードすることができます。

<https://proav.roland.com/jp/>

※ 圧縮 (Motion JPEG) には対応していません。

パソコンで録画する

アプリ「Roland Live Recorder」を使って、VR-6HD から USB 出力された映像／音声をパソコンで録画することができます。

詳しい操作方法については、「Roland Live Recorder」の取扱説明書をご覧ください。



「Roland Live Recorder」は、ローランド・ホームページからダウンロードすることができます。

<https://proav.roland.com/jp/>

※ 圧縮 (Motion JPEG) には対応していません。

HD 映像 (1920 × 1080) が SD 映像 (640 × 480) で USB 出力されてしまうときは

USB 3.0 (または 3.0 以降) に対応していない USB ケーブルを使用すると、SD 映像 (640 × 480) で出力されます。ストリーミング用の映像をパソコンに HD 映像 (1920 × 1080) で出力するときは、必ず USB 3.0 (または 3.0 以降) に対応した USB ケーブルをお使いください。

※ 延長ケーブルや USB ハブを使って接続すると、パソコンが本機を認識しない場合があります。

接続されている USB ケーブルの状態は、次の手順で確認します。

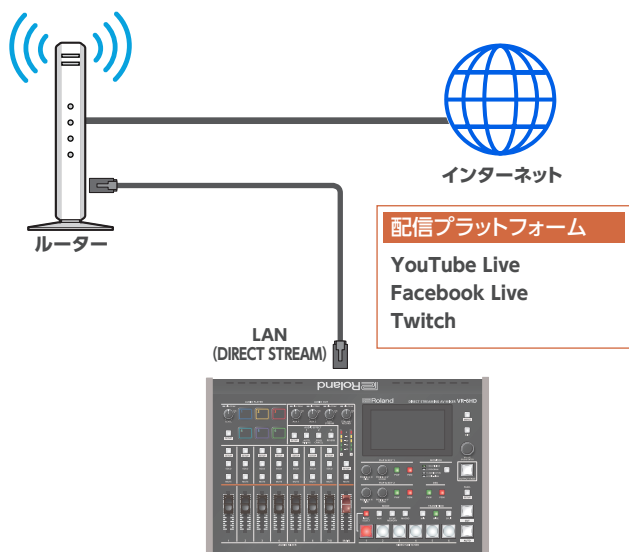
1. [MENU] ボタン → [VIDEO] → [OUTPUT] → [USB OUT] を選び、[VALUE] つまみを押す。

USB の接続状態が表示されます。

USB OUT	
OUTPUT STATUS	NOT CONNECTED
OUTPUT FORMAT	YUY2 & MJPEG
OUTPUT STATUS	状態
CONNECTED (3.0)	USB3.0 で接続されています。
CONNECTED (2.0)	USB2.0 で接続されています。
NOT CONNECTED	接続がありません。

直接配信／録画をする

必要なネットワーク環境



DNS サーバーの設定を含むインターネット接続

- インターネットにアクセスするための、IP アドレス／サブネット・マスク／デフォルト・ゲートウェイの設定が必要です。
- 配信サービスのサーバーにアクセスするために、サーバーのドメイン名と IP アドレスを変換する DNS サーバー（Domain Name System Server）への接続が必要です。

※ 上記設定は、通常 DHCP サーバーから取得され、割り当てられます。

継続的な TCP 通信

ライブ配信は、TCP を利用して RTMP または RTMPS プロトコルで送信されるため、遮断と制限のない、継続的な端末間通信が必要になります。

インターネット上のサーバーへ HTTPS 接続

Web アプリで配信の設定をするときは、インターネット上のサーバーへ HTTPS 接続する必要があります。

ライブ配信時の注意

インターネット回線の速度に応じた V.BITRATE（P.125）を設定してください。

[MENU] ボタン → [STREAM/RECORD] → [V.BITRATE]

V.BITRATE は、映像を圧縮（エンコード）するときのターゲット・ビットレートです。

複雑な映像などの場合は、設定値より 1.5 倍程度まで高いビットレートで配信されることがあります。

配信をスタートする前に、インターネット回線の上り方向のスピードを計測して、V.BITRATE の値の倍程度の帯域が確保できているかを確認しておくことをおすすめします。

配信・録音・録画のスタート／ストップ

VR-6HD では、「配信」「録音」「録画」を同時にスタート／ストップします。個別にスタート／ストップさせることはできません。

※ 「配信」「録音」「録画」をするかどうかは、個別に設定することができます。

配信・録音・録画のオン／オフ

配信のオン／オフ

1. [MENU] ボタン → [STREAM/RECORD] を選び、[VALUE] つまみを押す。

配信／録画画面が表示されます。

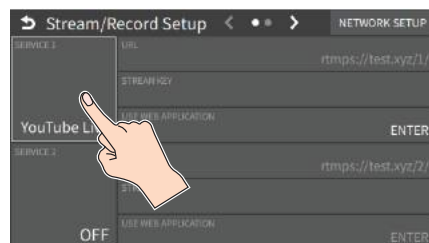


2. 画面右上の＜SETUP＞にタッチする。



配信／録画のセットアップ画面が表示されます。

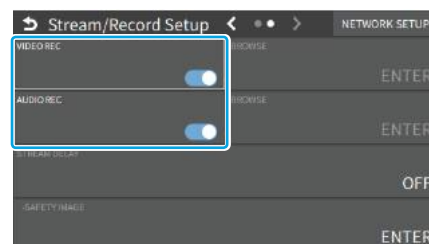
3. SERVICE 1 または SERVICE 2 にタッチして、配信するプラットフォームを選ぶ。



配信しないときは、「OFF」を選びます。

録画／録音のオン／オフ

4. 画面上のページ・タブにタッチして、ページ 2 を選ぶ。
5. [VIDEO REC] [AUDIO REC] にタッチして、オン／オフを選ぶ。



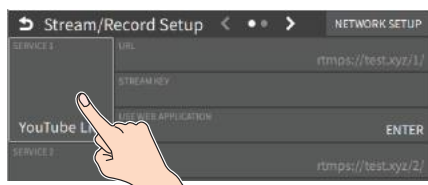
YouTube Live で配信する

準備

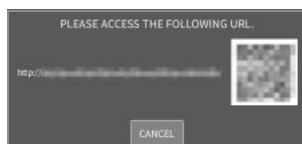
- 事前に Google アカウントを作成しておいてください。
- VR-6HD をネットワーク機器に接続して、インターネットに接続できる状態にしてください。
- 録音／録画をするときは、「AUDIO REC」と「VIDEO REC」をそれぞれ「ON」に設定してください (P.58)。

本体の操作

1. 配信／録画のセットアップ画面で、＜SERVICE 1＞または＜SERVICE 2＞にタッチして「YouTube Live」を選ぶ。



2. ＜USE WEB APPLICATION＞にタッチする。
Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。



パソコン／スマートフォンの操作

3. パソコンやスマートフォンのウェブ・ブラウザーで、表示された URL のページを開く。
4. Google アカウントを選ぶ。
5. 以下の項目を設定する。

項目	説明
Title	配信タイトルを入力します。
Description	YouTube Live に表示する説明文を入力します。
Select privacy scope	配信を公開する範囲を選びます。
	Public 誰でも検索と視聴が可能
	Unlisted リンクを知っている人が視聴可能
Select latency Preference	レイテンシー設定を選びます。
	Normal 通常の遅延
	Low 低遅延
	UltraLow 超低遅延

6. [CREATE BROADCAST AND GET STREAM KEY] をクリックする。
7. [SEND TO DEVICE] をクリックする。

送信が完了すると、「Success」とメッセージが表示されます。
VR-6HD に「URL」と「STREAM KEY」が反映されます。

注意

「URL」と「STREAM KEY」が反映されるまでは、QR コードの画面を閉じないでください。

8. [OK] をクリックする。

9. ページを閉じる。

本体の操作

10. 配信／録画面面を選ぶ。

ステータス・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート／ストップに関連するパラメーターが表示されます。



11. ＜ON AIR＞にタッチする。

「ARE YOU SURE YOU WANT TO START STREAMING?」と、メッセージが表示されます。

12. ＜OK＞にタッチする。

配信がスタートします。

録音／録画をオンにしているときは、配信のスタートと同時に録音／録画もスタートします。

13. 配信を終了するときは、もう一度＜ON AIR＞にタッチする。

「ARE YOU SURE YOU WANT TO STOP STREAMING?」と、メッセージが表示されます。

14. ＜OK＞にタッチする。

配信が終了します。

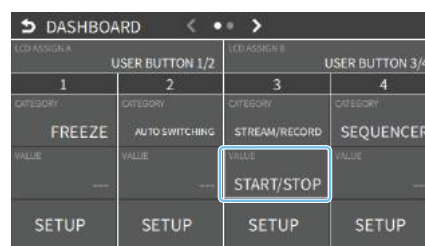
注意

- 取得したストリーム・キーには有効期限があるため、配信する前にストリーム・キーの取得が必要になります。
- ストリーム・キー取得時には「SELECT YOUR BROADCAST」で、スケジュール設定済みのライブ配信を選ぶことができます。

メモ

ダッシュボードの USER ボタンに配信のスタート／ストップを割り当てることもできます。

DASHBOARD 画面の「LCD ASSIGN A または B」→「USER BUTTON 1/2 または 3/4」で、CATEGORY「STREAM/RECORD」を選び、VALUE に「START/STOP」を選びます。



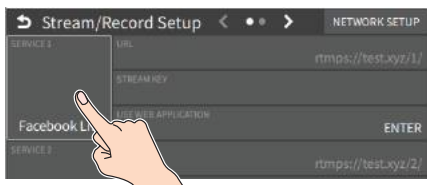
Facebook Live で配信する

準備

- 事前に Facebook アカウントを作成しておいてください。
- VR-6HD をネットワーク機器に接続して、インターネットに接続できる状態にしてください。
- 録音／録画をするときは、「AUDIO REC」と「VIDEO REC」をそれぞれ「ON」に設定してください (P.58)。

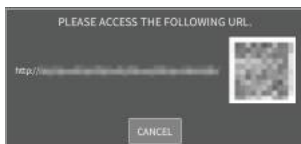
本体の操作

1. 配信／録画のセットアップ画面で、＜SERVICE 1＞または＜SERVICE 2＞にタッチして「Facebook Live」を選ぶ。



2. ＜USE WEB APPLICATION＞にタッチする。

Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。



パソコン／スマートフォンの操作

3. パソコンやスマートフォンのウェブ・ブラウザで、表示された URL のページを開く。
4. Facebook にログインする。
5. 以下の項目を設定する。

項目	説明
Title	配信タイトルを入力します。
Description	Facebook Live に表示する説明文を入力します。
Select destination for live-streaming	配信先を選びます。
	Timeline 個人のタイムラインに配信します。
	Page Facebook ページに配信します。
	Group グループに配信します。
Select privacy scope	配信を公開する範囲を選びます。
	SELF 本人のみ視聴可能
	ALL FRIENDS 友達のみ視聴可能
	EVERYONE 誰でも視聴可能

6. [SUBMIT TO DEVICE!] をクリックする。

送信が完了すると、「Success」とメッセージが表示されます。

VR-6HD に「URL」と「STREAM KEY」が反映されます。

注意

「URL」と「STREAM KEY」が反映されるまでは、QR コードの画面を閉じないでください。

本体の操作

9. 配信／録画画面を選ぶ。

ステータス・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート／ストップに関連するパラメーターが表示されます。



10. ＜ON AIR＞にタッチする。

「ARE YOU SURE YOU WANT TO START STREAMING?」と、メッセージが表示されます。

11. ＜OK＞にタッチする。

配信がスタートします。

録音／録画をオンにしているときは、配信のスタートと同時に録音／録画もスタートします。

12. 配信を終了するとき、もう一度＜ON AIR＞にタッチする。

「ARE YOU SURE YOU WANT TO STOP STREAMING?」と、メッセージが表示されます。

13. ＜OK＞にタッチする。

配信が終了します。

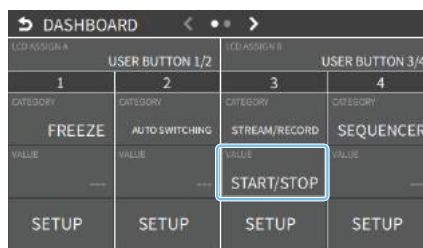
注意

Facebook Live のストリーム・キーには有効期限があるため、配信する前にストリーム・キーの取得が必要になります。

メモ

ダッシュボードの USER ボタンに配信のスタート／ストップを割り当てることもできます。

DASHBOARD 画面の「LCD ASSIGN A または B」→「USER BUTTON 1/2 または 3/4」で、CATEGORY「STREAM/RECORD」を選び、VALUE に「START/STOP」を選びます。



7. [OK] をクリックする。

8. ページを閉じる。

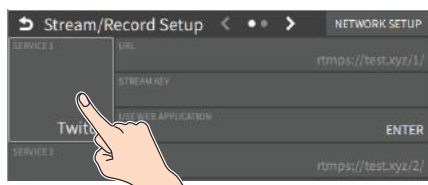
Twitch で配信する

準備

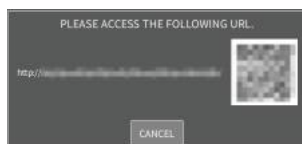
- 事前に Twitch アカウントを作成しておいてください。
- VR-6HD をネットワーク機器に接続して、インターネットに接続できる状態にしてください。
- 録音／録画をするときは、「[AUDIO REC]」と「[VIDEO REC]」をそれぞれ「ON」に設定してください (P.58)。

本体の操作

1. 配信／録画のセットアップ画面で、＜SERVICE 1＞または＜SERVICE 2＞にタッチして「Twitch」を選ぶ。



2. ＜USE WEB APPLICATION＞にタッチする。
Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。



パソコン／スマートフォンの操作

3. パソコンやスマートフォンのウェブ・ブラウザで、表示された URL のページを開く。
4. Twitch にログインする。
5. 「Select ingest server location」で、接続サーバーを選ぶ。
より安定した通信環境で配信できるように、お住まいに近い地域のサーバーを選びます。
※ どのサーバーを選んでも、配信はできます。

6. 「[SUBMIT TO DEVICE!]」をクリックする。
送信が完了すると、「Success」とメッセージが表示されます。
VR-6HD に「URL」と「STREAM KEY」が反映されます。

注意

「URL」と「STREAM KEY」が反映されるまでは、QR コードの画面を閉じないでください。

7. 「[OK]」をクリックする。
8. ページを閉じる。

本体の操作

9. 配信／録画面面を選ぶ。

ステータス・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート／ストップに関連するパラメーターが表示されます。



10. ＜ON AIR＞にタッチする。
「ARE YOU SURE YOU WANT TO START STREAMING?」と、メッセージが表示されます。
11. ＜OK＞にタッチする。
配信がスタートします。
録音／録画をオンにしているときは、配信のスタートと同時に録音／録画もスタートします。
12. 配信を終了するときは、もう一度＜ON AIR＞にタッチする。
「ARE YOU SURE YOU WANT TO STOP STREAMING?」と、メッセージが表示されます。
13. ＜OK＞にタッチする。
配信が終了します。

メモ

ダッシュボードの USER ボタンに配信のスタート／ストップを割り当てることもできます。

DASHBOARD 画面の「LCD ASSIGN A または B」→「USER BUTTON 1/2 または 3/4」で、CATEGORY「STREAM/RECORD」を選び、VALUE に「START/STOP」を選びます。

DASHBOARD			
LCD ASSIGN A		LCD ASSIGN B	
USER BUTTON 1/2		USER BUTTON 3/4	
1	2	3	4
CATEGORY	CATEGORY	CATEGORY	CATEGORY
FREEZE	AUTO SWITCHING	STREAM/RECORD	SEQUENCER
VALUE	VALUE	VALUE	VALUE
		START/STOP	
SETUP	SETUP	SETUP	SETUP

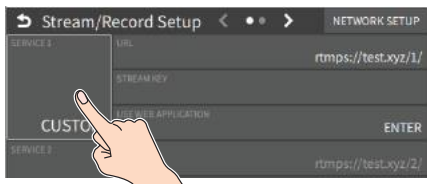
カスタム設定で配信する

準備

- VR-6HD をネットワーク機器に接続して、インターネットに接続できる状態にしてください。
- 録音／録画をするときは、「AUDIO REC」と「VIDEO REC」をそれぞれ「ON」に設定してください（P.58）。

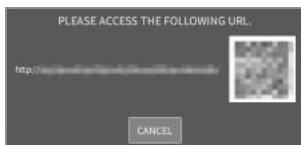
本体の操作

1. 配信／録画のセットアップ画面で、＜SERVICE 1＞または＜SERVICE 2＞にタッチして「CUSTOM」を選ぶ。



2. ＜USE WEB APPLICATION＞にタッチする。

Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。



パソコン／スマートフォンの操作

3. パソコンやスマートフォンのウェブ・ブラウザで、表示された URL のページを開く。
4. 「RTMP URL」と「Stream Key」を入力する。

メモ

「RTMP URL」と「Stream Key」は、使用する配信プラットフォームの WEB ページなどで確認することができます。

5. [SUBMIT!] をクリックする。

送信が完了すると、「Success!」とメッセージが表示されます。VR-6HD に「URL」と「STREAM KEY」が反映されます。

注意

「URL」と「STREAM KEY」が反映されるまでは、QR コードの画面を閉じないでください。

6. [OK] をクリックする。
7. ページを閉じる。

本体の操作

8. 配信／録画画面を選ぶ。

ステータス・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート／ストップに関連するパラメーターが表示されます。



9. ＜ON AIR＞にタッチする。

「ARE YOU SURE YOU WANT TO START STREAMING?」と、メッセージが表示されます。

10. ＜OK＞にタッチする。

配信がスタートします。

録音／録画をオンにしているときは、配信のスタートと同時に録音／録画もスタートします。

11. 配信を終了するときは、もう一度＜ON AIR＞にタッチする。

「ARE YOU SURE YOU WANT TO STOP STREAMING?」と、メッセージが表示されます。

12. ＜OK＞にタッチする。

配信が終了します。

メモ

ダッシュボードの USER ボタンに配信のスタート／ストップを割り当てることもできます。

DASHBOARD 画面の「LCD ASSIGN A または B」→「USER BUTTON 1/2 または 3/4」で、CATEGORY「STREAM/RECORD」を選び、VALUE に「START/STOP」を選びます。

LCD ASSIGN A		LCD ASSIGN B	
USER BUTTON 1/2		USER BUTTON 3/4	
1	2	3	4
CATEGORY	CATEGORY	CATEGORY	CATEGORY
FREEZE	AUTO SWITCHING	STREAM/RECORD	SEQUENCER
VALUE	VALUE	VALUE	VALUE
---	---	START/STOP	---
SETUP	SETUP	SETUP	SETUP

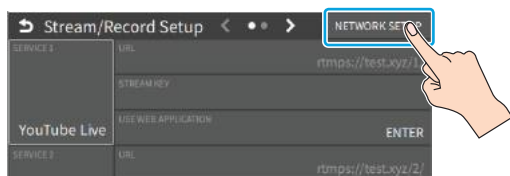
テザリング

スマートフォンを接続して、テザリングをします。



iPhone の場合

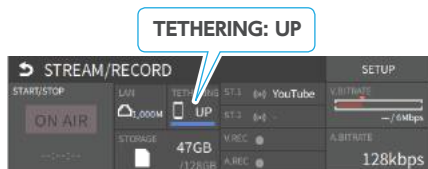
1. iPhone 付属の Lightning-USB A ケーブルで、iPhone を VR-6HD の USB HOST 端子に接続する。
2. iPhone で「設定」→「インターネット共有」を選び、「ほかの人の接続を許可」をオンにする。
3. 「このコンピュータを信頼しますか?」とメッセージが表示されたら、「信頼」をタップする。
4. 「このコンピュータを信頼するにはデバイスのパスコードを入力」とメッセージが表示されたら、パスコードを入力する。
5. 配信／録画のセットアップ画面で、画面右上の「< NETWORK SETUP >」にタッチする。



NETWORK 画面が表示されます。

6. 「< PRIORITY >」にタッチして「TETHERING」を選ぶ。
7. 「< START TETHERING >」にタッチする。
8. 配信／録画のセットアップ画面に戻る。

ステータス・エリアの NETWORK 表示が、「TETHERING: ---」から「TETHERING: UP」に変わったら、iPhone のモバイル回線を利用できます。



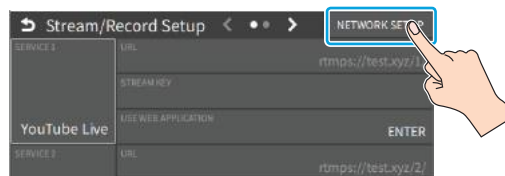
9. テザリングをストップさせるときは、NETWORK 画面に戻って、「< STOP TETHERING >」にタッチする。

Android 機器の場合

注意

スマートフォンの機種によっては、操作方法が異なる場合があります。お使いになる機器の取扱説明書で確認してください。

1. USB ケーブルで、スマートフォンを VR-6HD の USB HOST 端子に接続する。
スマートフォンの画面上部に通知が表示されます。
2. スマートフォンで、「設定」→「ネットワークとインターネット」→「アクセスポイントとテザリング」を選ぶ。
3. 「USB テザリング」をオンにする。
4. 配信／録画のセットアップ画面で、画面右上の「< NETWORK SETUP >」にタッチする。



NETWORK 画面が表示されます。

5. 「< PRIORITY >」にタッチして「TETHERING」を選ぶ。
6. 「< START TETHERING >」にタッチする。
7. 配信／録画のセットアップ画面に戻る。

ステータス・エリアの NETWORK 表示が、「TETHERING: ---」から「TETHERING: UP」に変わったら、スマートフォンのモバイル回線を利用できます。



8. テザリングをストップさせるときは、NETWORK 画面に戻って、「< STOP TETHERING >」にタッチする。

メモ

テザリングのスタート/ストップは、メニューでも操作することができます。

[MENU] ボタン → 「NETWORK」 → 「TETHERING」を選び、「[VALUE] つまみを押します。

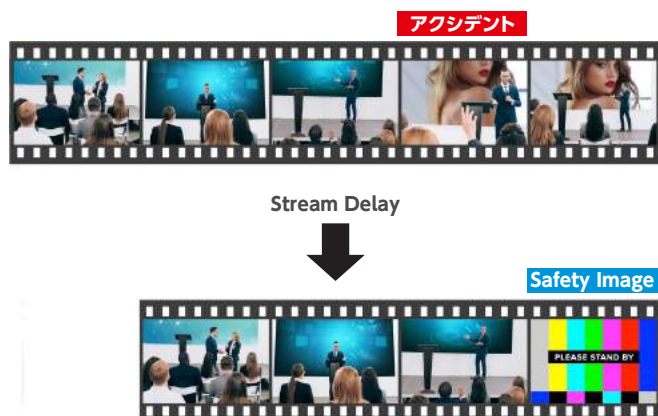
配信中の偶発的なトラブルを回避する（セーフティー・ディレイ）

VR-6HD は、配信中の予期せぬトラブルに備えた回避機能「セーフティー・ディレイ」を搭載しています。

セーフティー・ディレイ機能では、映像と音声のバッファ（配信ディレイ・タイム：Stream Delay）を設定することができます。

配信ディレイ・タイム内でアクシデントが発生した場合、1つのボタン操作で「静止画への切り替え」と「音声のミュート」をコントロールして、不適切なコンテンツが配信されることを防ぎます。

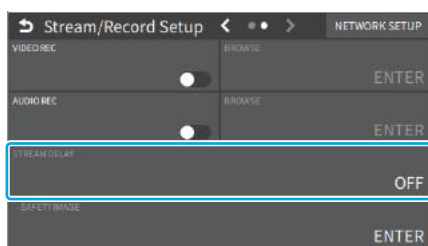
セーフティー・ディレイ機能を使えば、進行の台本などがないライブ・イベントでも安心して配信することができます。



- 配信ディレイ・タイムは、5秒間隔で最大60秒まで設定することができます。
- 「Safety Image」として読み込んだ静止画に切り替わります。
- Safety Image への切り替えは配信中のみです。また、配信されている映像でのみ Safety Image への切り替えを確認することができます。本体ディスプレイや VIDEO OUT 端子の映像出力は、Safety Image に切り替わりません。
- ダッシュボードの USER ボタンに、静止画への切り替えと音声のミュートをコントロールする機能を割り当てて使います。

配信ディレイ・タイムを設定する

1. 配信／録画のセットアップ画面（ページ 2）を選ぶ。



2. <SAFETY DELAY>にタッチして、設定する。

設定値

OFF、5sec ～ 60sec（5秒間隔）

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

セーフティー・ディレイ機能を使う

1. 配信／録画のセットアップ画面を選ぶ。
2. <ON AIR>にタッチする。
3. <OK>にタッチする。
配信がスタートします。
4. 画面右下の<SAFETY IMAGE>にタッチする。



配信映像が静止画に切り替わり、配信音声がミュートされます。

メモ

ダッシュボードの USER ボタンに配信のセーフティー・ディレイ機能を割り当てることもできます。

DASHBOARD 画面の「LCD ASSIGN A または B」→「USER BUTTON 1/2 または 3/4」で CATEGORY「STREAM/RECORD」を選び、VALUE に「SAFETY IMAGE」を選びます。

Dashboard			
1	2	3	4
CATEGORY FREEZE	CATEGORY AUTO SWITCHING	CATEGORY STREAM/RECORD	CATEGORY SEQUENCER
VALUE	VALUE	VALUE SAFETY IMAGE	VALUE MODE ON/OFF
SETUP	SETUP	SETUP	SETUP

その他の機能

設定を保存する／呼び出す（シーン・メモリー）

映像／音声の設定や操作パネルの状態など、現在の設定をシーン・メモリーに保存し、必要なときに呼び出して使うことができます。
VR-6HDには、32個のシーン・メモリーが用意されています。

※ 工場出荷時、デモ・データとしてあらかじめ用意されているシーン・メモリーがあります。

ラスト・メモリー機能について

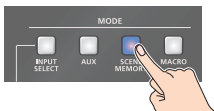
VR-6HDにはラスト・メモリー機能が搭載されています。ラスト・メモリーは、電源を切る直前の状態を保存しておいて、次に起動したときに自動的に元の状態に復帰させる機能です。工場出荷時、ラスト・メモリー機能が有効になっています。

シーン・メモリーを呼び出して起動したいときは、[MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] → [SETUP] → [START UP] で、シーン・メモリー番号を指定します。

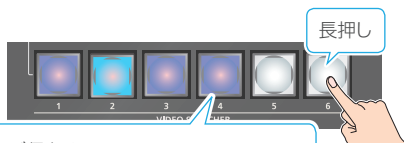
シーン・メモリーに保存する

シーン・メモリー 1～6のみ対応

1. [SCENE MEMORY] ボタンを押す。



2. 設定を保存したい番号の VIDEO SWITCHER ボタンを長押しする。



青： 設定が保存されているメモリー
水色： 現在選ばれているメモリー
消灯： 設定が何も保存されていないメモリー

すべての VIDEO SWITCHER ボタンが一瞬青色に点灯し、選んだシーン・メモリーに現在の設定が保存されます。

シーン・メモリー 1～32

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] を選び、[VALUE] つまみを押す。

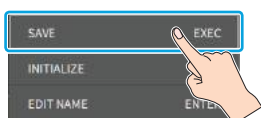
シーン・メモリー画面が表示されます。

2. 保存したいシーン・メモリーのエリアを長押しする。



ポップアップ・メニューが表示されます。

3. <SAVE>にタッチする。



確認メッセージが表示されます。

4. [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。



選んだシーン・メモリーに現在の設定が保存されます。

メモ

シーン・メモリー 7～32 について

ボタン操作で、シーン・メモリー 7～32 の保存／呼び出しをすることができます。

[MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] → [SETUP] → [BUTTON ASSIGN] で VIDEO SWITCHER ボタンごとに呼び出すメモリーを設定します。

- 設定の保存や初期化 (P.66) の操作を禁止して、シーン・メモリーの内容を保護することができます。

[MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] → [SETUP] → [MEMORY PROTECT] を選び、[ON] に設定します。

- システムやネットワークなどの設定は、共通設定（本体に1つ）のため、メモリーに保存されません。

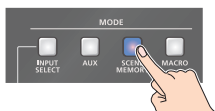
デモ・データについて

変更または消去されたデモ・データは、ファクトリー・リセットを実行すると (P.94)、工場出荷時の設定に復元されます。

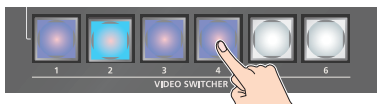
シーン・メモリーを呼び出す

シーン・メモリー 1～6 のみ対応

1. [SCENE MEMORY] ボタンを押す。



2. 設定を呼び出したい番号の VIDEO SWITCHER ボタンを押す。



シーン・メモリーが呼び出されます。

シーン・メモリー 1～32

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] を選び、[VALUE] つまみを押す。
2. < SETUP > にタッチする。
シーン・メモリーのセットアップ画面が表示されます。
3. 設定を呼び出したいシーン・メモリー番号のエリアにタッチする。



シーン・メモリーが呼び出されます。

メモ

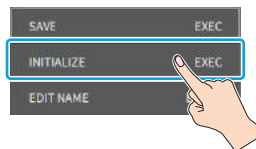
- シーン・メモリーを呼び出したときに、特定の設定を呼び出さないようにすることができます。
[MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] → [SETUP] で、[LOAD PARAMETER] を選び、LOAD PARAMETER の項目ごとに設定を呼び出すかどうかを設定します。
- シーン・メモリーを呼び出したときに、映像切り替え効果を付けたり、子画面をフェード・インさせたりすることができます。
[MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] → [SETUP] で、以下のメニュー項目を設定します。

メニュー項目	説明
FADE TIME	シーン・メモリーを呼び出したときの映像切り替え時間を設定します。 ※ 設定した時間は、以下の項目で適用されます。
MIX/WIPE	「ON」にすると、シーン・メモリーを呼び出したときに、切り替え効果がかかります。
PinP & KEY	「ON」にすると、PinP 合成を含むシーン・メモリーを呼び出したときに、子画面がフェード・インします。
DSK	「ON」にすると、DSK 合成を含むシーン・メモリーを呼び出したときに、上に重なるテロップや映像がフェード・インします。

シーン・メモリーを初期化する

シーン・メモリーの設定内容を初期化して、消去します。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] を選び、[VALUE] つまみを押す。
シーン・メモリー画面が表示されます。
2. 初期化したいシーン・メモリーのエリアを長押しする。
ポップアップ・メニューが表示されます。
3. < INITIALIZE > にタッチする。



確認メッセージが表示されます。

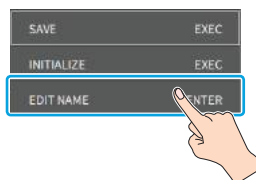
※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

4. 「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。
シーン・メモリーが初期化されます。

シーン・メモリーの名前を変更する

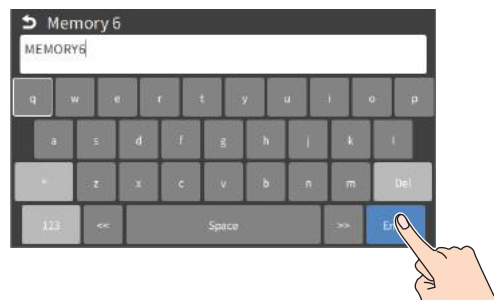
シーン・メモリーの名前を変更します。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] を選び、[VALUE] つまみを押す。
シーン・メモリー画面が表示されます。
2. 名前を変更したいシーン・メモリーのエリアを長押しする。
ポップアップ・メニューが表示されます。
3. < NAME EDIT > にタッチする。



入力用のソフトウェア・キーボードが表示されます。

4. 名前を入力する。
※ 入力できる文字数は、8 文字までです。
5. ソフトウェア・キーボードの < Enter > にタッチする。



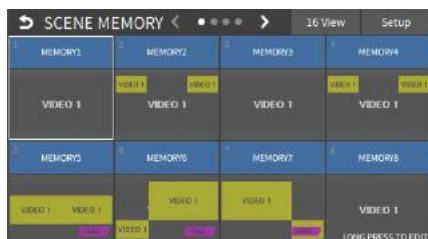
名前が変更されます。

サムネイルの位置を変更する

シーン・メモリーのセットアップ画面内で確認できるサムネイルの位置を変更できます。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] → [8VIEW] を選び、[VALUE] つまみを押す。

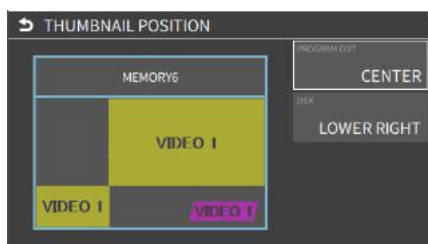
シーン・メモリー画面が表示されます。



2. サムネイルを変更したいシーン・メモリーのエリアを長押しする。

ポップアップ・メニューが表示されます。

3. < THUMBNAIL >にタッチする。



サムネイルのレイアウト画面が表示されます。

4. 画面にタッチして、設定をする。
5. [EXIT] ボタンを押す。

USB メモリーにシーン・メモリーを保存する

VR-6HD に接続したストレージ (SD カードや USB メモリー) に、シーン・メモリー (1 ~ 32) を 1 つのファイル (.VR6SCENE) にして保存することができます。保存したシーン・メモリー・ファイルは、必要に応じてストレージから本体に呼び出して使うことができます。

注意

- SD カードや USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-6HD でフォーマットしてください (P.13)。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードや USB メモリーを抜いたりしないでください。
- SD カードや USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。
- シーン・メモリー・ファイルは「Roland/VR-6HD/scene_memory」フォルダーに保存されます。

新規保存する



1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

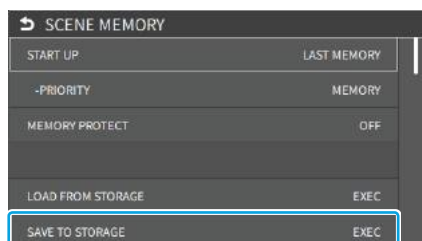
※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SCENE MEMORY] を選び、[VALUE] つまみを押す。

シーン・メモリー画面が表示されます。

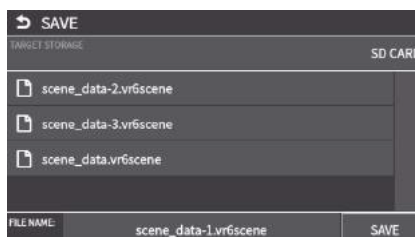
3. < SETUP >にタッチする。

セットアップ画面が表示されます。



4. [VALUE] つまみで [SAVE TO STORAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージ内のシーン・メモリー・ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「TARGET STORAGE」で、書き出し先のストレージを切り替えることができます。

5. [FILE NAME] を選び、[VALUE] つまみを押す。
- 入力用のソフトウェア・キーボードが表示されます。

6. ファイル名を入力する。

※ 入力できる文字数は、32 文字までです。

7. ソフトウェア・キーボードの<Enter>にタッチする。

8. ファイル名の入力が終わったら、[VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

9. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージにシーン・メモリー・ファイル（.VR6SCENE）が保存されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

10. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

上書き保存する

1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → 「MEMORY/MACRO/SEQ」 → 「SCENE MEMORY」を選び、[VALUE] つまみを押す。

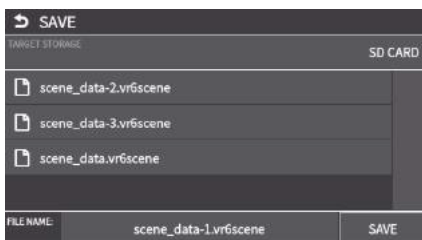
シーン・メモリー画面が表示されます。

3. <SETUP>にタッチする。

セットアップ画面が表示されます。

4. [VALUE] つまみで「SAVE TO STORAGE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージ内のシーン・メモリー・ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「TARGET STORAGE」で、書き出し先のストレージを切り替えることができます。

5. 上書きしたいシーン・メモリー・ファイルにタッチする。

ファイル・ネーム欄のファイル名が引き継がれます。

6. [VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

7. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

シーン・メモリー・ファイルが上書き保存されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

8. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

呼び出す

ストレージに保存されているシーン・メモリーの設定を呼び出します。設定を呼び出すと、シーン・メモリーの設定は上書きされます。

1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

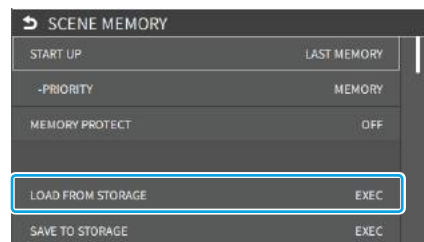
※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → 「MEMORY/MACRO/SEQ」 → 「SCENE MEMORY」を選び、[VALUE] つまみを押す。

シーン・メモリー画面が表示されます。

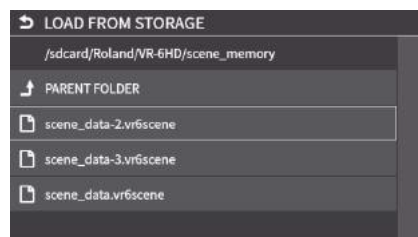
3. <SETUP>にタッチする。

セットアップ画面が表示されます。



4. [VALUE] つまみで「LOAD FROM STORAGE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージ内のシーン・メモリー・ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「SD CARD」「USB MEMORY」を選ぶことで、読み込み元のストレージを切り替えることができます。



5. 呼び出したいシーン・メモリー・ファイルにタッチする。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

6. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

シーン・メモリーの設定が呼び出されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

複数の操作を記録して自動的に実行する（マクロ）

複数の操作手順を記録して、自動的に実行することができます（マクロ機能）。あらかじめマクロに操作手順を記録しておけば、マクロを選ぶだけで記録した一連の操作が再現されます。オペレーターが変わっても同じ操作を実行できる便利な機能です。

最大 100 個のマクロを作成することができます。

マクロに記録する

1 つのマクロに、最大 10 個の操作を記録することができます。マクロの中に別のマクロを組み込むことで、1 つのマクロでより複雑な操作を実行できます。

※ 工場出荷時、デモ・データとしてあらかじめ操作が記録されているマクロがあります。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] → [8VIEW] を選び、[VALUE] つまみを押す。

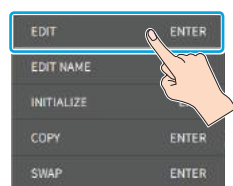
マクロ画面が表示されます。

2. 記録したいマクロ番号のエリアを長押しする。



ポップアップ・メニューが表示されます。

3. <EDIT> にタッチする。



マクロのエディット画面が表示されます。

4. マクロ番号選択エリアの矢印にタッチして、編集したいマクロを選ぶ。



マクロに記録した操作のリストが表示されます。

5. <ADD FUNCTION> にタッチする。



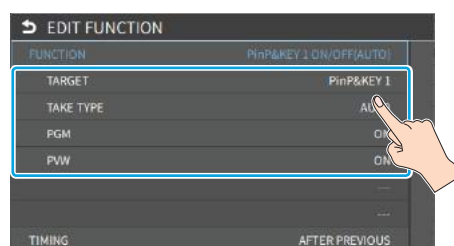
EDIT FUNCTION メニューが表示されます。



6. 画面にタッチして、マクロに記録する操作を選ぶ。

※ 記録できる操作について、詳しくは「マクロを編集する」(P.70)をご覧ください。

7. 画面にタッチして、関連するパラメーターを設定する。



8. <TIMING> にタッチして、操作を実行するタイミングを設定する。

設定値	説明
AFTER PREVIOUS	直前の操作のあとに実行します。リスト番号が連番になります。
SAME AS PREVIOUS	直前の操作と同時に実行します。直前の操作と同じリスト番号になります。

※ マクロの先頭に記録する操作の場合は、タイミングを設定しても効果はありません。

9. [EXIT] ボタンを押して、1 つ前の画面に戻す。



10. 手順 5 ～ 10 を繰り返し、マクロを完成させる。

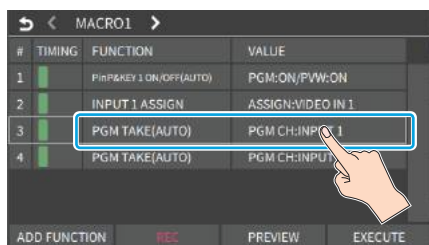
11. [EXIT] ボタンを押して、画面を閉じる。

マクロを編集する

マクロの作成中や完成後に、操作の内容や並び順を変更したり、操作をコピー／削除したりすることができます。

操作内容を変更する

1. 「マクロに記録する」(P.69) の手順 4 で、操作のリストから編集したい行にタッチする。

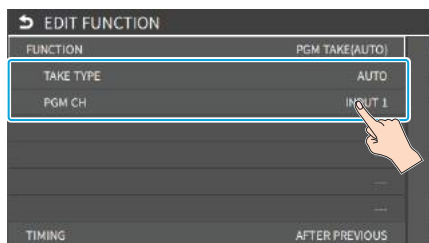


ポップアップ・メニューが表示されます。

2. < EDIT FUNCTION > にタッチする。
EDIT FUNCTION メニューが表示されます。

メニュー	設定値	説明
FUNCTION	PGM TAKE	PinP & KEY SOURCE
	PGM/PST SELECT	PinP & KEY WINDOW
	AUX SELECT	PinP & KEY CROPPING
	INPUT ASSIGN	PinP & KEY VIEW
	TRANSITION TIME	DSK ON/OFF
	TRANSITION TYPE	DSK SOURCE
	PinP & KEY ON/OFF	SPLIT TYPE
		マクロに記録する操作を設定します。 ※ 設定した操作に応じて、関連するメニュー項目が表示されます。 Wait : 次の操作を実行するまでの待ち時間を設定します。

3. 「マクロに記録する」(P.69) の手順 5 ～ 9 に従って、操作内容を変更する。

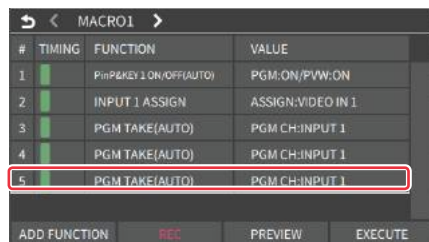


操作をコピーする

※ 記録した操作が上限（10 個）に達しているときは、コピーできません。

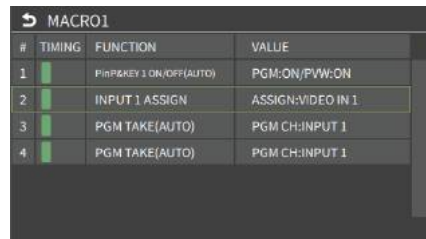
1. 「マクロに記録する」(P.69) の手順 4 で、操作のリストからコピーしたい行にタッチする。
ポップアップ・メニューが表示されます。

2. < DUPLICATE > にタッチする。
リストの最後尾にコピーした操作が 1 行追加されます。



操作を移動する

1. 「マクロに記録する」(P.69) の手順 4 で、操作のリストから移動したい行にタッチする。
ポップアップ・メニューが表示されます。
2. < MOVE > にタッチする。
3. 移動先を示す緑のカーソルが表示されるので、[VALUE] つまみで移動先を指定して [VALUE] つまみを押す。
行が移動します。



操作を削除する

1. 「マクロに記録する」(P.69) の手順 4 で、操作のリストから削除したい行にタッチする。
ポップアップ・メニューが表示されます。
2. < DELETE > にタッチする。
行が削除されます。



メモ

「PREVIEW」と「EXECUTE」の違い

エディット画面の下部にある< PREVIEW >や< EXECUTE >にタッチすると、マクロを実際に実行します。「PREVIEW」は実行したあと、実行前の状態に戻りますが、「EXECUTE」は結果が PROGRAM OUT に反映されたまま残ります。

パネル操作を直接マクロに記録する

パネル操作した内容を、そのままマクロに記録することができます。

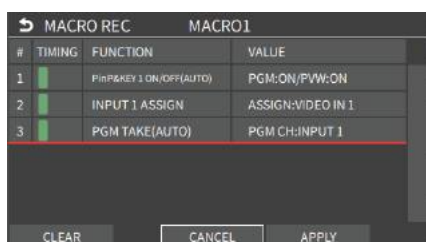
：パネル操作しても記録されない操作子



1. 「マクロに記録する」(P.69) の手順 4 で、操作のリストを表示させる。
2. <REC> にタッチする。



マクロ記録画面が表示されます。

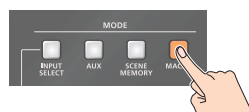


3. 記録したい操作をする。
操作をするたびに、リストに操作が追加されます。
※ 中止するときは、<CANCEL>をタッチします。
※ <CLEAR>にタッチすると、記録された操作を消去します。
4. <APPLY>にタッチして、画面を閉じる。
記録が確定します。

マクロを実行する

マクロ 1 ~ 6 のみ対応

1. 「MACRO」 ボタンを押す。



2. 実行したいマクロ番号の VIDEO SWITCHER ボタンを押す。



オレンジ： 操作が記録されているマクロ
消灯： 操作が何も記録されていないマクロ

マクロが実行されます。

マクロ 1 ~ 100

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

マクロ画面が表示されます。

2. ページ切り替えエリアの矢印にタッチして、実行したいマクロがあるページを選ぶ。



3. 実行したいマクロのエリアにタッチする。



マクロが実行されます。

メモ

VIDEO SWITCHER ボタンに割り当てるマクロを変更する

各 VIDEO SWITCHER ボタンに割り当てるマクロを変更することができます。

[MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] → [SETUP] → [BUTTON ASSIGN] で VIDEO SWITCHER ボタンごとに割り当てるマクロ (1 ~ 100) を設定します。

マクロの設定をコピーする

マクロの設定を別のマクロにコピーします。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

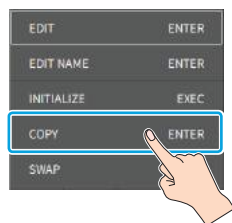
マクロ画面が表示されます。

2. コピー元のマクロ番号のエリアを長押しする。



ポップアップ・メニューが表示されます。

3. <COPY>にタッチする。



コピー先を選ぶカーソルが表示されます。

4. [VALUE] つまみでコピー先のマクロ番号を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

5. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

マクロの設定がコピーされます。

マクロの設定を入れ替える

マクロの設定を別のマクロと入れ替えます。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

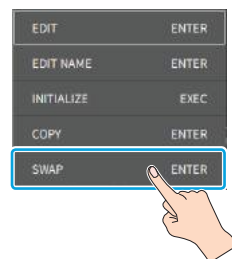
マクロ画面が表示されます。

2. 入れ替え元のマクロ番号のエリアを長押しする。



ポップアップ・メニューが表示されます。

3. <SWAP>にタッチする。



入れ替え先を選ぶカーソルが表示されます。

4. [VALUE] つまみでコピー先のマクロ番号を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

5. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

マクロの設定が入れ替わります。

マクロを初期化する

マクロを初期化して、設定内容をすべて消去します。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

マクロ画面が表示されます。

2. 初期化したいマクロ番号のエリアを長押しする。



ポップアップ・メニューが表示されます。

3. < INITIALIZE > にタッチする。



確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

4. [VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。
マクロが初期化されます。

メモ

マクロのデモ・データについて

変更または消去されたデモ・データは、ファクトリー・リセットを実行すると (P.94)、工場出荷時の設定に復元されます。

マクロの名前を変更する

マクロの名前を変更します。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

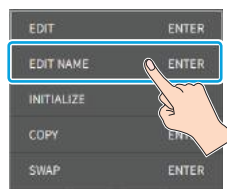
マクロ画面が表示されます。

2. 名前を変えたいマクロ番号のエリアを長押しする。



ポップアップ・メニューが表示されます。

3. < NAME EDIT > にタッチする。



入力用のソフトウェア・キーボードが表示されます。

4. 名前を入力する。

※ 入力できる文字数は、8 文字までです。

5. ソフトウェア・キーボードの < Enter > にタッチする。



マクロの名前が変更されます。

マクロの設定を保存する／呼び出す

VR-6HD に接続したストレージ (SD カードや USB メモリー) に、マクロの設定 (1 ～ 100) を 1 つのファイル (.RMC) にして保存することができます。保存したマクロ設定ファイルは、必要なときにストレージから本体に呼び出して使うことができます。

注意

- SD カードや USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-6HD でフォーマットしてください (P.13)。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードや USB メモリーを抜いたりしないでください。
- SD カードや USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。
- マクロ・ファイルは「Roland/VR-6HD/macro」フォルダーに保存されます。

新規保存する

1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

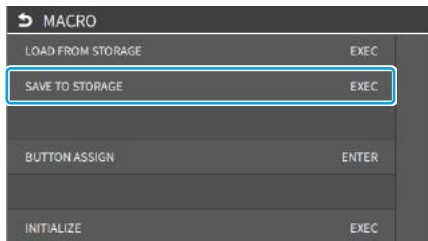
※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

マクロ画面が表示されます。

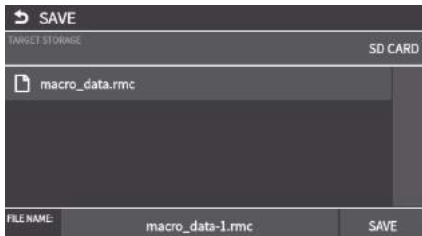
3. < SETUP > にタッチする。

セットアップ画面が表示されます。



4. [VALUE] つまみで「SAVE TO STORAGE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージ内のマクロ設定ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「TARGET STORAGE」で、書き出し先のストレージを切り替えることができます。

5. 「FILE NAME」を選び、[VALUE] つまみを押す。

入力用のソフトウェア・キーボードが表示されます。

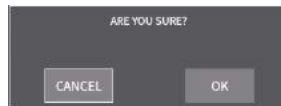
6. ファイル名を入力する。

※ 入力できる文字数は、32 文字までです。

7. ソフトウェア・キーボードの< Enter >にタッチする。

8. ファイル名の入力が終わったら、[VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

9. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージにマクロ設定ファイル (.RMC) が保存されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

10. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

上書き保存する

1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

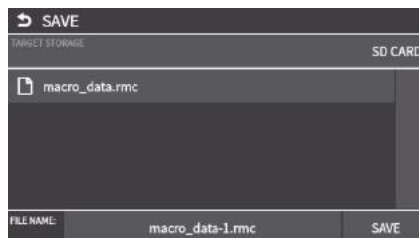
マクロ画面が表示されます。

3. < SETUP > にタッチする。

セットアップ画面が表示されます。

4. [VALUE] つまみで「SAVE TO STORAGE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージ内のマクロ設定ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「TARGET STORAGE」で、書き出し先のストレージを切り替えることができます。

5. 上書きしたいマクロ設定ファイルにタッチする。

ファイル・ネーム欄のファイル名が引き継がれます。

6. [VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

7. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

マクロ設定ファイルが上書き保存されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

8. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

呼び出す

ストレージに保存されているマクロの設定を呼び出します。設定を呼び出すと、マクロ（1～100）の設定は上書きされます。

1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

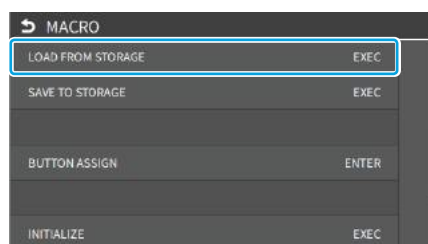
※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

マクロ画面が表示されます。

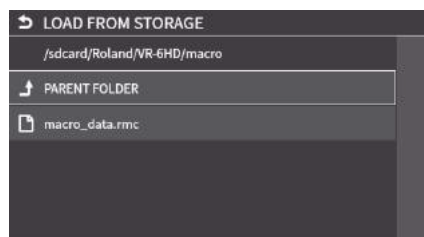
3. < SETUP > にタッチする。

セットアップ画面が表示されます。



4. [VALUE] つまみで「LOAD FROM STORAGE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージ内のマクロ設定ファイルが一覧表示されます。

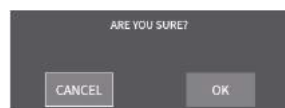


※ 画面上の「SD CARD」「USB MEMORY」を選ぶことで、読み込み元のストレージを切り替えることができます。



5. 呼び出したいマクロ設定ファイルにタッチする。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

6. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

マクロの設定が呼び出されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

すべてのマクロを初期化する

すべてのマクロを初期化して、消去します。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [MACRO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

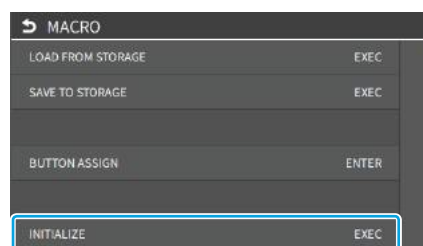
マクロ画面が表示されます。

2. < SETUP > にタッチする。

セットアップ画面が表示されます。

3. [VALUE] つまみで「INITIALIZE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

4. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

マクロが初期化されます。

5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

シーン・メモリーやマクロを組み合わせて操作する（シーケンサー）

シーン・メモリーの呼び出しやマクロなどの操作を記録し、指定した順番で実行します（シーケンサー機能）。

画面構成の変更やタイトルの挿入など、イベントの進行に合わせた操作を事前に準備しておけば、[AUTO] ボタンを押すだけで目的の操作を再現することができます。現場でのオペレーションをスムーズに進められる便利な機能です。

シーケンサーに記録する

シーケンサーに記録できる操作は、「シーン・メモリーの呼び出し」「マクロの実行」「最終出力映像の切り替え」の3種類です。実行したい操作を順番に並べて、リストを作成します。

リストには、最大 1,000 個まで操作を並べることができます。

メモ

工場出荷時、デモ・データとして操作がリストに記録されています。リストを初期化すると、リストの内容をすべて消去することができます（P.81）。

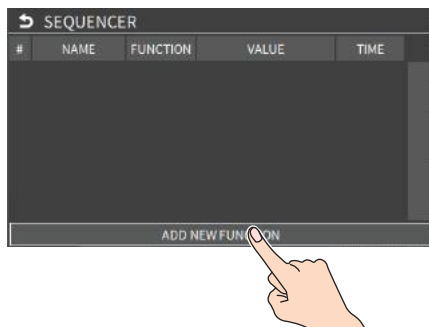
1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SEQUENCER] → [LIST EDIT] を選び、[VALUE] つまみを押す。

シーケンサーに記録した操作のリストが表示されます。

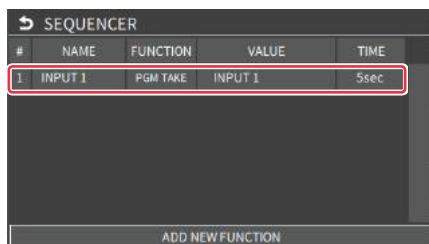
※ 工場出荷時はデモ・シーケンスが登録されています。



2. < ADD FUNCTION > にタッチする。

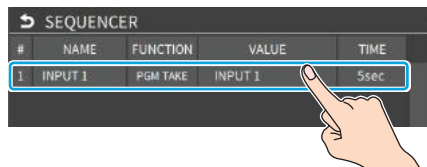


リストの最終行に操作が追加されます。



3. 追加された行にタッチする。

ポップアップ・メニューが表示されます。



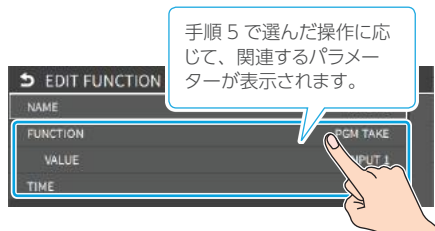
4. < EDIT FUNCTION > にタッチする。

シーケンサーに記録する操作の編集画面が表示されます。

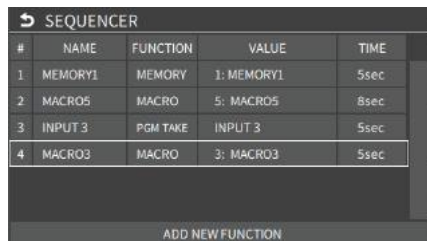
5. < FUNCTION > にタッチして、記録する操作を選ぶ。

設定値	説明
PGM TAKE	最終出力映像を切り替えます。
MEMORY	シーン・メモリーを呼び出します。
MACRO	マクロを実行します。

6. 関連するパラメーターを設定する。



7. 手順 2 ～ 6 を繰り返し、リストを完成させる。



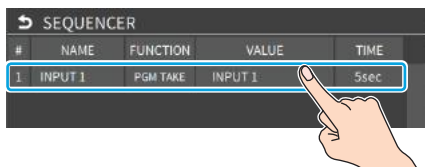
8. [EXIT] ボタンを押して、画面を閉じる。

リストを編集する

リストの作成中や完成後に、操作の内容や並び順を変更したり、操作をコピー／削除したりすることができます。

操作内容を変更する

1. 「シーケンサーに記録する」(P.76) の手順 1 で、操作のリストを表示させる。
2. 編集したい行にタッチする。
ポップアップ・メニューが表示されます。



3. < EDIT FUNCTION > にタッチする。
シーケンサーに記録する操作の編集画面が表示されます。
4. < FUNCTION > にタッチして、記録する操作を選ぶ。
5. 関連するパラメーターを設定する。

メニュー	設定値	説明
FUNCTION	シーケンサーに記録する操作を設定します。 ※ 設定した操作に応じて、関連するメニュー項目が表示されます。	
	PGM TAKE	最終出力映像を切り替えます。
	MEMORY	シーン・メモリーを呼び出します。
NAME	MACRO	マクロ（記録した一連の操作）を実行します。
	—	操作の名前を表示します。
TIME	オート・シーケンスがオンのときの動作を設定します。	
	PAUSE	オート・シーケンスを一時停止します。
	AUTO	続けて次の操作を実行します。
	1 ~ 120sec	指定した時間を空けて、次の操作を実行します。

操作を移動する

1. 「シーケンサーに記録する」(P.76) の手順 1 で、操作のリストを表示させる。
2. 移動したい行にタッチする。
ポップアップ・メニューが表示されます。
3. < MOVE > にタッチする。
4. 移動先を示す緑のカーソルが表示されるので、[VALUE] つまみで移動先を指定して [VALUE] つまみを押す。
行が移動します。

#	NAME	FUNCTION	VALUE	TIME
1	MEMORY1	MEMORY	1: MEMORY1	5sec
2	MACRO5	MACRO	5: MACRO5	8sec
3	INPUT 3	PGM TAKE	INPUT 3	5sec
4	MACRO3	MACRO	3: MACRO3	5sec

操作をコピーする

1. 「シーケンサーに記録する」(P.76) の手順 1 で、操作のリストを表示させる。
2. コピーしたい行にタッチする。
ポップアップ・メニューが表示されます。
3. < DUPLICATE > にタッチする。
リストの最後尾にコピーした操作が 1 行追加されます。

#	NAME	FUNCTION	VALUE	TIME
1	MEMORY1	MEMORY	1: MEMORY1	5sec
2	MACRO5	MACRO	5: MACRO5	8sec
3	INPUT 3	PGM TAKE	INPUT 3	5sec
4	MACRO3	MACRO	3: MACRO3	5sec
5	MACRO3	MACRO	3: MACRO3	5sec

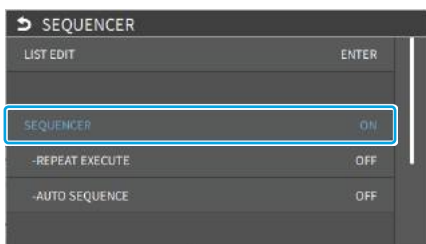
操作を削除する

1. 「シーケンサーに記録する」(P.76) の手順 1 で、操作のリストを表示させる。
2. 削除したい行にタッチする。
ポップアップ・メニューが表示されます。
3. < DELETE > にタッチする。
行が削除されます。

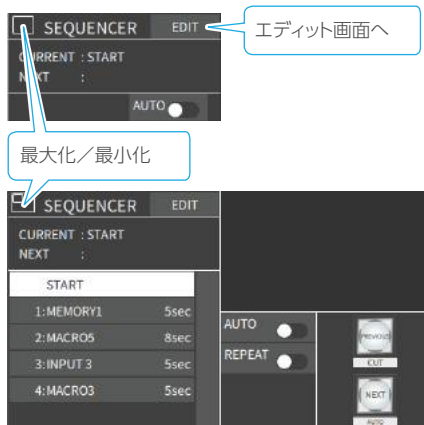
シーケンサーを実行する

ボタンを押して、シーケンサーに記録した操作を 1 つずつ実行します。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SEQUENCER] を選び、[VALUE] つまみを押す。
セットアップ画面が表示されます。
2. [VALUE] つまみで [SEQUENCER] を選び、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで [ON] を選ぶ。



4. [MENU] ボタンを押して、画面を閉じる。
シーケンサーの実行画面が表示されます。



5. [AUTO] (NEXT) ボタンを押す。



リストの先頭の操作が実行されます。

操作の実行中は、ボタンが点滅します。操作が終わると、点灯に変わります。

6. 次の操作を実行するタイミングで、[AUTO] (NEXT) ボタンを押す。

操作が実行されます。

[CUT] (PREVIOUS) ボタン

[CUT] ボタンを押すと、1 つ前の操作が完了した状態に戻すことができます。

メモ

画面内の< NEXT >、または< PREVIOUS >をタッチして操作することもできます。

7. 手順 6 を繰り返す。

8. シーケンサー機能をオフにするときは、もう一度手順 1 ～ 3 の操作で [SEQUENCER] を [OFF] にする。

メモ

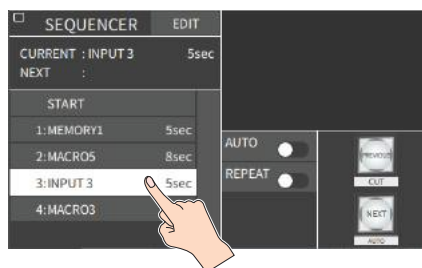
リストの操作を繰り返し実行する

リストの操作を繰り返し実行することができます。最後の操作が完了したときに [AUTO] ボタンを押すと、先頭の操作が実行されます。

[MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SEQUENCER] → [REPEAT EXECUTE] を [ON] に設定します。

リストの途中から操作を実行する

リストから目的の操作の行を直接タッチすると、その行の操作が完了した状態になります。[AUTO] ボタンを押すと、そこから次の操作を実行することができます。



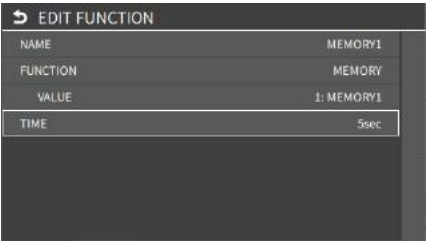
自動的にシーケンサーを実行する（オート・シーケンス）

シーケンサーに記録した操作を自動的に実行させることができます（オート・シーケンス機能）。

オート・シーケンスの設定をする

次の操作に移るとききの動作を操作ごとに設定します。一定の時間を空けてから次の操作を実行させたり、操作の実行を一時停止させたりすることができます。

1. 「シーケンサーに記録する」(P.76) の手順 1 で、操作のリストを表示させる。
2. 編集したい行にタッチする。
ポップアップ・メニューが表示されます。
3. < EDIT FUNCTION > にタッチする。
シーケンサーに記録する操作の編集画面が表示されます。



4. < TIME > にタッチして、次の操作に移るとききの動作を選ぶ。

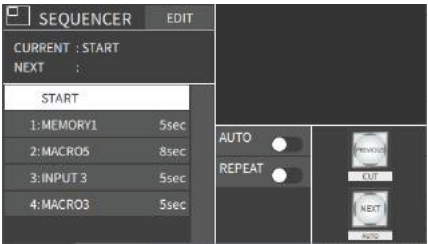
設定値	説明
PAUSE	オート・シーケンスを一時停止します。
AUTO	続けて次の操作を実行します。
1 ~ 120sec	指定した時間を空けて、次の操作を実行します。

5. 手順 2 ~ 4 を繰り返す。
6. [EXIT] ボタンを押して、画面を閉じる。

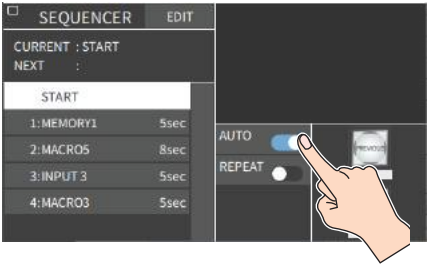
オート・シーケンスを実行する

1. 「シーケンサーを実行する」(P.78) の手順 1 ~ 3 の操作で、シーケンサーを「ON」にする。

シーケンサーに記録した操作のリストが表示されます。



2. < AUTO > にタッチして、オート・シーケンスを「ON」にする。



リストの先頭から自動的に操作が実行されます。
最後の操作が完了すると、自動的に停止します。

「PAUSE」に設定されている操作の場合

操作が完了するとオート・シーケンスが一時停止します。[AUTO] (NEXT) ボタンを押すと、手動で次の操作を実行することができます。

※ 「PAUSE」以外に設定された操作を実行すると、オート・シーケンスが再開します。

3. オート・シーケンスをオフにするときは、もう一度 < AUTO > にタッチする。
4. シーケンサー機能をオフにするときは、「シーケンサーを実行する」(P.78) の手順 1 ~ 3 の操作で「SEQUENCER」を「OFF」にする。

メモ

リストの操作を繰り返し実行することができます。最後の操作が完了すると、先頭に戻ります。

[MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SEQUENCER] → [REPEAT EXECUTE] を「ON」に設定します。

シーケンサーの設定を保存する／呼び出す

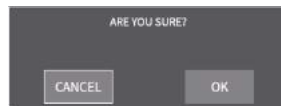
VR-6HD に接続したストレージ（SD カードや USB メモリー）に、シーケンサーの設定を 1 つのファイル（.RSQ）にして保存することができます。保存したシーケンス・ファイルは、必要なときにストレージから本体に呼び出して使うことができます。

注意

- SD カードや USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-6HD でフォーマットしてください（P.13）。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードや USB メモリーを抜いたりしないでください。
- SD カードや USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。
- シーケンス・ファイルは「Roland/VR-6HD/sequencer」フォルダーに保存されます。

7. ファイル名の入力が終わったら、[VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

8. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。
ストレージにシーケンス・ファイル（.RSQ）が保存されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

9. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

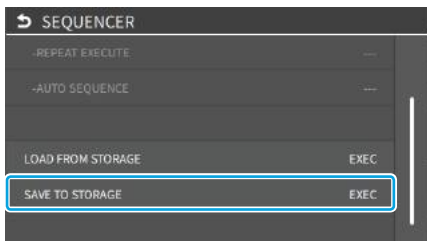
新規保存する

1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

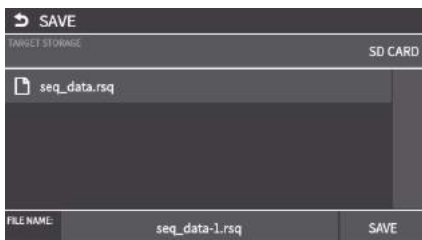
2. [MENU] ボタン → 「MEMORY/MACRO/SEQ」 → 「SEQUENCER」を選び、[VALUE] つまみを押す。

セットアップ画面が表示されます。



3. [VALUE] つまみで「SAVE TO STORAGE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージ内のシーケンス・ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「TARGET STORAGE」で、書き出し先のストレージを切り替えることができます。

4. 「FILE NAME」を選び、[VALUE] つまみを押す。

入力用のソフトウェア・キーボードが表示されます。

5. ファイル名を入力する。

※ 入力できる文字数は、32 文字までです。

6. ソフトウェア・キーボードの「Enter」にタッチする。

上書き保存する

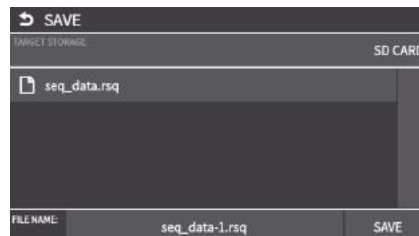
1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → 「MEMORY/MACRO/SEQ」 → 「SEQUENCER」を選び、[VALUE] つまみを押す。

セットアップ画面が表示されます。

3. [VALUE] つまみで「SAVE TO STORAGE」を選び、[VALUE] つまみを押す。



※ 画面上の「TARGET STORAGE」で、書き出し先のストレージを切り替えることができます。

4. 上書きしたいシーケンス・ファイルにタッチする。

ファイル・ネーム欄のファイル名が引き継がれます。

5. [VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

6. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。
シーケンス・ファイルが上書き保存されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

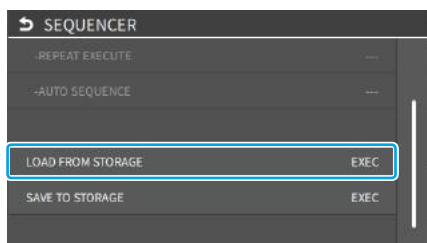
7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

呼び出す

ストレージに保存されているシーケンサーの設定を呼び出します。設定を呼び出すと、現在のシーケンサーの設定は上書きされます。

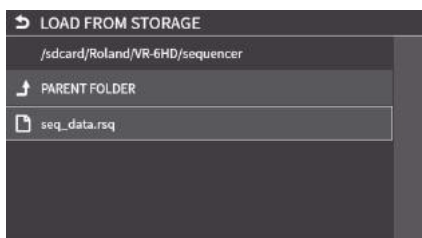
1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SEQUENCER] を選び、[VALUE] つまみを押す。

セットアップ画面が表示されます。



2. [VALUE] つまみで [LOAD FROM STORAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージ内のシーケンス・ファイルが一覧表示されます。

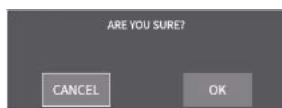


※ 画面上の「SD CARD」「USB MEMORY」を選ぶことで、読み込み元のストレージを切り替えることができます。



3. 呼び出したいシーケンス・ファイルにタッチする。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

4. [VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。

シーケンサーの設定が呼び出されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

シーケンサーを初期化する

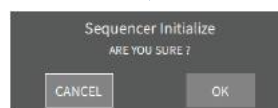
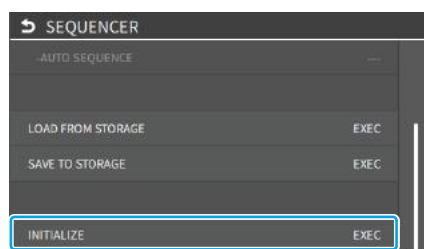
シーケンサーを初期化して、すべての設定内容を消去します。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY/MACRO/SEQ] → [SEQUENCER] を選び、[VALUE] つまみを押す。

セットアップ画面が表示されます。

2. [VALUE] つまみで [INITIALIZE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

3. [VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押す。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

シーケンサーのデモ・データについて

変更または消去されたデモ・データは、ファクトリー・リセットを実行すると (P.94)、工場出荷時の設定に復元されます。

本体の設定をバックアップ／リストアする

VR-6HD に接続したストレージ（SD カードや USB メモリー）に、本体の設定を 1 つのファイル（.VR6）にしてバックアップすることができます。バックアップした設定ファイルは、必要なときにストレージから本体にリストア（復元）して使うことができます。

注意

- SD カードや USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-6HD でフォーマットしてください（P.13）。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードや USB メモリーを抜いたりしないでください。
- SD カードや USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。
- バックアップ・ファイルは「Roland/VR-6HD/backup」フォルダーに保存されます。

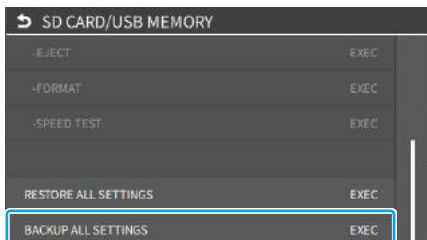
バックアップする

新規保存する

1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → 「SD CARD/USB MEMORY」 → 「BACKUP ALL SETTINGS」を選び、[VALUE] つまみを押す。



ストレージ内のバックアップ・ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「TARGET STORAGE」で、書き出し先のストレージを切り替えることができます。

3. 「FILE NAME」を選び、[VALUE] つまみを押す。

入力用のソフトウェア・キーボードが表示されます。

4. ファイル名を入力する。

※ 入力できる文字数は、32 文字までです。

5. ソフトウェア・キーボードの「Enter」にタッチする。

6. [VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

7. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ストレージにバックアップ・ファイル（.VR6）がバックアップされます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

8. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

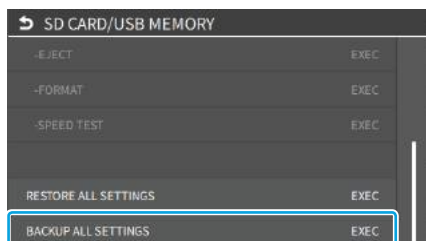
SYSTEM メニューの「TEST PATTERN」や「TEST TONE」など、一部の設定はファイルに保存されません。

上書き保存する

1. SDXC カード・スロットに、SD カードを差し込む。

※ USB メモリーの場合は、USB HOST 端子に USB メモリーを接続します。

2. [MENU] ボタン → 「SD CARD/USB MEMORY」 → 「BACKUP ALL SETTINGS」 を選び、[VALUE] つまみを押す。



ストレージ内のバックアップ・ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「TARGET STORAGE」で、書き出し先のストレージを切り替えることができます。

3. 上書きしたいバックアップ・ファイルにタッチする。

ファイル・ネーム欄のファイル名が引き継がれます。

4. [VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

5. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

設定ファイルが上書き保存されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

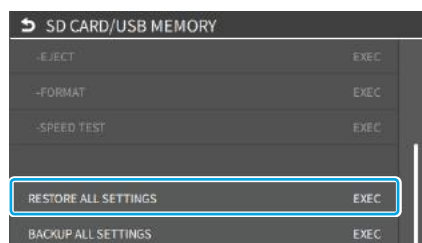
メモ

SYSTEM メニューの「TEST PATTERN」や「TEST TONE」など、一部の設定はファイルに保存されません。

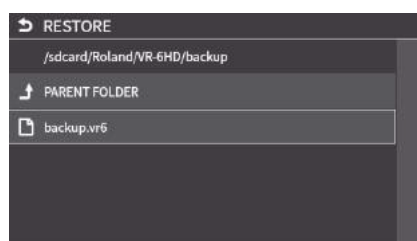
リストア（復元）する

ストレージに保存されている本体の設定をリストア（復元）します。リストアすると、現在の設定は上書きされます。

1. [MENU] ボタン → 「SD CARD/USB MEMORY」 → 「RESTORE ALL SETTINGS」 を選び、[VALUE] つまみを押す。



ストレージ内のバックアップ・ファイルが一覧表示されます。



※ 画面上の「SD CARD」「USB MEMORY」を選ぶことで、読み込み元のストレージを切り替えることができます。



2. リストアしたい設定ファイルにタッチする。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

3. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

設定がリストアされます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

ダッシュボードを使う

VR-6HD ではマルチビューの領域に時計や配信の状態など、お好みの情報を表示することができます。ダッシュボードは本体ディスプレイと VIDEO OUT の映像でそれぞれ別の内容を表示することができます。また本体ディスプレイ側には、タッチパネル操作可能な USER ボタンを割り当てることができます。

ダッシュボードに情報を表示させる

本体ディスプレイに表示

1. [MENU] ボタン → 「DASHBOARD」を選び、[VALUE] つまみを押す。
2. ページ切り替えエリアの矢印にタッチして、ページ 1 を表示させる。
3. [VALUE] つまみで LCD ASSIGN A または LCD ASSIGN B を選び、[VALUE] つまみを押す。
4. [VALUE] つまみで割り当てたい機能を選び、[VALUE] つまみを押す。

選んだ機能が本体ディスプレイの、マルチビューに表示されます。

設定値	説明
N/A	機能を割り当てません。
CLOCK	時計を表示します。
STREAM STATUS 1	配信／録画の状態を表示します。タッチすると配信／録画を開始／停止することができます。
STREAM STATUS 2	配信／録画の状態を表示します。
USER BUTTON 1/2	任意の機能を割り当てられる、USER ボタン 1 / 2 を表示します。
USER BUTTON 3/4	任意の機能を割り当てられる、USER ボタン 3 / 4 を表示します。

VIDEO OUT に表示

1. [MENU] ボタン → 「DASHBOARD」を選び、[VALUE] つまみを押す。
2. ページ切り替えエリアの矢印にタッチして、ページ 2 を表示させる。
3. [VALUE] つまみで VIDEO OUT ASSIGN A または VIDEO OUT ASSIGN B を選び、[VALUE] つまみを押す。
4. [VALUE] つまみで割り当てたい機能を選び、[VALUE] つまみを押す。

選んだ機能が VIDEO OUT の、マルチビューに表示されます。

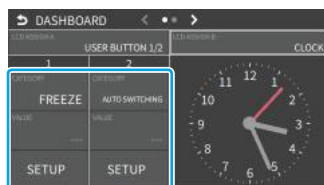
設定値	説明
N/A	機能を割り当てません。
CLOCK	時計を表示します。
STREAM STATUS 1	配信／録画の状態を表示します。
STREAM STATUS 2	配信／録画の状態を表示します。

ダッシュボードの USER ボタンに機能を割り当てる

ダッシュボードの本体ディスプレイの設定で USER BUTTON1/2 または 3/4 を割り当てると、本体ディスプレイ上に表示される USER ボタンに任意の機能を割り当てることができます。

本体ディスプレイ上の USER ボタンを押すと、割り当てた機能が実行されます。

1. 「ダッシュボードに情報を表示させる」(P.84) に従って、ダッシュボードに USER ボタンを表示させる。
2. 割り当てを変えたい USER ボタンの「CATEGORY」[VALUE] にタッチして、機能を選ぶ。



● CATEGORY

設定値	説明
N/A	機能を割り当てません。
FREEZE	フリーズ機能をオン／オフします。
AUTO SWITCHING	オート・スイッチング機能をオン／オフします。
INPUT ASSIGN	ボタンを押すたびに、指定したクロスポイント・ボタンに割り当てる映像ソースを [VIDEO OUT 1 → 6] → [STILL 1 → 16] の順に切り替えます。
STILL OUTPUT	通常の出力を一時的に止めて、静止画をカットでプレビュー／最終出力します。
VIDEO PLAYER OUTPUT	通常の出力を一時的に止めて、ビデオ・プレーヤーの映像をカットでプレビュー／最終出力します。
LOAD MEMORY	シーン・メモリーを呼び出します。
INPUT SCAN	ボタンを押すたびに、INPUT 1 ～ 6 の映像を順番に切り替えます。
MEMORY SCAN	ボタンを押すたびに、シーン・メモリー 1 ～ 32 を順番に呼び出します。
PinP & KEY 1 ～ 2 SCAN	ボタンを押すたびに、PinP & KEY 1 ～ 2 の子画面の映像を順番に切り替えます。
DSK SCAN	ボタンを押すたびに、DSK のテロップの映像を順番に切り替えます。
EXTERNAL REC CONTROL	REC コントロール機能対応のレコーダーを接続しているとき、レコーダーの録画開始／停止をコントロールします (P.85)。
MACRO EXECUTE	マクロ (記録した一連の操作) を実行します。
SEQUENCER	シーケンサーの実行画面を表示します。
STREAM/RECORD	配信関連の機能を割り当てます。
VIDEO PLAYER	ビデオ・プレーヤー関連の機能を割り当てます。
GPO (ONE SHOT)	制御信号を 0.5 秒間出力します。
GPO (ALTERNATE)	ボタンを押すたびに、制御信号の出力をオン／オフします。
CAMERA CONTROL	カメラ・コントロール機能をオン／オフします。
SYSTEM	システム関連の機能を割り当てます。

● VALUE

「CATEGORY」に関連する詳細な設定をします。

VR-6HD から外部レコーダーの録画開始／停止をコントロールする

REC コントロール機能対応のレコーダーを接続することで、VR-6HD からレコーダーの録画開始／停止をコントロールすることができます（外部 REC コントロール機能）。

REC コントロール機能に対応したレコーダーについては、ローランドのホームページをご覧ください。

<https://proav.roland.com/jp/>

注意

ダッシュボードの USER ボタンの点灯／消灯は、VR-6HD の状態を示すもので、レコーダーの状態とは連動していません。

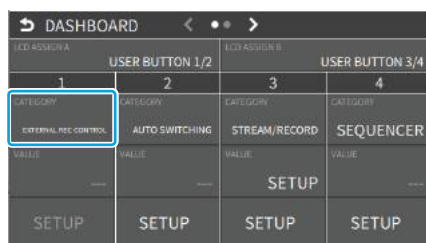
たとえば、USER ボタンが点灯中に、何らかの原因でレコーダーの録画が停止しても、USER ボタンが連動して消灯することはありません。

設定

USER ボタンの割り当て

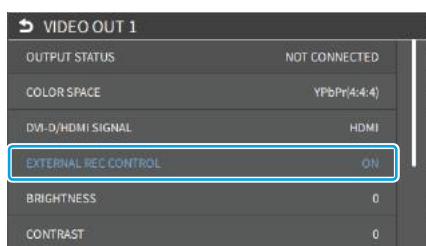
外部 REC コントロール機能を使うには、ダッシュボードの USER ボタンにレコーダーの録画開始／停止の機能を割り当てる必要があります。

1. 「ダッシュボードを使う」(P.84) に従って、ダッシュボードの任意の USER ボタンの機能を「EXTERNAL REC CONTROL」にする。



外部 REC コントロール機能のオン／オフ

2. [MENU] ボタン → [VIDEO] → [OUTPUT] → [VIDEO OUT 1 ～ 3] → [EXTERNAL REC CONTROL] を「ON」に設定する。



操作

1. 録画開始／停止の機能を割り当てたダッシュボード上の USER ボタンにタッチする。

タッチするたびに、レコーダーの録画開始／停止が切り替わります。



※ USER ボタン 1 に割り当てた例です。

PTZ カメラをリモート・コントロールする

DIRECT STREAM 端子を介して最大 6 台までカメラを接続し、VR-6HD からリモート・コントロールします。

JVC、Panasonic、Canon、PTZOptics、Avonic 製のカメラや VISCA over IP 対応カメラ（Sony など）を操作できます。

※ お使いのカメラの取扱説明書も併せてご覧ください。

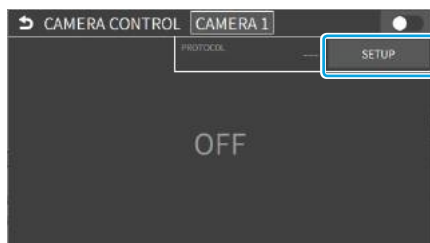
カメラのネットワーク設定をする

VR-6HD からカメラを操作するために、カメラのネットワーク設定をします。最大 6 台までのカメラを登録することができます。

1. 「ダッシュボードを使う」（P.84）に従って、ダッシュボードの任意の USER ボタンの機能を「CAMERA CONTROL」にする。

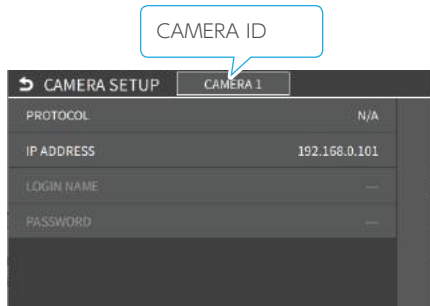
カメラのネットワーク設定

2. [MENU] ボタン → [REMOTE] → [CAMERA CONTROL] を選び、[VALUE] つまみを押す。



カメラ・コントロール画面が表示されます。

3. <SETUP> にタッチする。



セットアップ画面が表示されます。

4. 画面にタッチして、カメラのネットワークの設定をする。

メニュー項目	説明
CAMERA ID	操作対象のカメラを選びます。
PROTOCOL	カメラのプロトコルを設定します。
IP ADDRESS	カメラの IP アドレスを入力します。
LOGIN NAME	[PROTOCOL] が「JVC」のとき タッチするとソフトウェア・キーボードが表示されるので、カメラと接続するために必要なログイン名を入力します。
PASSWORD	[PROTOCOL] が「JVC」のとき タッチするとソフトウェア・キーボードが表示されるので、カメラと接続するために必要なパスワードを入力します。

5. [EXIT] ボタンを押して、セットアップ画面を閉じる。

カメラの設定をプリセットに登録する

カメラの位置やフォーカス設定などを、プリセットとして最大 6 個まで登録することができます。

登録したプリセットは、必要なときに呼び出すことができます。

※ プリセットは、カメラ本体に保存されます。

1. 「カメラのネットワーク設定をする」（P.86）の手順 2 で、カメラ・コントロール画面を表示させる。
2. 画面にタッチして、カメラの設定を操作する。



メニュー項目	説明
POSITIONER	水平／垂直方向の位置を調節します。 画面をドラッグしてカメラを操作します。
SPEED	カメラの向きを変えるとき速度を調節します。
PROTOCOL	カメラのプロトコルを設定します。
ZOOM	ズーム位置を調節します。（*1）
FOCUS	焦点を調節します。（*1）
AUTO FOCUS	「ON」に設定すると、焦点を自動的に合わせます。
EXPOSURE	露出モードを設定します。
TALLY CH	カメラの映像が入力されている端子を指定します。 VR-6HD からカメラの映像が最終出力されると、カメラのタリー・ランプが点灯します。

（*1）画面をタッチしている間、カメラを操作することができます。

3. ページ切り替えエリアの矢印にタッチして、ページ 2 を表示させる。
4. <STORE> にタッチする。
5. 登録先のプリセット番号（CAMERA PRESET 1 ～ 6）エリアにタッチする。



確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

6. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。
カメラの設定がプリセットに登録されます。
7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

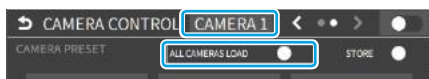
プリセットを呼び出す

カメラに登録したプリセットを呼び出します。複数のカメラから同時にプリセットを呼び出すこともできます。

1. 「カメラの設定をプリセットに登録する」(P.86) の手順 3 で、カメラ・コントロール画面を表示させる。

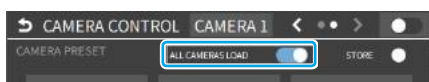
1 台のカメラから呼び出すとき

メニュー項目	説明
CAMERA ID	プリセットを呼び出したいカメラを選びます。
ALL CAMERAS LOAD	「OFF」 に設定します。

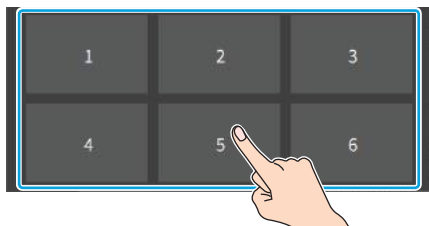


すべてのカメラから呼び出すとき

メニュー項目	説明
ALL CAMERAS LOAD	「ON」 に設定します。



2. 呼び出したいプリセット番号 (CAMERA PRESET 1 ~ 6) エリアにタッチする。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

3. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。
カメラから設定が呼び出されます。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

ボタン操作で呼び出す

ダッシュボードの USER ボタンにカメラ・コントロール機能を割り当てると、ボタン操作でプリセットを呼び出すことができます。

カメラ・コントロール機能を使うには、ダッシュボードの USER ボタンにカメラ・コントロール機能を割り当てる必要があります。

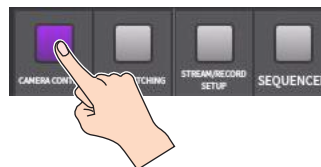
USER ボタンの割り当て

1. 「ダッシュボードを使う」(P.84) に従って、任意の USER ボタンの機能を「CAMERA CONTROL」にする。

DASHBOARD			
USER BUTTON 1/2	USER BUTTON 3/4		
1	2	3	4
CATEGORY CAMERA CONTROL	CATEGORY AUTO SWITCHING	CATEGORY STREAM/RECORD	CATEGORY SEQUENCER
VALUE	VALUE	VALUE SETUP	VALUE
SETUP	SETUP	SETUP	SETUP

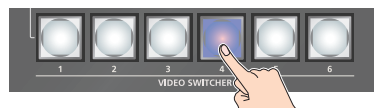
プリセットの呼び出し

2. カメラ・コントロール画面で「ALL CAMERAS LOAD」を「ON」(すべてのカメラ) または「OFF」(1 台のカメラ) に設定する。
3. カメラ・コントロール機能を割り当てた USER ボタンを押して、カメラ・コントロール機能をオンにする。



※ USER ボタン 1 に割り当てた例です。

4. [VALUE] つまみで「CAMERA ID」を変更し、プリセットを呼び出したいカメラ (1 ~ 6) を選ぶ。
5. 設定を呼び出したいプリセット番号の VIDEO SWITCHER ボタンを押す。



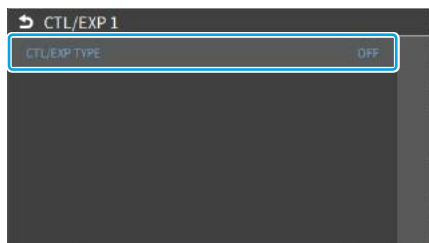
カメラから設定が呼び出されます。

6. カメラ・コントロール機能をオフにするときは、もう一度ダッシュボードの USER ボタンを押す。

フットスイッチを使う

CTL/EXP 1、2 端子に接続したフットスイッチを使って、VR-6HD を足元でコントロールします。フットスイッチには、さまざまな機能を割り当てることができます。

1. [MENU] ボタン → [REMOTE] → [CTL/EXP] → [CTL/EXP 1] または [CTL/EXP 2] → [CTL/EXP TYPE] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで接続機器を「CTL A & CTL B」（フットスイッチ）に設定し、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで CTL A または CTL B [CATEGORY] [VALUE] を選び、[VALUE] つまみを押す。
4. [VALUE] つまみでフットスイッチの CTL A または CTL B に割り当てる機能を選び、[VALUE] つまみを押す。

● CATEGORY

設定値	説明
N/A	機能を割り当てません。
PGM CH SELECT	PGM バスに送る映像を切り替えます。
PST CH SELECT	PST バスに送る映像を切り替えます。
AUX CH SELECT	AUX バスに送る映像を切り替えます。
INPUT 1 ～ 6 ASSIGN	INPUT 1 ～ 6 に割り当てる映像を変更します。
STILL OUTPUT	通常の出力を一時的に止めて、静止画をカットでプレビュー／最終出力します。
VIDEO PLAYER OUTPUT	通常の出力を一時的に止めて、ビデオ・プレーヤーの映像をカットでプレビュー／最終出力します。
PinP & KEY 1 ～ 2 SOURCE	子画面の映像ソースを切り替えます。
DSK SOURCE	DSK の映像ソースを切り替えます。
BUTTON CONTROL	[VALUE] で選んだボタンを押したときと同じ動作をします。
AUDIO INPUT MUTE	入力音声のミュート機能をオン／オフします。
AUDIO OUTPUT MUTE	出力音声のミュート機能をオン／オフします。
AUDIO INPUT SOLO	入力音声のソロ機能をオン／オフします。
AUDIO OUTPUT SOLO	出力音声のソロ機能をオン／オフします。
VOICE CHANGER	ボイス・チェンジャーをオン／オフします。
AUTO MIXING	オート・ミキシング機能をオン／オフします。
REVERB (MOMENTARY)	フットスイッチを踏んでいる間だけ、リバーブをオンにします。
REVERB (ALTERNATE)	リバーブをオン／オフします。
OUTPUT FADE	最終出力映像をフェード・イン／アウトします。
LOAD MEMORY	シーン・メモリーを呼び出します。
INPUT SCAN	フットスイッチを踏むたびに、INPUT 1 ～ 6 の映像を順番に切り替えます。
SCENE MEMORY SCAN	フットスイッチを踏むたびに、シーン・メモリー 1 ～ 32 を順番に呼び出します。
PinP & KEY 1 ～ 2 SCAN	フットスイッチを踏むたびに、PinP & KEY 1 ～ 2 の子画面の映像を順番に切り替えます。
DSK SCAN	フットスイッチを踏むたびに、DSK のテロップの映像を順番に切り替えます。
MACRO EXECUTE	マクロ（記録した一連の操作）を実行します。

設定値	説明
SEQUENCER	シーケンサー機能がオンのとき、[VALUE] で選んだボタンを押したときと同じ動作をします。
GPO (ONE SHOT)	制御信号を 0.5 秒間出力します。
GPO (ALTERNATE)	フットスイッチを踏むたびに、制御信号の出力をオン／オフします。

● VALUE

[CATEGORY] に関連する詳細な設定をします。

5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

- 接続については、「フットスイッチの接続」（P.9）をご覧ください。
- BOSS FS-5U などシングル・ペダル・タイプのフットスイッチを標準ケーブル（モノ）で接続した場合は、「CTL B」で割り当てた機能が有効になります。

エクスプレッション・ペダルを使う

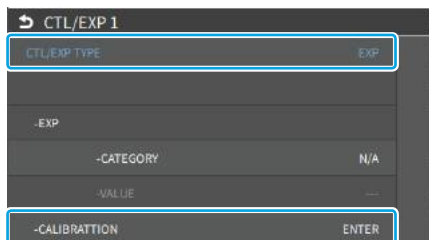
CTL/EXP 1、2 端子に接続したエクスプレッション・ペダルを使って、VR-6HD を足元でコントロールします。

ペダルを調節する (ペダル・キャリブレーション)

エクスプレッション・ペダルを初めてお使いになるときは、ペダルを最適な状態にするために、必ずペダルのキャリブレーション（調節）を実行してください。

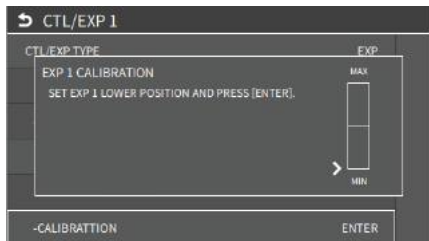
また、エクスプレッション・ペダルは、経年変化や使用環境によって、最適な動作をしなくなる場合があります。「ペダルを軽く踏んだだけで、音量が大きく変化する」、「ペダルを踏んでも映像が切り替わらない」などの症状が現れたときにも、キャリブレーションを実行してください。

1. [MENU] ボタン → [REMOTE] → [CTL/EXP] → [CTL/EXP 1] または [CTL/EXP 2] → [CTL/EXP TYPE] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで、接続機器を「EXP」（エクスプレッション・ペダル）に設定し、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで「EXP CALIBRATION」を選び、[VALUE] つまみを押す。

EXP CALIBRATION 画面が表示されます。



4. 画面に表示される指示に従い、ペダルをかかと側いっぱい踏み込んで [VALUE] つまみを押す。
5. 画面に表示される指示に従い、ペダルをつま先側いっぱいに踏み込んで [VALUE] つまみを押す。
「COMPLETED」と表示されたら、キャリブレーションの完了です。
6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

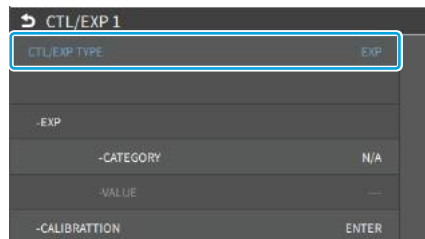
メモ

通常 EV-5 のミニマム・ボリュームつまみは、ゼロに合わせてお使いください。ミニマム・ボリュームつまみの位置を変更したときは、必ずキャリブレーションを実行してください。

ペダルに機能を割り当てる

エクスプレッション・ペダルには、さまざまな機能を割り当てるができます。

1. [MENU] ボタン → [REMOTE] → [CTL/EXP] → [CTL/EXP 1] または [CTL/EXP 2] → [CTL/EXP TYPE] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで、接続機器を「EXP」（エクスプレッション・ペダル）に設定し、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで、EXP [CATEGORY] を選び、[VALUE] つまみを押す。
4. [VALUE] つまみでエクスプレッション・ペダルに割り当てる機能を選び、[VALUE] つまみを押す。

● CATEGORY

設定値	説明
N/A	機能を割り当てません。
VIDEO FADER	FADE : ビデオ・フェーダーを操作します。 CUT : 最終出力映像とプレビュー映像をカットで切り替えます。
STILL OUTPUT	通常の出力を一時的に止めて、静止画をカットでプレビュー／最終出力します。
VIDEO PLAYER OUTPUT	通常の出力を一時的に止めて、ビデオ・プレーヤーの映像をカットでプレビュー／最終出力します。
AUDIO INPUT LEVEL	入力音量を調節します。
AUDIO OUTPUT LEVEL	出力音量を調節します。
VOICE CHANGER	普通の声 (0) とエフェクトをかけた声 (100) のバランスを調節します。
REVERB LEVEL	リバーブからの音声の戻り量 (リターン・レベル) を調節します。

● VALUE

「CATEGORY」に関連する詳細な設定をします。

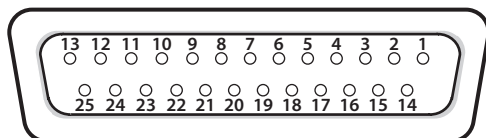
5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

TALLY/GPIO 端子を使った制御

TALLY/GPIO 端子に GPI による制御信号を入力して、外部機器から VR-6HD をリモート・コントロールすることができます。
また、TALLY/GPIO 端子からタリー信号や GPO による制御信号を出力することができます。

TALLY/GPIO 端子仕様

ピン配列図



25ピンD-sub タイプ (メス)

タリー出力

起動方式	オープン・コレクター
最大入力	12V/120mA

制御入力

起動方式	無電圧メイク接点
接点容量	DC 24V 0.1A 以上
入力方式	フォトカプラー方式

ピン・アサイン

ピン番号	ピン名称	機能 (初期値)
1	TALLY/GPO 1	PGM VIDEO IN 1
2	TALLY/GPO 2	PST VIDEO IN 1
3	TALLY/GPO 3	PGM VIDEO IN 2
4	TALLY/GPO 4	PST VIDEO IN 2
5	TALLY/GPO 5	PGM VIDEO IN 3
6	TALLY/GPO 6	PST VIDEO IN 3
7	TALLY/GPO 7	PGM VIDEO IN 4
8	TALLY/GPO 8	PST VIDEO IN 4
9	TALLY/GPO 9	PGM VIDEO IN 5
10	TALLY/GPO 10	PST VIDEO IN 5
11	TALLY/GPO 11	PGM VIDEO IN 6
12	TALLY/GPO 12	PST VIDEO IN 6
13	TALLY/GPO 13	GPO 1
14	TALLY/GPO 14	GPO 2
15	TALLY/GPO 15	GPO 3
16	TALLY/GPO 16	GPO 4
17	GND	
18	GPI 1	割り当てなし
19	GPI 2	割り当てなし
20	GPI 3	割り当てなし
21	GPI 4	割り当てなし
22	GPI 5	割り当てなし
23	GPI 6	割り当てなし
24	GPI 7	割り当てなし
25	GPI 8	割り当てなし

制御信号を入力する

外部から制御信号が入力されると、GPI 1 ～ 8 に割り当てられた機能を実行します。

1. [MENU] ボタン → [REMOTE] → [GPI] → GPI 1 ～ 8 [CATEGORY] または [VALUE] を選び、[VALUE] つまみを押す。
2. [VALUE] つまみで GPI 1 ～ 8 に割り当てる機能を選び、[VALUE] を押す。



● CATEGORY

設定値	説明
N/A	機能を割り当てません。
PGM CH SELECT	PGM バスに送る映像を切り替えます。
PST CH SELECT	PST バスに送る映像を切り替えます。
AUX CH SELECT	AUX バスに送る映像を切り替えます。
INPUT 1 ～ 6 ASSIGN	INPUT 1 ～ 6 に割り当てる映像を変更します。
STILL OUTPUT	通常の出力を一時的に止めて、静止画をカットでプレビュー／最終出力します。
VIDEO PLAYER OUTPUT	通常の出力を一時的に止めて、ビデオ・プレーヤーの映像をカットでプレビュー／最終出力します。
PinP & KEY 1 ～ 2 SOURCE	子画面の映像ソースを切り替えます。
DSK SOURCE	DSK の映像ソースを切り替えます。
BUTTON CONTROL	[VALUE] で選んだボタンを押したときと同じ動作をします。
AUDIO INPUT MUTE	入力音声のミュート機能をオン／オフします。
AUDIO OUTPUT MUTE	出力音声のミュート機能をオン／オフします。
AUDIO INPUT SOLO	入力音声のソロ機能をオン／オフします。
AUDIO OUTPUT SOLO	出力音声のソロ機能をオン／オフします。
VOICE CHANGER	ボイス・チェンジャーをオン／オフします。
AUTO MIXING	オート・ミキシング機能をオン／オフします。
REVERB (MOMENTARY)	制御信号が入力されている間だけ、リバーブをオンにします。
REVERB (ALTERNATE)	リバーブをオン／オフします。
OUTPUT FADE	最終出力映像をフェード・イン／アウトします。
LOAD MEMORY	シーン・メモリーを呼び出します。
INPUT SCAN	制御信号を入力するたびに、INPUT 1 ～ 6 の映像を順番に切り替えます。
SCENE MEMORY SCAN	制御信号を入力するたびに、シーン・メモリー 1 ～ 32 を順番に呼び出します。
PinP & KEY 1 ～ 2 SCAN	制御信号を入力するたびに、PinP & KEY 1 ～ 2 の子画面の映像を順番に切り替えます。
DSK SCAN	制御信号を入力するたびに、DSK のテロップの映像を順番に切り替えます。
MACRO EXECUTE	マクロ (記録した一連の操作) を実行します。
SEQUENCER	シーケンサー機能がオンのとき、[VALUE] で選んだボタンを押したときと同じ動作をします。
GPO (ONE SHOT)	制御信号を 0.5 秒間出力します。
GPO (ALTERNATE)	制御信号を入力するたびに、制御信号の出力をオン／オフします。

● VALUE

[CATEGORY] に関連する詳細な設定をします。

タリー信号を出力する

TALLY/GPIO 端子のコネクター・ピン 1 ～ 16 をタリー出力として使うことができます。VIDEO SWITCHER ボタンの選択に連動して、タリー信号がコネクター・ピンから出力されます。

1. [MENU] ボタン → [REMOTE] → [TALLY/GPO] → [TALLY/GPO 1] ～ [TALLY/GPO 16] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみでコネクター・ピンに割り当てるタリー信号を選び、[VALUE] つまみを押す。

設定値	説明
PGM VIDEO IN 1 ～ 6	最終出力が VIDEO IN 1 ～ 6 の映像
PGM STILL 1 ～ 16	最終出力が静止画 1 ～ 16
PGM VIDEO PLAYER	最終出力がビデオ・プレーヤーの映像
PGM INPUT 1 ～ 6	VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンで最終出力映像を選択
PST VIDEO IN 1 ～ 6	プレビュー出力が VIDEO IN 1 ～ 6 の映像
PST STILL 1 ～ 16	プレビュー出力が静止画 1 ～ 16
PST VIDEO PLAYER	プレビュー出力がビデオ・プレーヤーの映像
PST INPUT 1 ～ 6	VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンでプレビュー出力映像を選択

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

設定用テンプレートを使うと、コネクター・ピンの割り当てを一括で変更することができます。
TALLY/GPO メニューの「TEMPLATE」でテンプレートを選んで [VALUE] つまみを押すと、設定が反映されます。

制御信号を出力する

TALLY/GPIO 端子のコネクター・ピン 1 ～ 16 を GPO として使用して、制御信号を出力することができます。

GPO を割り当てる

TALLY/GPIO 端子の 1 ～ 16 番ピンに GPO (1 ～ 16) を割り当てると、制御信号を出力できるようになります。

1. [MENU] ボタン → [REMOTE] → [TALLY/GPO] → [TALLY/GPO 1] ～ [TALLY/GPO 16] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで「GPO 1」～「GPO 16」のいずれかを選び、[VALUE] つまみを押す。

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

設定用テンプレートを使うと、コネクター・ピンの割り当てを一括で変更することができます。
TALLY/GPO メニューの「TEMPLATE」でテンプレートを選んで [VALUE] つまみを押すと、設定が反映されます。

制御信号を出力する

GPO 出力機能を割り当てた USER ボタンやフットスイッチなどを操作することで、制御信号を出力することができます。

ダッシュボードの USER ボタンを操作する

制御信号の出力中は、USER ボタンが点灯します。

➡ 「ダッシュボードを使う」 (P.84)

フットスイッチを操作する

➡ 「フットスイッチを使う」 (P.88)

外部から制御信号を入力する (GPI)

➡ 「制御信号を入力する」 (P.90)

スマート・タリーを使う

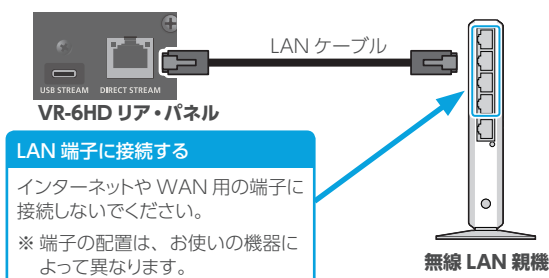
ローランド独自のスマート・タリー・システムは、VR-6HD に接続されたスマート・デバイスやパソコンをタリー・ボックスに変身させる機能です。無線 LAN アクセス・ポイントを使えば、スマート・デバイスやパソコンにタリーを表示することができます。

無線 LAN 親機を介して接続する

無線 LAN 親機を介して、Wi-Fi 対応のスマート・デバイスやパソコンを無線 LAN (Wi-Fi) で接続します。

※ 複数のスマート・デバイスやパソコンを接続すると、動作が遅くなる場合があります。

1. VR-6HD の DIRECT STREAM 端子と無線 LAN 親機の LAN 端子を LAN ケーブルで接続する。



2. 無線 LAN 親機の電源を入れ、スマート・デバイスやパソコンを無線 LAN (Wi-Fi) で接続する。

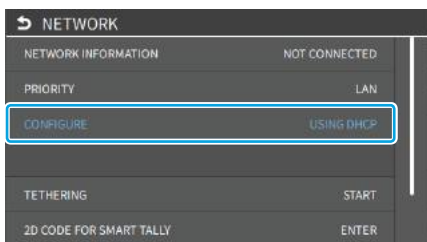
無線 LAN 親機の DHCP 機能を有効にしてください。

※ 無線 LAN (Wi-Fi) の接続方法については、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

3. VR-6HD の電源を入れる。

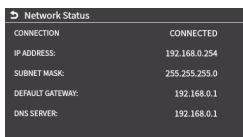
4. [MENU] ボタン → [NETWORK] → [CONFIGURE] を [USING DHCP] に設定し、[VALUE] つまみを押す。

IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイが自動取得されます。



5. [VALUE] つまみで [NETWORK INFORMATION] を選び、[VALUE] つまみを押す。

NETWORK INFORMATION 画面が表示されます。



「CONNECTION」が「CONNECTED」(接続) になっていたら、接続の設定は完了です。

メモ

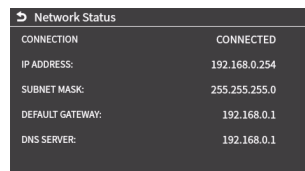
IP アドレスを固定すると、常に同じ IP アドレスでスマート・タリーを起動することができます。

固定 IP アドレスの設定方法については、お使いの無線 LAN 親機の取扱説明書をお読みください。

スマート・タリーを起動する

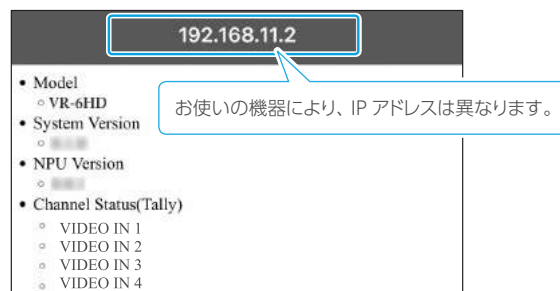
1. VR-6HD の [MENU] ボタン → [NETWORK] → [NETWORK INFORMATION] を選び、[VALUE] つまみを押す。

NETWORK INFORMATION 画面が表示されます。



2. スマート・デバイスやパソコンでブラウザを起動する。
3. ブラウザーの URL 入力欄に、NETWORK INFORMATION 画面に表示されている IP アドレスを入力して、Web サイトへアクセスする。

スマート・タリーの設定画面が表示されます。



※ QR コードから Web サイトにアクセスすることもできます。手順 1 の画面で「2D CODE FOR SMART TALLY」を押すと、QR コードが表示されます。

4. 「Channel Status(Tally)」で、スマート・デバイスやパソコンに割り当てる映像ソースを選ぶ。

タリー情報を表示する画面に切り替わります。

VR-6HD から出力される映像ソースに応じて、タリー情報が表示されます。



赤: PGM



緑: PST



グレー: 未選択

注意

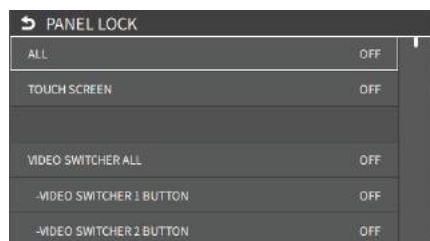
- ネットワーク環境によっては、無線 LAN (Wi-Fi) の通信速度や接続が不安定になり、タリー情報が正しく表示されない場合があります。その場合は、ページを再読み込みしてください。
- お使いのブラウザのバージョンによっては、タリー情報が正しく表示されない場合があります。できる限りブラウザを最新のバージョンにして、お使いください。

誤操作を防止する（パネル・ロック）

操作パネルのボタンやつまみの操作を禁止して、誤操作を防ぐことができます（パネル・ロック機能）。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [PANEL LOCK] を選び、[VALUE] つまみを押す。

PANEL LOCK メニューが表示されます。



2. [VALUE] つまみでパネル・ロックの対象を選び、[VALUE] つまみを押す。

メニュー項目	説明
ALL	すべての設定を一括でオン／オフします。
TOUCH SCREEN	タッチパネルの操作
VIDEO SWITCHER ALL	VIDEO SWITCHER セクションにあるボタン
VIDEO SWITCHER 1 ～ 6 BUTTON	VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタン
CUT BUTTON	[CUT] ボタン
AUTO BUTTON	[AUTO] ボタン
MODE ALL	MODE セクションにあるボタン
INPUT SELECT BUTTON	[INPUT SELECT] ボタン
AUX BUTTON	[AUX] ボタン
SCENE MEMORY BUTTON	[SCENE MEMORY] ボタン
MACRO BUTTON	[MACRO] ボタン
TRANSITION ALL	TRANSITION セクションにあるボタン
MIX BUTTON	[MIX] ボタン
WIPE BUTTON	[WIPE] ボタン
SPLIT BUTTON	[SPLIT] ボタン
PinP & KEY 1 ～ 2 ALL	PinP & KEY 1 ～ 2 セクションにあるボタン
PVW BUTTON	PinP & KEY 1 ～ 2 [PVW] ボタン
PGM BUTTON	PinP & KEY 1 ～ 2 [PGM] ボタン
POSITION H KNOB	[POSITION H] つまみ
POSITION V KNOB	[POSITION V] つまみ
DSK ALL	DSK セクションにあるボタン
PVW BUTTON	DSK [PVW] ボタン
PGM BUTTON	DSK [PGM] ボタン
MONITOR BUTTON	[MONITOR] ボタン
PANEL SETUP BUTTON	PANEL [SETUP] ボタン
OUTPUT FADE BUTTON	[OUTPUT FADE] ボタン
AUDIO MIXER 1 ～ 7/8 ALL	AUDIO INPUT セクションにあるボタン、つまみ
SETUP BUTTON	SETUP [1] ～ [7/8] ボタン
SOLO BUTTON	SOLO [1] ～ [7/8] ボタン
MUTE BUTTON	MUTE [1] ～ [7/8] ボタン
LEVEL FADER	LEVEL [1] ～ [7/8] フェーダー

メニュー項目	説明
MAIN ALL	AUDIO OUTPUT セクションにあるボタン、つまみ
SETUP BUTTON	MAIN [SETUP] ボタン
MUTE BUTTON	MAIN [MUTE] ボタン
LEVEL FADER	MAIN [LEVEL] フェーダー
AUX 1 KNOB	[AUX 1] つまみ
AUX 2 KNOB	[AUX 2] つまみ
USB STREAM KNOB	[USB STREAM] つまみ
STREAM/RECORD KNOB	[STREAM/RECORD] つまみ
AUDIO EFFECT ALL	AUDIO EFFECT セクションにあるボタン
SETUP BUTTON	AUDIO EFFECT [SETUP] ボタン
AUDIO EFFECT 1 ～ 3 BUTTON	AUDIO EFFECT [1] ～ [3] ボタン
AUDIO PLAYER ALL	AUDIO PLAYER セクションにあるボタン
SETUP BUTTON	AUDIO PLAYER [SETUP] ボタン
AUDIO PLAYER 1 ～ 6 PAD	AUDIO PLAYER [1] ～ [6] パッド
AUDIO PLAYER LEVEL KNOB	AUDIO PLAYER [LEVEL] つまみ

3. [VALUE] つまみでパネル・ロックの有効（ON）／無効（OFF）を設定し、[VALUE] つまみを押す。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メモ

ロックされたボタンやつまみなどを操作すると、[MENU] ボタンが点滅します。

設定を工場出荷時の状態に戻す（ファクトリー・リセット）

VR-6HD で設定した内容を工場出荷時の状態に戻します。

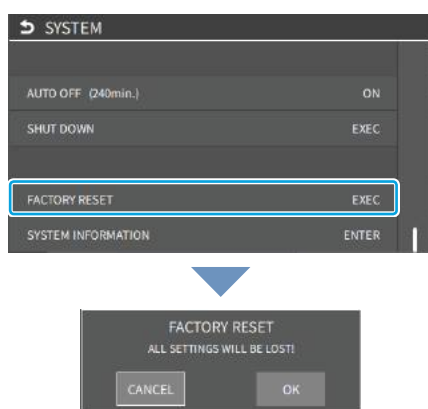
手順どおりに操作をしても、取扱説明書に記載されている内容と違う動作をするときは、ファクトリー・リセットを実行してみてください。

注意

- ファクトリー・リセットを実行すると、それまでに設定した内容や VR-6HD に保存されているデータ（シーン・メモリー、マクロ、シーケンサー、静止画）は、すべて失われます。
- 「PROCESSING...」というメッセージが表示されている間は、電源を切らないでください。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [FACTORY RESET] を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

2. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ファクトリー・リセットが実行されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

VR-6HD のリモート・コントロール

VR-6HD のリモート・コントロールには、外部機器から制御信号を入力する方法 (P.90) の他に、専用アプリを使う方法と LAN/RS-232 コマンドを使う方法があります。

専用アプリ 「VR-6HD RCS」 「VR-6HD Remote」

専用アプリは、パソコン用に「VR-6HD RCS」、iPad 用に「VR-6HD Remote」が用意されています。

それぞれローランド・ホームページからダウンロードできます。

<https://proav.roland.com/jp/>

※ 詳しい操作方法については、「VR-6HD RCS」または「VR-6HD Remote」の取扱説明書をご覧ください。

VR-6HD RCS (Windows/Mac)

パソコンから専用アプリ「VR-6HD RCS」を使って、VR-6HD を操作することができます。

接続は有線、無線の両方に対応しています。

無線接続

- 無線 LAN 親機を介した接続 (Wi-Fi)

有線接続

- USB 接続 (USB Type-C ケーブル)
- LAN 接続 (LAN ケーブル)
- RS-232 接続 (RS-232 ケーブル)



VR-6HD Remote

iPad から専用アプリ「VR-6HD Remote」を使って、VR-6HD を操作することができます。

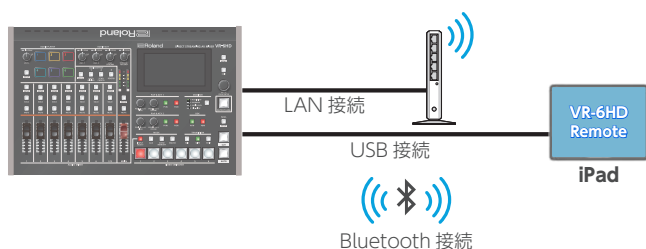
接続は有線、無線の両方に対応しています。

無線接続

- Bluetooth 接続
- 無線 LAN 親機を介した接続 (Wi-Fi)

有線接続

USB 接続 (USB Type-C ケーブル、Lightning-USB カメラアダプタ)



LAN/RS-232 コマンド

VR-6HD は、LAN と RS-232 の 2 つのリモート・インターフェース通信に対応しています。

DIRECT STREAM 端子や RS-232 端子を利用して、制御機器から VR-6HD に特定のコマンドを送信することで、VR-6HD を操作することができます。

各インターフェースの詳細や LAN/RS-232 コマンド一覧は、『リモート・コントロール・ガイド』(PDF) をご覧ください。

<https://proav.roland.com/jp/manuals/>

メモ

MIDI インプリメンテーション

VR-6HD は、MIDI リモート・コントロールに対応しています。

詳しくは、『リモート・コントロール・ガイド』(PDF) の「MIDI インプリメンテーション」をご覧ください。

1 : VIDEO

VIDEO INPUT

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
VIDEO IN 1 ～ 6		
INPUT STATUS	Enter	入力映像の情報（フォーマットやサイズなど）を表示します。
FLICKER FILTER	OFF 、ON	「ON」にすると、ちらつきを軽減します。
FLIP H	OFF 、ON	「ON」にすると、映像を左右反転させて入力します。
FLIP V	OFF 、ON	「ON」にすると、映像を上下反転させて入力します。
EDID (*1)	INTERNAL SVGA (800 x 600) XGA (1024 x 768) WXGA (1280 x 800) FWXGA (1366 x 768) SXGA (1280 x 1024) SXGA+ (1400 x 1050) UXGA (1600 x 1200) WUXGA (1920 x 1200) 720p, 1080i, 1080p	入力フォーマット（EDID）を設定します。 「INTERNAL」に設定すると、VR-6HDに入力できるすべてのフォーマットのEDID情報を送信します。 EDIDとは？ EDIDとは、VR-6HDをソース機器に接続したときに、VR-6HDからソース機器に送信されるデータです。EDIDには、VR-6HDに入力できるフォーマット（解像度、カラー・スペース、色深度）や音声情報などのデータが記録されています。 ソース機器は、受信したEDID情報を元にVR-6HDに最適な映像を出力します。
ZOOM	10.0 ～ 100.0 ～ 1000.0% (*2)	拡大／縮小率を設定します。
SCALING TYPE	スケーリング・タイプを設定します。	
	FULL	入力映像のアスペクト比に関係なく、常に全画面に拡大して表示します。
	LETTERBOX	アスペクト比を保持したまま、全画面が表示されるように、入力映像を拡大／縮小します。
	CROP	アスペクト比を保持したまま、出力映像に余白がないように、入力映像を拡大／縮小します。はみ出した映像は、カットされます。
	DOT BY DOT	スケーリングをしません。
	MANUAL	以下の「MANUAL SIZE H」と「MANUAL SIZE V」の設定に従って、スケーリングします。
MANUAL SIZE H (*3)	-2000 ～ 0 ～ 2000 (*2)	水平方向のサイズを調節します。
MANUAL SIZE V (*3)	-2000 ～ 0 ～ 2000 (*2)	垂直方向のサイズを調節します。
POSITION H	-1920 ～ 0 ～ 1920	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-1200 ～ 0 ～ 1200	垂直方向の位置を調節します。
BRIGHTNESS	-32 ～ 0 ～ 31	明るさを調節します。
CONTRAST	-32 ～ 0 ～ 31	コントラストを調節します。
SATURATION	-32 ～ 0 ～ 31	彩度を調節します。
RED	-64 ～ 0 ～ 63	赤レベルを調節します。
GREEN	-64 ～ 0 ～ 63	緑レベルを調節します。
BLUE	-64 ～ 0 ～ 63	青レベルを調節します。
VIDEO PLAYER		
FLIP H	OFF 、ON	「ON」にすると、映像を左右反転させて入力します。
FLIP V	OFF 、ON	「ON」にすると、映像を上下反転させて入力します。

(*1) 設定の変更は、[VALUE] つまみを押して確定するまで反映されません。

(*2) 入出力フォーマットなどの条件により、設定値の有効な範囲が変わります。

(*3) 「SCALING TYPE」が「MANUAL」のときに設定できます。

VIDEO INPUT ASSIGN

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
INPUT 1 ～ 6	VIDEO 1 ～ 6、STILL 1 ～ 16、 V.PLAYER、N/A 初期値は、以下のとおりです。 INPUT 1: VIDEO 1 INPUT 2: VIDEO 2 INPUT 3: VIDEO 3 INPUT 4: VIDEO 4 INPUT 5: VIDEO 5 INPUT 6: VIDEO 6	VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンに割り当てる映像ソース（入力映像、静止画）を設定します。

LAYER SETTINGS

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
PROGRAM		
PinP & KEY 1 ～ 2	DISABLE、 ENABLE	最終出力映像において、各レイヤーの表示（ENABLE）／非表示（DISABLE）を設定します。
DSK	DISABLE、 ENABLE	
SUB PROGRAM		
PinP & KEY 1 ～ 2	DISABLE、 ENABLE	SUB PROGRAM バスの映像において、各レイヤーの表示（ENABLE）／非表示（DISABLE）を設定します。
DSK	DISABLE、 ENABLE	
AUX		
PinP & KEY 1 ～ 2	OFF 、PGM SYNC、ON	AUX バスの映像において、各レイヤーの表示（ON）／PGM 連動（PGM SYNC）／非表示（OFF）を設定します。
DSK	OFF 、PGM SYNC、ON	

VIDEO OUTPUT ASSIGN

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
VIDEO OUT 1 ~ 3	VIDEO OUT 1 ~ 3 端子に割り当てる映像バスを設定します。	
	PROGRAM	最終出力映像。「VIDEO OUT 1」の初期値です。
	SUB PROGRAM	SUB PROGRAM バスの映像
	PREVIEW	プレビュー出力映像。「VIDEO OUT 2」の初期値です。
	AUX	AUX バスの映像
	MULTI-VIEW	マルチビュー。「VIDEO OUT 3」の初期値です。
USB OUT	STILL-VIEW	読み込んだ静止画 (16 分割画面)
	USB STREAM 端子に割り当てる映像バスを設定します。	
	PROGRAM	最終出力映像
	SUB PROGRAM	SUB PROGRAM バスの映像
	PREVIEW	プレビュー出力映像
	AUX	AUX バスの映像
STREAM/RECORD	MULTI-VIEW	マルチビュー
	STILL-VIEW	読み込んだ静止画 (16 分割画面)
	DIRECT STREAM 端子に割り当てる映像バスを設定します。	
	PROGRAM	最終出力映像
	SUB PROGRAM	SUB PROGRAM バスの映像
	PREVIEW	プレビュー出力映像
LCD MONITOR	AUX	AUX バスの映像
	MULTI-VIEW	マルチビュー
	STILL-VIEW	読み込んだ静止画 (16 分割画面)
	AUDIO LEVEL	各チャンネルのレベル・メーター
	本体ディスプレイに割り当てる映像バスを設定します。	
	PROGRAM	最終出力映像
AUX SOURCE	SUB PROGRAM	SUB PROGRAM バスの映像
	PREVIEW	プレビュー出力映像
	AUX	AUX バスの映像
	MULTI-VIEW	マルチビュー
	STILL-VIEW	読み込んだ静止画 (16 分割画面)
	AUDIO LEVEL	各チャンネルのレベル・メーター

VIDEO OUTPUT

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
VIDEO OUT 1 ～ 3 VIDEO OUT 1 ～ 3 端子から出力される映像を調節します。		
OUTPUT STATUS	—	接続状態や HDCP 信号の有無を表示します。接続がない場合は、「NOT CONNECTED」と表示されます。
COLOR SPACE	YPbPr (4 : 4 : 4) 、YPbPr (4 : 2 : 2)、RGB (0-255)、RGB (16-235)	カラー・スペースを設定します。
DVI-D/HDMI SIGNAL	HDMI 、DVI-D	出力信号の種類を設定します。
EXTERNAL REC CONTROL	OFF、 ON	外部 REC コントロール機能のオン／オフを設定します。「ON」にすると、REC コントロール機能対応のレコーダーに、録画開始／停止のコマンドを送ることができます。 ※ 外部 REC コントロール機能を使うには、ダッシュボードの USER ボタンに録画開始／停止の機能を割り当てる必要があります。
BRIGHTNESS	-64 ～ 0 ～ 63	明るさを調節します。
CONTRAST	-64 ～ 0 ～ 63	コントラストを調節します。
SATURATION	-64 ～ 0 ～ 63	彩度を調節します。
RED	-64 ～ 0 ～ 63	赤レベルを調節します。
GREEN	-64 ～ 0 ～ 63	緑レベルを調節します。
BLUE	-64 ～ 0 ～ 63	青レベルを調節します。
USB OUT USB STREAM 端子から出力される映像を調節します。 ※ USB 出力の映像フォーマットや圧縮方式は、出力先のライブ配信用アプリなどで変更することができます。		
OUTPUT STATUS	—	USB 2.0 (HIGH SPEED) と USB 3.0 (SUPER SPEED) のどちらで接続しているかを表示します。パソコンと未接続のときは、「NOT CONNECTED」と表示されます。 ※ SYSTEM メニューの「HDCP」が「ON」のときは、「HDCP MASKED」と表示され、USB STREAM 端子から映像／音声は出力されません。
OUTPUT FORMAT	出力先のライブ配信アプリで選ぶことができるフォーマットを設定します。	
	YUY2 & MJPEG	YUY2 と Motion JPEG を選ぶことができます。
	YUY2	YUY2 のみ選ぶことができます。
CONNECTION RESET	EXEC	映像が乱れるなど動作が安定しないときに、パソコンと VR-6HD を再接続します。

FREEZE

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
FREEZE	OFF 、ON	フリーズ機能のオン／オフを設定します。「ON」にすると、入力映像を一時的に静止します。
TYPE	フリーズの動作モードを設定します。	
	ALL	すべての入力映像が静止します。
	SELECT	指定した入力映像だけが静止します。
VIDEO 1 ～ 6 (*4)	DISABLE、 ENABLE	各入力で、フリーズ機能の有効 (ENABLE) ／無効 (DISABLE) を設定します。

(*4) 「TYPE」が「SELECT」のときに設定できます。

2: AUDIO

AUDIO INPUT

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
AUDIO IN 1、2	AUDIO IN 1、2 端子から入力される音声を調節します。	
AUDIO IN 1/2 (LINKED)	「STEREO LINK」が「ON」のときは、「AUDIO IN 1/2 (LINKED)」と表示されます。	
ANALOG GAIN	0 ~ 68dB	アナログ領域の入力ゲイン (感度) を調節します。
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0dB	デジタル領域 (アナログからデジタルに変換後) の入力ゲイン (感度) を調節します。
INPUT LEVEL	- INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。 [1] [2] フェーダーで調節することもできます。(*8)
INPUT MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に入力音声を消音します。
PHANTOM +48V	OFF 、ON	ファンタム電源のオン/オフを設定します。「ON」にすると、AUDIO IN 端子 (XLR) からファンタム電源が供給されます。 ※「STEREO LINK」の設定を変更すると、「PHANTOM +48V」の設定は自動的に「OFF」になります
PAN (*9)	LEFT ~ CENTER ~ RIGHT	定位 (パン) を調節します。
STEREO LINK	OFF 、ON	ステレオ・リンク機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、AUDIO IN 1 と 2 がリンクして、ステレオ・チャンネルとして動作します。 ※ステレオ・リンクをオンに切り替えると、AUDIO IN 1 の設定が AUDIO IN 2 の設定に反映されます。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB SEND	0 ~ 127	リバーブへの音声の送り量を調節します。
MAIN BUS	MAIN バスの設定をします。	
SEND	OFF、 ON	「ON」にすると、MAIN バスへ音声を送ります。
AUX 1 BUS	AUX 1 バスの設定をします。	
SEND LEVEL	- INF ~ 10.0dB	AUX 1 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
AUX 2 BUS	AUX 2 バスの設定をします。	
SEND LEVEL	- INF ~ 10.0dB	AUX 2 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
HIGH PASS FILTER 80Hz	OFF 、ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、80Hz です。
ECHO CANCELLER	OFF 、ON	エコー・キャンセラーのオン/オフを設定します。 効果 Web 会議システムのスピーカーとマイクを利用した通話で、通話音声からエコー成分を除去します。
DEPTH	1 ~ 5 ~ 10	エコー・キャンセラーの効き具合を調節します。
ANTI-FEEDBACK	OFF 、ON	アンチ・フィードバックのオン/オフを設定します。 効果 ハウリングを抑制します。
NOISE GATE	OFF 、ON	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。 効果 設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
THRESHOLD	-80 ~ - 48 ~ 0dB	音声を除去するときの基準レベルを設定します。スレッシュホールド以下の音声を除去します。
RELEASE	30 ~ 500 ~ 5000msec	音声がスレッシュホールドを下回ったあとに、音声が減衰しきるまでの時間を調節します。
DE-ESSER	OFF 、ON	ディエッサーのオン/オフを設定します。 効果 歯擦音 (サ行などの発声時に生じる耳障りな音) を軽減します。
SENS	0 ~ 80 ~ 100	歯擦音を検出する感度を調節します。
DEPTH	0 ~ 64 ~ 100	効果のかかり具合を調節します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
COMPRESSOR	OFF , ON	コンプレッサーのオン/オフを設定します。 効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
THRESHOLD	-50 ~ -8 ~ 0dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
RATIO	1.00 : 1, 1.12 : 1, 1.25 : 1, 1.40 : 1, 1.60 : 1, 1.80 : 1, 2.00 : 1, 2.50 : 1 , 3.20 : 1, 4.00 : 1, 5.60 : 1, 8.00 : 1, 16.0 : 1, INF : 1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
ATTACK	0 ~ 30 ~ 100msec	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかける時間を設定します。
RELEASE	30 ~ 250 ~ 5000msec	音声が入力スレッシュホールドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
MAKEUP GAIN	-40 ~ 0 ~ 40dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。
EQUALIZER	OFF , ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	高域を増幅/減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中高域を増幅/減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 2.00kHz ~ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中低域を増幅/減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	低域を増幅/減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ~ 100Hz ~ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
VOICE CHANGER	OFF , ON	ボイス・チェンジャーをオン/オフします。 効果 声の音程や音質を変えます。
PITCH	-12 ~ +12	声の高さ (ピッチ) を半音単位で調節します。「0」が元の声の高さです。
FORMANT	-10 ~ +4 ~ +10	声の性質 (フォルマント) を調節します。- (マイナス) にするほど男性的な声質に、+ (プラス) にするほど女性的な声質に変化します。「0」が元の声です。
ROBOT	OFF , ON	「ON」にすると、声の高さを一定にして、無機質なロボットのような声にします。
MIX	0 ~ 100	普通の声 (0) とエフェクトをかけた声 (100) のバランスを調節します。

(*1) 「STEREO LINK」が「ON」のときは、[2] フェーダーの操作が無効になります。

(*2) 「STEREO LINK」が「OFF」のときに設定できます。

AUDIO IN 3 ～ 6 AUDIO IN 3/4(LINKED)、 AUDIO IN 5/6 (LINKED)			AUDIO IN 3 ～ 6 端子から入力される音声を調節します。 [STEREO LINK] が「ON」 のときは、「AUDIO IN 3/4 (LINKED)」 「AUDIO IN 5/6 (LINKED)」 と表示されます。
ANALOG GAIN	0 ～ 68dB	アナログ領域の入力ゲイン（感度）を調節します。	
DIGITAL GAIN	-42.0 ～ 0.0 ～ 42.0dB	デジタル領域（アナログからデジタルに変換後）の入力ゲイン（感度）を調節します。	
INPUT LEVEL	-INF ～ 0.0 ～ 10.0dB	入力音量を調節します。 [3] ～ [6] フェーダーで調節することもできます。（*3）	
INPUT MUTE	OFF、ON	ミュート機能のオン／オフを設定します。「ON」 にすると、一時的に入力音声を消音します。	
PHANTOM +48V	OFF、ON	ファンタム電源のオン／オフを設定します。「ON」 にすると、AUDIO IN 端子（XLR） からファンタム電源が供給されます。 ※ [STEREO LINK] の設定を変更すると、「PHANTOM +48V」 の設定は自動的に「OFF」 に なります	
PAN（*4）	LEFT ～ CENTER ～ RIGHT	定位（パン）を調節します。	
STEREO LINK	OFF、ON	ステレオ・リンク機能のオン／オフを設定します。「ON」 にすると、AUDIO IN 3 と 4（5 と 6） がリンクして、ステレオ・チャンネルとして動作します。 ※ ステレオ・リンクをオンに切り替えると、AUDIO IN 3（5） の設定が AUDIO IN 4（6） の設 定に反映されます。	
SOLO	OFF、ON	ソロ機能のオン／オフを設定します。「ON」 にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。	
DELAY	0.0 ～ 500msec (0 ～ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。	
REVERB SEND	0 ～ 127	リバーブへの音声の送り量を調節します。	
MAIN BUS		MAIN バスの設定をします。	
SEND	OFF、ON	「ON」 にすると、MAIN バスへ音声を送ります。	

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
AUX 1 BUS	AUX 1 バスの設定をします。	
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 1 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
AUX 2 BUS	AUX 2 バスの設定をします。	
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 2 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
HIGH PASS FILTER 80Hz	OFF 、ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、80Hz です。
NOISE GATE	OFF 、ON	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。 効果 設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かっているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
	THRESHOLD	-80 ~ -48 ~ 0dB 音声を除去するときの基準レベルを設定します。スレッシュホールド以下の音声を除去します。
	RELEASE	30 ~ 500 ~ 5000msec 音声のスレッシュホールドを下回ったあとに、音声が減衰しきるまでの時間を調節します。
		ディエッサーのオン/オフを設定します。 効果 歯擦音 (サ行などの発声時に生じる耳障りな音) を軽減します。
DE-ESSER	OFF 、ON	
SENS	0 ~ 80 ~ 100	歯擦音を検出する感度を調節します。
DEPTH	0 ~ 64 ~ 100	効果のかかり具合を調節します。
COMPRESSOR	OFF 、ON	コンプレッサーのオン/オフを設定します。 効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
	THRESHOLD	-50 ~ -8 ~ 0dB コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
	RATIO	1.00 : 1、1.12 : 1、1.25 : 1、1.40 : 1、1.60 : 1、1.80 : 1、2.00 : 1、 2.50 : 1 、3.20 : 1、4.00 : 1、5.60 : 1、8.00 : 1、16.0 : 1、INF : 1 音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
	ATTACK	0 ~ 30 ~ 100msec スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかける時間を設定します。
	RELEASE	30 ~ 250 ~ 5000msec 音声のスレッシュホールドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
	MAKEUP GAIN	-40 ~ 0 ~ 40dB コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。
		イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
EQUALIZER	OFF 、ON	
Hi GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	高域を増幅/減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中高域を増幅/減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 2.00kHz ~ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中低域を増幅/減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	低域を増幅/減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ~ 100Hz ~ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

(*3) 「STEREO LINK」が「ON」のときは、[4] [6] フェーダーの操作が無効になります。

(*4) 「STEREO LINK」が「OFF」のときに設定できます。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
AUDIO IN 7/8 AUDIO IN 7/8 端子から入力される音声を調節します。		
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0dB	デジタル領域 (アナログからデジタルに変換後) の入力ゲイン (感度) を調節します。
INPUT LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。 [7/8] フェーダーで調節することもできます。(*10)
INPUT MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に入力音声を消音します。
MONO	入力音声をステレオからモノに変換します。	
	OFF	ステレオ入力された音声をそのまま送ります。
	L ONLY	L チャンネルの音声を L と R に送ります。
	R ONLY	R チャンネルの音声を L と R に送ります。
	LR MIX	L チャンネルと R チャンネルの音声をミックスして、L と R に送ります。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB SEND	0 ~ 127	リバーブへの音声の送り量を調節します。
MAIN BUS MAIN バスの設定をします。		
SEND	OFF、 ON	「ON」にすると、MAIN バスへ音声を送ります。
AUX 1 BUS AUX 1 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 1 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
AUX 2 BUS AUX 2 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 2 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
HIGH PASS FILTER 80Hz	OFF 、ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、80Hz です。
NOISE GATE	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。	
	OFF 、ON	効果 設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
	THRESHOLD	-80 ~ -48 ~ 0dB
	RELEASE	30 ~ 500 ~ 5000msec
COMPRESSOR	コンプレッサーのオン/オフを設定します。	
	OFF 、ON	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
	THRESHOLD	-50 ~ -8 ~ 0dB
RATIO	1.00 : 1、1.12 : 1、1.25 : 1、1.40 : 1、1.60 : 1、1.80 : 1、2.00 : 1、 2.50 : 1 、3.20 : 1、4.00 : 1、5.60 : 1、8.00 : 1、16.0 : 1、INF : 1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
ATTACK	0 ~ 30 ~ 100msec	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかける時間を設定します。
RELEASE	30 ~ 250 ~ 5000msec	音声がスレッシュホールドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
MAKEUP GAIN	-40 ~ 0 ~ 40dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	高域を増幅/減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ～ 10.0 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅/減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 2.00kHz ～ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中低域を増幅/減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 500Hz ～ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	低域を増幅/減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ～ 100Hz ～ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
USB IN		
USB STREAM 端子から入力される音声を調節します。		
DIGITAL GAIN	-42.0 ～ 0.0 ～ 42.0dB	デジタル・ゲインを調節します。
INPUT LEVEL	-INF ～ 0.0 ～ 10.0dB	入力音量を調節します。
INPUT MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に入力音声を消音します。
MONO	入力音声をステレオからモノに変換します。	
	OFF	ステレオ入力された音声をそのまま送ります。
	L ONLY	L チャンネルの音声を L と R に送ります。
	R ONLY	R チャンネルの音声を L と R に送ります。
	LR MIX	L チャンネルと R チャンネルの音声をミックスして、L と R に送ります。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ～ 500msec (0 ～ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB SEND	0 ～ 127	リバーブへの音声の送り量を調節します。
MAIN BUS		
MAIN バスの設定をします。		
SEND	OFF、 ON	「ON」にすると、MAIN バスへ音声を送ります。
AUX 1 BUS		
AUX 1 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ～ 10.0dB	AUX 1 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
AUX 2 BUS		
AUX 2 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ～ 10.0dB	AUX 2 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
HIGH PASS FILTER 80Hz	OFF 、ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、80Hz です。
NOISE GATE	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。	
	OFF 、ON	効果 設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
	THRESHOLD	-80 ～ -48 ～ 0dB
	RELEASE	30 ～ 500 ～ 5000msec
COMPRESSOR	コンプレッサーのオン/オフを設定します。	
	OFF 、ON	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声聞き取りやすくなります。
	THRESHOLD	-50 ～ -8 ～ 0dB
	RATIO	1.00 : 1、1.12 : 1、1.25 : 1、1.40 : 1、1.60 : 1、1.80 : 1、2.00 : 1、 2.50 : 1 、3.20 : 1、4.00 : 1、5.60 : 1、8.00 : 1、16.0 : 1、INF : 1
	ATTACK	0.0 ～ 30 ～ 100ms
	RELEASE	30 ～ 250 ～ 5000ms
	MAKEUP GAIN	-40 ～ 0 ～ 40dB

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	高域を増幅/減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ～ 10.0 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅/減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 2.00kHz ～ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中低域を増幅/減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 500Hz ～ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	低域を増幅/減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ～ 100Hz ～ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Bluetooth IN Bluetooth 接続で入力される音声を調節します。		
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0dB	デジタル・ゲインを調節します。
INPUT LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。
INPUT MUTE	OFF , ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に入力音声を消音します。
MONO	入力音声をステレオからモノに変換します。	
	OFF	ステレオ入力された音声をそのまま送ります。
	L ONLY	L チャンネルの音声を L と R に送ります。
	R ONLY	R チャンネルの音声を L と R に送ります。
	LR MIX	L チャンネルと R チャンネルの音声をミックスして、L と R に送ります。
SOLO	OFF , ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB SEND	0 ~ 127	リバーブへの音声の送り量を調節します。
MAIN BUS MAIN バスの設定をします。		
SEND	OFF, ON	「ON」にすると、MAIN バスへ音声を送ります。
AUX 1 BUS AUX 1 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 1 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
AUX 2 BUS AUX 2 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 2 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
HIGH PASS FILTER 80Hz	OFF , ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、80Hz です。
NOISE GATE	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。	
	OFF , ON	効果 設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かっているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
	THRESHOLD	-80 ~ -48 ~ 0dB
RELEASE	30 ~ 500 ~ 5000msec	音声がスレッシュホールドを下回ったあとに、音声が減衰しきるまでの時間を調節します。
COMPRESSOR	コンプレッサーのオン/オフを設定します。	
	OFF , ON	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
	THRESHOLD	-50 ~ -8 ~ 0dB
	RATIO	1.00 : 1, 1.12 : 1, 1.25 : 1, 1.40 : 1, 1.60 : 1, 1.80 : 1, 2.00 : 1, 2.50 : 1 , 3.20 : 1, 4.00 : 1, 5.60 : 1, 8.00 : 1, 16.0 : 1, INF : 1
	ATTACK	0.0 ~ 30 ~ 100ms
	RELEASE	30 ~ 250 ~ 5000ms
	MAKEUP GAIN	-40 ~ 0 ~ 40dB

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	高域を増幅/減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ～ 10.0 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅/減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 2.00kHz ～ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中低域を増幅/減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 500Hz ～ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	低域を増幅/減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ～ 100Hz ～ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
AUDIO PLAYER IN オーディオ・プレーヤーから入力される音声を調節します。		
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0dB	デジタル・ゲインを調節します。
INPUT LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。
INPUT MUTE	OFF , ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に入力音声を消音します。
MONO	入力音声をステレオからモノに変換します。	
	OFF	ステレオ入力された音声をそのまま送ります。
	L ONLY	L チャンネルの音声を L と R に送ります。
	R ONLY	R チャンネルの音声を L と R に送ります。
	LR MIX	L チャンネルと R チャンネルの音声をミックスして、L と R に送ります。
SOLO	OFF , ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB SEND	0 ~ 127	リバーブへの音声の送り量を調節します。
MAIN BUS MAIN バスの設定をします。		
SEND	OFF, ON	「ON」にすると、MAIN バスへ音声を送ります。
AUX 1 BUS AUX 1 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 1 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
AUX 2 BUS AUX 2 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 2 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
HIGH PASS FILTER 80Hz	OFF , ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、80Hz です。
NOISE GATE	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。	
	OFF , ON	効果 設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かっているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
	THRESHOLD	-80 ~ -48 ~ 0dB
RELEASE	30 ~ 500 ~ 5000msec	音声がスレッシュホールドを下回ったあとに、音声が減衰しきるまでの時間を調節します。
COMPRESSOR	コンプレッサーのオン/オフを設定します。	
	OFF , ON	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
	THRESHOLD	-50 ~ -8 ~ 0dB
	RATIO	1.00 : 1, 1.12 : 1, 1.25 : 1, 1.40 : 1, 1.60 : 1, 1.80 : 1, 2.00 : 1, 2.50 : 1 , 3.20 : 1, 4.00 : 1, 5.60 : 1, 8.00 : 1, 16.0 : 1, INF : 1
	ATTACK	0.0 ~ 30 ~ 100ms
	RELEASE	30 ~ 250 ~ 5000ms
	MAKEUP GAIN	-40 ~ 0 ~ 40dB

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	高域を増幅/減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ～ 10.0 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅/減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 2.00kHz ～ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中低域を増幅/減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 500Hz ～ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	低域を増幅/減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ～ 100Hz ～ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
VIDEO PLAYER ビデオ・プレーヤーから入力される音声を調節します。		
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0dB	デジタル・ゲインを調節します。
INPUT LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。
INPUT MUTE	OFF , ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に入力音声を消音します。
MONO	入力音声をステレオからモノに変換します。	
	OFF	ステレオ入力された音声をそのまま送ります。
	L ONLY	L チャンネルの音声を L と R に送ります。
	R ONLY	R チャンネルの音声を L と R に送ります。
	LR MIX	L チャンネルと R チャンネルの音声をミックスして、L と R に送ります。
SOLO	OFF , ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB SEND	0 ~ 127	リバーブへの音声の送り量を調節します。
MAIN BUS MAIN バスの設定をします。		
SEND	OFF, ON	「ON」にすると、MAIN バスへ音声を送ります。
AUX 1 BUS AUX 1 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 1 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
AUX 2 BUS AUX 2 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ~ 10.0dB	AUX 2 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
HIGH PASS FILTER 80Hz	OFF , ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、80Hz です。
NOISE GATE	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。	
	OFF , ON	効果 設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かっているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
	THRESHOLD	-80 ~ -48 ~ 0dB
RELEASE	30 ~ 500 ~ 5000msec	音声がスレッシュホールドを下回ったあとに、音声が減衰しきるまでの時間を調節します。
COMPRESSOR	コンプレッサーのオン/オフを設定します。	
	OFF , ON	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
	THRESHOLD	-50 ~ -8 ~ 0dB
	RATIO	1.00 : 1, 1.12 : 1, 1.25 : 1, 1.40 : 1, 1.60 : 1, 1.80 : 1, 2.00 : 1, 2.50 : 1 , 3.20 : 1, 4.00 : 1, 5.60 : 1, 8.00 : 1, 16.0 : 1, INF : 1
	ATTACK	0.0 ~ 30 ~ 100ms
	RELEASE	30 ~ 250 ~ 5000ms
	MAKEUP GAIN	-40 ~ 0 ~ 40dB

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	高域を増幅/減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ～ 10.0 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅/減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 2.00kHz ～ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中低域を増幅/減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 500Hz ～ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	低域を増幅/減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ～ 100Hz ～ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
VIDEO IN 1 ～ 6	VIDEO IN 1 ～ 6 端子から入力される音声を調節します。	
EMBEDDED AUDIO CHANNEL	1/2、3/4、5/6、7/8	エンベデッド・オーディオのチャンネルを選びます。
DIGITAL GAIN	-42.0 ～ 0.0 ～ 42.0dB	デジタル・ゲインを調節します。
INPUT LEVEL	-INF ～ 0.0 ～ 10.0dB	入力音量を調節します。
INPUT MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に入力音声を消音します。
MONO	入力音声をステレオからモノに変換します。	
	OFF	ステレオ入力された音声をそのまま送ります。
	L ONLY	L チャンネルの音声を L と R に送ります。
	R ONLY	R チャンネルの音声を L と R に送ります。
	LR MIX	L チャンネルと R チャンネルの音声をミックスして、L と R に送ります。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ～ 500msec (0 ～ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB SEND	0 ～ 127	リバーブへの音声の送り量を調節します。
MAIN バスの設定をします。		
SEND	OFF、 ON	「ON」にすると、MAIN バスへ音声を送ります。
AUX 1 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ～ 10.0dB	AUX 1 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
AUX 2 バスの設定をします。		
SEND LEVEL	-INF ～ 10.0dB	AUX 2 バスへの送り量を調節します。
SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
HIGH PASS FILTER 80Hz	OFF 、ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、80Hz です。
NOISE GATE	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。	
	OFF 、ON	効果 設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
	THRESHOLD	-80 ～ -48 ～ 0dB
RELEASE	音声を除去するときの基準レベルを設定します。スレッシュホールド以下の音声を除去します。	
	30 ～ 500 ～ 5000msec	
COMPRESSOR	コンプレッサーのオン/オフを設定します。	
	OFF 、ON	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
THRESHOLD	-50 ～ -8 ～ 0dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
RATIO	1.00 : 1、1.12 : 1、1.25 : 1、1.40 : 1、1.60 : 1、1.80 : 1、2.00 : 1、 2.50 : 1 、3.20 : 1、4.00 : 1、5.60 : 1、8.00 : 1、16.0 : 1、INF : 1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
ATTACK	0.0 ～ 30 ～ 100ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかける時間を設定します。
RELEASE	30 ～ 250 ～ 5000ms	音声がスレッシュホールドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
MAKEUP GAIN	-40 ～ 0 ～ 40dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	高域を増幅／減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ～ 10.0 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅／減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 2.00kHz ～ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中高域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	中低域を増幅／減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ～ 500Hz ～ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ～ 1.0 ～ 16.0	中低域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ～ 0.0 ～ 12.0dB	低域を増幅／減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ～ 100Hz ～ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

AUDIO OUTPUT ASSIGN

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
AUDIO OUT 1 (XLR)	MAIN BUS 、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS、MONITOR BUS	MAIN BUS： すべての入力音声をミックスして出力します（マスター出力）。 AUX 1 BUS、AUX 2 BUS： AUX バスに送られた入力音声だけをミックスして出力します。マスター出力とは異なる音声を出力することができます。 MONITOR BUS： ヘッドホンと同じ音声を出力します。
AUDIO OUT 2 (RCA)	MAIN BUS 、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS、MONITOR BUS	
PHONES OUT/MONITOR	MAIN BUS 、AUX 1、AUX 2	
USB OUT	MAIN BUS 、AUX 1、AUX 2	
STREAM/RECORD	MAIN BUS 、AUX 1、AUX 2	
AUDIO RECORD	MAIN BUS 、AUX 1、AUX 2	
VIDEO OUT 1 ～ 3	MAIN BUS 、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS、MONITOR BUS	

AUDIO OUTPUT

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
MAIN BUS		
MAIN BUS の音声を調節します。		
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	出力音量を調節します。 [MAIN] フェーダーで調節することもできます。
MUTE	OFF、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に出力音声を消音します。
SOLO	OFF、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB	OFF、ON	リバーブのオン/オフを設定します。 効果 音声に残響を加えます。
LEVEL	0 ~ 127	リバーブからの音声の戻り量（リターン・レベル）を設定します。全体にかかるリバーブの深さを調節します。
TYPE	リバーブ・タイプを選びます。	
	ROOM	部屋の自然な残響が得られます。
	HALL	コンサート・ホールなどで演奏しているような響きが得られます。
SIZE	1 ~ 10 ~ 20	空間の広さを設定します。数値が大きくなるほど、残響時間が長くなります。
RETURN LEVEL	-INF ~ -20.0 ~ 10.0dB	リバーブの戻り量を調節します。
EQUALIZER	OFF、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	高域を増幅/減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中高域を増幅/減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 2.00kHz ~ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中高域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中低域を増幅/減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中低域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	低域を増幅/減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ~ 100Hz ~ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
COMPRESSOR/LIMITER	OFF、ON	コンプレッサー/リミッターのオン/オフを設定します。
TYPE	コンプレッサー/リミッターのタイプを設定します。	
	COMPRESSOR	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
	LIMITER	効果 設定した基準レベルを超えないように出力音量を制限します。 ※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。
COMPRESSOR		
THRESHOLD	-50 ~ -8 ~ 0dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
RATIO	1.00 : 1、1.12 : 1、1.25 : 1、1.40 : 1、1.60 : 1、1.80 : 1、2.00 : 1、2.50 : 1、3.20 : 1、4.00 : 1、5.60 : 1、8.00 : 1、16.0 : 1、INF : 1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
ATTACK	0.0 ~ 30 ~ 100ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかける時間を設定します。
RELEASE	30 ~ 250 ~ 5000ms	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
MAKEUP GAIN	-40 ~ 0 ~ 40dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。
LIMITER		
THRESHOLD	-40 ~ -6 ~ 0dB	リミッターがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。出力される音声の音量は、スレッシュホールド以下に制限されます。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
LOUDNESS AUTO GAIN CONTROL	OFF 、ON	ラウドネス・オート・ゲインコントロールのオン/オフを設定します。
INTEGRATED GAIN CONTROL	DISABLE、 ENABLE	長期スパン・オート・コントロールの有効 (ENABLE) / 無効 (DISABLE) を設定します。
SENS	0 ~ 80 ~ 127	目標レベル (TARGET LKFS) に近づく速さを調節します。
MOMENTARY GAIN CONTROL	DISABLE、 ENABLE	短期スパン・オート・コントロールの有効 (ENABLE) / 無効 (DISABLE) を設定します。
SENS	0 ~ 80 ~ 127	目標レベル (TARGET LKFS) に近づく速さを調節します。
TARGET LKFS	-34 ~ -24 ~ -10dB	目標ラウドネス値を設定します。
FORGET LEARNING	EXEC	学習した設定値をリセットします。
ADAPTIVE NOISE REDUCTION	OFF 、ON	アダプティブ・ノイズ・リダクションのオン/オフを設定します。 効果 入力音声を継続的にモニタリングしながら無音時のノイズを特定し、ノイズ成分のみを取り除きます。
DEPTH	0 ~ 80 ~ 127	ノイズ除去のかかりの強さを設定します。
TALKING DETECTOR	0 ~ 80 ~ 127	トーキング・ディテクターの感度を設定します。 値を大きくすると感度が上がり、よりノイズの大きな環境でも音声の有無を検出しやすくなります。
AUTO LEARN	DISABLE、 ENABLE	ノイズの自動検出を有効にします。
MANUAL MEASURE	EXEC	手動でノイズ検出をします。
FORGET LEARNING	EXEC	学習した設定値をリセットします。
LO FREQUENCY CUT	OFF 、ON	ロー・フリクエンシー・カットのオン/オフを設定します。
GEQ	OFF 、ON	グラフィック・イコライザーの設定をします 効果 15 の帯域に分割された周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
ALL FLAT	ENTER	イコライザーの設定をフラット (0.0dB) にします。
25Hz	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	周波数帯域を増幅/減衰します。
40Hz		
63Hz		
100Hz		
160Hz		
250Hz		
400Hz		
630Hz		
1kHz		
1.6kHz		
2.5kHz		
4kHz		
6.3kHz		
10kHz		
16kHz		

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
AUX 1 BUS		
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	出力音量を調節します。 [AUX 1] つまみで調節することもできます。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン／オフを設定します。「ON」にすると、一時的に出力音を消音します。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン／オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB RETURN LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	リバーブの戻り量を調節します。
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン／オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	高域を増幅／減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中高域を増幅／減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 2.00kHz ~ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中高域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中低域を増幅／減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中低域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	低域を増幅／減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ~ 100Hz ~ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
COMPRESSOR/LIMITER	OFF 、ON	コンプレッサー／リミッターのオン／オフを設定します。
TYPE	コンプレッサー／リミッターのタイプを設定します。	
	COMPRESSOR	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声聞き取りやすくなります。
	LIMITER	効果 設定した基準レベルを超えないように出力音量を制限します。 ※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。
COMPRESSOR		
THRESHOLD	-50 ~ -8 ~ 0dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
RATIO	1.00 : 1、1.12 : 1、1.25 : 1、1.40 : 1、1.60 : 1、1.80 : 1、2.00 : 1、 2.50 : 1 、3.20 : 1、4.00 : 1、5.60 : 1、8.00 : 1、16.0 : 1、INF : 1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
ATTACK	0.0 ~ 30 ~ 100ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかける時間を設定します。
RELEASE	30 ~ 250 ~ 5000ms	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
MAKEUP GAIN	-40 ~ 0 ~ 40dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。
LIMITER		
THRESHOLD	-40 ~ -6 ~ 0dB	リミッターがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。出力される音声の音量は、スレッシュホールド以下に制限されます。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
GEQ	OFF 、ON	グラフィック・イコライザーの設定をします 効果 15 の帯域に分割された周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
ALL FLAT	ENTER	イコライザーの設定をフラット (0.0dB) にします。
25Hz	-15.0 ～ 0.0 ～ 15.0dB	周波数帯域を増幅／減衰します。
40Hz		
63Hz		
100Hz		
160Hz		
250Hz		
400Hz		
630Hz		
1kHz		
1.6kHz		
2.5kHz		
4kHz		
6.3kHz		
10kHz		
16kHz		

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
AUX 2 BUS AUX 2 バスの音声を調節します。		
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	出力音量を調節します。 [AUX 2] つまみで調節することもできます。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン／オフを設定します。「ON」にすると、一時的に出力音声を消音します。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン／オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
REVERB RETURN LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	リバーブの戻り量を調節します。
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン／オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
	Hi GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB 高域を増幅／減衰します。
	Hi FREQUENCY	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz 高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
	Hi-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB 中高域を増幅／減衰します。
	Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 2.00kHz ~ 20.0kHz 中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
	Hi-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0 中高域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
	Lo-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB 中低域を増幅／減衰します。
	Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz 中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
	Lo-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0 中低域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
	Lo GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB 低域を増幅／減衰します。
	Lo FREQUENCY	20Hz ~ 100Hz ~ 2.00kHz 低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
COMPRESSOR/LIMITER	OFF 、ON	コンプレッサー／リミッターのオン／オフを設定します。
TYPE	コンプレッサー／リミッターのタイプを設定します。	
	COMPRESSOR	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声聞き取りやすくなります。
	LIMITER	効果 設定した基準レベルを超えないように出力音量を制限します。 ※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。
COMPRESSOR		
THRESHOLD	-50 ~ -8 ~ 0dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
RATIO	1.00 : 1、1.12 : 1、1.25 : 1、1.40 : 1、1.60 : 1、1.80 : 1、2.00 : 1、 2.50 : 1 、3.20 : 1、4.00 : 1、5.60 : 1、8.00 : 1、16.0 : 1、INF : 1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
ATTACK	0.0 ~ 30 ~ 100ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかける時間を設定します。
RELEASE	30 ~ 250 ~ 5000ms	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
MAKEUP GAIN	-40 ~ 0 ~ 40dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。
LIMITER		
THRESHOLD	-40 ~ -6 ~ 0dB	リミッターがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。出力される音声の音量は、スレッシュホールド以下に制限されます。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
GEQ	OFF 、ON	グラフィック・イコライザーの設定をします 効果 15 の帯域に分割された周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
ALL FLAT	ENTER	イコライザーの設定をフラット (0.0dB) にします。
25Hz	-15.0 ～ 0.0 ～ 15.0dB	周波数帯域を増幅／減衰します。
40Hz		
60Hz		
100Hz		
160Hz		
250Hz		
400Hz		
630Hz		
1kHz		
1.6kHz		
2.5kHz		
4kHz		
6.3kHz		
10kHz		
16kHz		

メニュー一覧

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
USB OUT USB STREAM 端子から出力される音声を調節します。		
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	出力音量を調節します。 [USB STREAM] つまみで調節することもできます。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン／オフを設定します。「ON」にすると、一時的に出力音声を消音します。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン／オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	高域を増幅／減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中高域を増幅／減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 2.00kHz ~ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中高域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中低域を増幅／減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中低域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	低域を増幅／減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ~ 100Hz ~ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
STREAM/RECORD DIRECT STREAM 端子から出力される音声を調節します。		
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	出力音量を調節します。 [STREAM/RECORD] つまみで調節することもできます。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン／オフを設定します。「ON」にすると、一時的に出力音声を消音します。
DELAY	0.0 ~ 500msec (0 ~ 25.0/29.9/30.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
EQUALIZER	OFF 、ON	イコライザーのオン／オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
Hi GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	高域を増幅／減衰します。
Hi FREQUENCY	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中高域を増幅／減衰します。
Hi-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 2.00kHz ~ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中高域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo-Mid GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	中低域を増幅／減衰します。
Lo-Mid FREQUENCY	20Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Lo-Mid Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中低域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo GAIN	-12.0 ~ 0.0 ~ 12.0dB	低域を増幅／減衰します。
Lo FREQUENCY	20Hz ~ 100Hz ~ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MONITOR/PHONES OUT PHONES 端子から出力される音声を調節します。		
MONITOR LEVEL	-INF ~ 10.0dB	モニター音量を調節します。
PHONES LEVEL	-INF ~ 10.0dB	出力音量を調節します。[PHONES] つまみで調節することもできます。

FADER ASSIGN

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
INPUT FADER 1 ~ 7/8	AUDIO IN 1 ~ 7/8、USB IN、Bluetooth IN、AUDIO PLAYER、VIDEO 1 ~ 6、V. PLAYER 初期値は、以下のとおりです。 INPUT FADER 1 : AUDIO IN 1 INPUT FADER 2 : AUDIO IN 2 INPUT FADER 3 : AUDIO IN 3 INPUT FADER 4 : AUDIO IN 4 INPUT FADER 5 : AUDIO IN 5 INPUT FADER 6 : AUDIO IN 6 INPUT FADER 7/8 : AUDIO IN 7/8	各フェーダーに割り当てる、音声入力を選びます。

AUDIO FOLLOW

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
ALL AUDIO FOLLOW	OFF , ON	VIDEO 1～6 のオーディオ・フォロー機能のオン/オフを一括で設定します。
VIDEO 1～6 V.PLAYER	オーディオ・フォロー機能のオン/オフを設定します。 オーディオ・フォローは、映像の切り替えに連動させて、音声の出力を自動的に切り替える機能です。	
	OFF	映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。
	ON	映像が選ばれたときのみ、音声を出力します。他の映像が選ばれたときは、自動的に消音します。
AUDIO IN 1～7/8	OFF , VIDEO 1～6, STILL 1～16, V.PLAYER, INPUT 1～6	各音声に対して、オーディオ・フォロー機能を使う映像を指定します。指定した入力映像が選ばれたときのみ、音声を出力します。 「OFF」にすると、映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。
USB IN		
Bluetooth IN		
AUDIO PLAYER		

AUTO MIXING

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
AUDIO AUTO MIXING	OFF , ON	オート・ミキシング機能のオン/オフを設定します。 オート・ミキシングは、音量調節を自動的に制御する機能です。
AUDIO IN 1～6	DISE, ENABLE	オート・ミキシングの対象 (ENABLE) / 非対象 (DISE) を設定します。
WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。
AUDIO IN 7/8	DISE, ENABLE	オート・ミキシングの対象 (ENABLE) / 非対象 (DISE) を設定します。
WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。
USB IN	DISE , ENABLE	オート・ミキシングの対象 (ENABLE) / 非対象 (DISE) を設定します。
WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。
Bluetooth IN	DISE , ENABLE	オート・ミキシングの対象 (ENABLE) / 非対象 (DISE) を設定します。
WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。
AUDIO PLAYER	DISE , ENABLE	オート・ミキシングの対象 (ENABLE) / 非対象 (DISE) を設定します。
WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。
VIDEO IN 1～6	DISE , ENABLE	オート・ミキシングの対象 (ENABLE) / 非対象 (DISE) を設定します。
WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。
V.PLAYER	DISE , ENABLE	オート・ミキシングの対象 (ENABLE) / 非対象 (DISE) を設定します。
WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。
A.PLAYER	DISE , ENABLE	オート・ミキシングの対象 (ENABLE) / 非対象 (DISE) を設定します。
WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。

AUDIO EMBEDDED

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
EMBEDDED AUDIO CH		HDMI 入力のエンベデッド・オーディオ・チャンネルに関する設定をします。
VIDEO IN 1 ～ 6	CH 1-2 , CH 3-4、CH 5-6、CH 7-8	エンベデッド・オーディオのチャンネルを選びます。
VIDEO OUT 1 ～ 3 SEND		HDMI エンベデッド・オーディオ・チャンネル 3 ～ 8 に送る入力音声を設定します。
CH 3-4	N/A . AUDIO IN 1/2 ～ AUDIO IN 7/8、USB IN、Bluetooth IN、AUDIO PLAYER、VIDEO IN 1 ～ 6、V.PLAYER	「N/A」にすると、音声を送りません。
CH 5-6		※ チャンネル 1 と 2 には、以下の音声バスが割り当てられています。 チャンネル 1：MAIN BUS (L) または AUX 1 BUS (L) チャンネル 2：MAIN BUS (R) または AUX 1 BUS (R)
CH 7-8		
各入力から HDMI エンベデッド・オーディオ・チャンネル (3 ～ 8) に、エフェクトがかかった音声を送るかどうかを設定します。		
AUDIO IN 1 ～ 7/8 USB IN Bluetooth IN AUDIO PLAYER VIDEO IN 1 ～ 6 V.PLAYER	OFF	音声を送りません。
	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。

3: TRANSITION

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
MIX	ミックスの詳細を設定します。	
MIX TYPE	ミックスの切り替えパターンを設定します。	
	MIX	2つの映像が混ざり合いながら切り替わります。
	FAM	2つの映像の輝度レベルを一定に保ちながら映像が切り替わります。 フル・アディティブ・ミックスの略です。
	NAM	2つの映像を比較し、輝度レベルの高い部分を表示しながら映像が切り替わります。 ノン・アディティブ・ミックスの略です。
MIX TIME	0.0 ～ 1.0 ～ 4.0sec	映像の切り替え時間を設定します。
WIPE	ワイプの詳細を設定します。	
WIPE TYPE	ワイプの切り替えパターンを設定します。	
	HORIZONTAL VERTICAL UPPER LEFT UPPER RIGHT LOWER LEFT LOWER RIGHT H-CENTER V-CENTER        	
WIPE TIME	0.0 ～ 1.0 ～ 4.0sec	映像の切り替え時間を設定します。
DIRECTION	NORMAL 、REVERSE、ROUND TRIP	ワイプの方向を設定します。
BORDER COLOR	WHITE 、YELLOW、CYAN、GREEN、MAGENTA、RED、BLUE、BLACK、SOFT EDGE	ワイプの周囲に付ける縁取りの色を設定します。 [SOFT EDGE] にすると、ワイプの境界をぼかします。
BORDER WIDTH	0 ～ 3 ～ 14	ワイプの周囲に付ける縁取りの幅を設定します。
SPLIT	スプリット合成の詳細を設定します。	
SPLIT TYPE	スプリットの画面レイアウトを設定します。	
	SPLIT V	映像の中央部を縦に切り出して合成します（左右分割）。 
	SPLIT H	映像の中央部を横に切り出して合成します（上下分割）。 
PGM-CENTER	-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0%	SPLIT V のとき 左側に配置された映像の水平方向の位置を調節します。 SPLIT H のとき 上側に配置された映像の垂直方向の位置を調節します。 ※ 左または上側には、PGM バスの映像が配置されます。
PST-CENTER	-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0%	SPLIT V のとき 右側に配置された映像の水平方向の位置を調節します。 SPLIT H のとき 下側に配置された映像の垂直方向の位置を調節します。 ※ 右または下側には、PST バスの映像が配置されます。
CENTER POS	-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0%	境界線の位置を調節します。
BORDER COLOR	WHITE 、YELLOW、CYAN、GREEN、MAGENTA、RED、BLUE、BLACK	境界線の色を設定します。
BORDER WIDTH	0 ～ 3 ～ 14	境界線の幅を設定します。

4 : PinP/DSK

PinP & KEY 1 ～ 2

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
TYPE	PinP 合成のタイプを設定します。	
	PinP	背景映像の上に子画面の映像を合成します。
	LUMINANCE WHITE KEY	PinP とルミナンス・キー（白）の組み合わせです。 子画面映像の白い部分を透明にして、背景映像と合成します。
	LUMINANCE BLACK KEY	PinP とルミナンス・キー（黒）の組み合わせです。 子画面映像の黒い部分を透明にして、背景映像と合成します。
	CHROMA KEY	PinP とクロマ・キーの組み合わせです。 子画面映像の指定したキー色部分を透明にして、背景映像と合成します。
SOURCE	VIDEO 1 ～ 6、STILL 1 ～ 16、V.PLAYER、 INPUT 1 ～ 6	子画面の映像ソースを設定します。
TIME	0.0 ～ 1.0 ～ 4.0sec	映像の切り替え時間を設定します。
TYPE = PinP のとき		
WINDOW	子画面を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ -40.0 ～ 50.0%	子画面の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ -40.0 ～ 50.0%	子画面の垂直方向の位置を調節します。
SIZE	0.0 ～ 35.0 ～ 100.0%	子画面のサイズを調節します。
CROPPING H	0.0 ～ 100.0%	子画面の水平方向のサイズを調節します。
CROPPING V	0.0 ～ 100.0%	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
SHAPE	RECTANGLE 、CIRCLE、DIAMOND	子画面の形（長方形、丸、ひし形）を設定します。
BORDER COLOR	WHITE 、YELLOW、CYAN、GREEN、MAGENTA、 RED、BLUE、BLACK、SOFT EDGE	子画面に付ける縁取りの色を設定します。 [SOFT EDGE] にすると、子画面の縁をぼかします。
BORDER WIDTH	0 ～ 3 ～ 14	子画面に付ける縁取りの幅を調節します。
VIEW	子画面に表示される映像を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0%	子画面映像の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0%	子画面映像の垂直方向の位置を調節します。
ZOOM	100 ～ 400%	子画面映像の拡大率を調節します。
TYPE = LUMINANCE WHITE KEY、LUMINANCE BLACK KEY のとき		
WINDOW	子画面を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ -40.0 ～ 50.0%	子画面の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ -40.0 ～ 50.0%	子画面の垂直方向の位置を調節します。
SIZE	0.0 ～ 35.0 ～ 100.0%	子画面のサイズを調節します。
CROPPING H	0.0 ～ 100.0%	子画面の水平方向のサイズを調節します。
CROPPING V	0.0 ～ 100.0%	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
VIEW	子画面に表示される映像を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0%	子画面映像の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0%	子画面映像の垂直方向の位置を調節します。
ZOOM	100 ～ 400%	子画面映像の拡大率を調節します。
KEY	キーの設定をします。	
KEY LEVEL	0 ～ 60 ～ 255	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
KEY GAIN	0 ～ 255	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。
MIX LEVEL	0 ～ 255	キー全体の濃度（出力レベル）を調節します。

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
TYPE = CHROMA KEY のとき		
WINDOW	子画面を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ -40.0 ～ 50.0%	子画面の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ -40.0 ～ 50.0%	子画面の垂直方向の位置を調節します。
SIZE	0.0 ～ 35.0 ～ 100.0%	子画面のサイズを調節します。
CROPPING H	0.0 ～ 100.0%	子画面の水平方向のサイズを調節します。
CROPPING V	0.0 ～ 100.0%	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
VIEW	子画面に表示される映像を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0%	子画面映像の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ 0.0 ～ 50.0%	子画面映像の垂直方向の位置を調節します。
ZOOM	100 ～ 400%	子画面映像の拡大率を調節します。
KEY	キーの設定をします。	
KEY LEVEL	0 ～ 60 ～ 255	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
KEY GAIN	0 ～ 255	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。
MIX LEVEL	0 ～ 255	キー全体の濃度（出力レベル）を調節します。
CHROMA	クロマ・キーの詳細を設定します。	
COLOR	GREEN、 BLUE	キー色（抜き色）を緑または青に設定します。
HUE WIDTH	-30 ～ 0 ～ 30	キー色の色相の幅を調節します。
HUE FINE	0 ～ 240 ～ 360	キー色の色相の中心位置を調節します。
SATURATION WIDTH	-128 ～ 0 ～ 127	キー色の彩度の幅を調節します。
SATURATION FINE	0 ～ 255	キー色の彩度の中心位置を調節します。

DSK

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
DSK MODE	DSK モードを設定します。	
	SELF KEY	ルミナンス・キー（明るさ）やクロマ・キー（色）を使って映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。
	ALPHA KEY	アルファ・チャンネル（透過度情報を持つ領域）を利用して静止画を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。
	EXTERNAL KEY	キー信号（切り抜き形状）とフィル映像（合成される映像）を別々に設定します（エクスターナル・キー）。キー信号でフィル映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。
DSK SOURCE	VIDEO 1 ～ 6、 STILL 1 ～ 16、V.PLAYER、INPUT 1 ～ 6	上に重ねるテロップや映像のソースを設定します。
KEY SOURCE (*1)	VIDEO 1 ～ 5 ～ 6、STILL 1 ～ 16、V.PLAYER、INPUT 1 ～ 6	キー信号（切り抜き形状）として使用する映像を設定します。
FILL SOURCE (*1)	VIDEO 1 ～ 5 ～ 6、STILL 1 ～ 16、V.PLAYER、INPUT 1 ～ 6	フィル映像（合成される映像）のソースを設定します。
TIME	0.0 ～ 1.0 ～ 4.0sec	映像の切り替え時間を設定します。
TYPE (*2)	DSK 合成のキー・タイプを設定します。	
	LUMINANCE WHITE KEY	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、白い部分を透明にします。
	LUMINANCE BLACK KEY	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、黒い部分を透明にします。
	CHROMA	クロマ・キーで合成します。 色を基準にして、指定したキー色を透明にします。
LEVEL (*2)	0 ～ 60 ～ 255	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
GAIN (*2)	0 ～ 255	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。
MIX LEVEL	0 ～ 255	キー全体の濃度（出力レベル）を調節します。
CHROMA (*3)	クロマ・キーの詳細を設定します。	
COLOR	GREEN、 BLUE	キー色を緑または青に設定します。
HUE WIDTH	-30 ～ 0 ～ 30	キー色の色相の幅を調節します。
HUE FINE	0 ～ 240 ～ 360	キー色の色相の中心位置を調節します。
SATURATION WIDTH	-128 ～ 0 ～ 127	キー色の彩度の幅を調節します。
SATURATION FINE	0 ～ 255	キー色の彩度の中心位置を調節します。
FILL TYPE	フィル素材（キー合成する映像）の種類を設定します。	
	BUS	「DSK SOURCE」で指定した映像を使います。
	MATTE	内蔵のカラー・マット（単色画像）を使います。上に重ねたテロップや映像が、マットの色で塗りつぶされます。マットの色は、以下の「MATTE COLOR」で設定します。

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
MATTE COLOR	WHITE、YELLOW、CYAN、GREEN、MAGENTA、 RED 、BLUE、BLACK	マットの色を設定します。
EDGE TYPE	OFF 、BORDER、DROP、SHADOW、OUTLINE	上に重ねたテロップや映像に付ける縁取りの種類を設定します。
EDGE COLOR	WHITE、YELLOW、CYAN、GREEN、MAGENTA、RED、BLUE、 BLACK	上に重ねたテロップや映像に付ける縁取りの色を設定します。
EDGE WIDTH	0 ～ 3 ～ 7	上に重ねたテロップや映像に付ける縁取りの幅を設定します。

(*1) 「DSK MODE」が「EXTERNAL KEY」のときに設定できます。

(*2) 「DSK MODE」が「SELF KEY」のときに設定できます。

(*3) 「TYPE」が「CHROMA」のときに設定できます。

5 : STREAM/RECORD

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明	
START/STOP	STOP 、ON AIR	配信／録画を開始（停止）します。	
SERVICE 1、2	ライブ配信に使うプラットフォームを設定します。		
	OFF	配信しません。	
	CUSTOM	カスタム設定で配信します。	
	YouTube Live	YouTube Live で配信します。	
	Facebook Live	Facebook Live で配信します。	
	Twitch	Twitch で配信します。	
	メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
	URL	—	配信サーバーの URL を設定します。
	STREAM KEY	—	ストリーム・キーを設定します。
USE WEB APPLICATION	ENTER	Web アプリを使用して、配信サーバーの URL ／ストリーム・キーを設定します。	
TARGET BITRATE	ターゲット・ビットレートを設定します		
V.BITRATE	1 ～ 5、 6 、7 ～ 20Mbps	映像をエンコードするときの、ターゲット・ビットレートを設定します。	
A.BITRATE	32、48、64、96、 128 、160、192、224、256、	音声をエンコードするときの、ターゲット・ビットレートを設定します。	
VIDEO REC	OFF 、ON	「ON」に設定すると、配信を録画します。	
AUDIO REC	OFF 、ON	「ON」に設定すると、配信を録音します。	
STREAM DELAY	OFF 、5 ～ 60sec	セーフティー・ディレイ機能を使ったときの、配信ディレイ・タイムを設定します。	
SAFETY IMAGE	ENTER	セーフティー・ディレイ用の静止画を読み込みます。	
FILE NAME	表示のみ	セーフティー・ディレイ用の静止画のファイル名を表示します。	

6 : VIDEO PLAYER

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
FILE NAME	ENTER	読み込んだ動画のファイル名を表示します。 タッチすると動画を読み込みます。
DURATION	表示のみ	読み込んだ動画の長さを表示します。
SKIP FORWARD TIME	1、 10 、30、60sec	早送り操作で進める時間を設定します。
SKIP BACKWARD TIME	1、 10 、30、60sec	巻き戻し操作で戻す時間を設定します。
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	出力音量を調節します。
REPEAT	OFF 、ON	「ON」に設定すると、繰り返し動画を再生します。

7 : AUDIO PLAYER

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
AUDIO PLAYER BANK	BANK A 、BANK B	オーディオ・プレーヤーのバンクを選びます。
AUDIO PLAYER 1 ~ 6		
IMPORT	ENTER	オーディオをインポートします。
NAME	ENTER	オーディオ・クリップに名前を付けます。
DURATION	表示のみ	オーディオ・クリップの長さを表示します。
OFFSET TIME	0.0 ~ 5.0sec	オーディオ・クリップの再生開始位置を設定します。
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	オーディオ・クリップの音量を設定します。
FADE IN TIME	0.0 ~ 10.0sec	フェード・イン時間を設定します。
FADE OUT TIME	0.0 ~ 10.0sec	フェード・アウト時間を設定します。
REPEAT	OFF 、ON	「ON」に設定すると、オーディオ・クリップをループ再生します。
PAD MODE	LATCH	パッドを押すたびに、再生／停止します。再生時は頭から再生します。
	PAUSE	パッドを押すたびに、再生／停止します。再生時は停止した位置から再生します。
	REPLAY	パッドを押すたびに、頭から再生します。
	MOMENTARY	パッドを押している間、再生します。
PAD COLOR	WHITE 、RED、GREEN、BLUE、YELLOW、MAGENTA、CYAN、DARK ORANGE、TURQUOISE GREEN、PURPLE	対応するパッドの、点灯色を設定します。
PLAYING MODE	BGM	オーディオ・クリップの再生方法を設定します。
	SE	
	SOLO	
COPY SETTINGS FROM	2 ~ 6	設定をコピーします。
SWAP SETTINGS WITH	2 ~ 6	設定を入れ替えます。
INITIALIZE	EXEC	設定を初期化します。

8 : MEMORY/MACRO/SEQ

SCENE MEMORY

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
START UP	起動時に呼び出す設定を指定します。	
	LAST MEMORY	電源を切る直前の状態に復帰します (ラスト・メモリー機能)。 現在の設定 (ラスト・メモリー) は、4 秒ごと、またはメニューを閉じるタイミングで保存されます。
	1 : MEMORY 1 ~ 32 : MEMORY 32 (*1)	選んだシーン・メモリーを呼び出します。
PRIORITY	MEMORY、PANEL	シーン・メモリーとパネルの状態のどちらを優先するか設定します。
MEMORY PROTECT	OFF、ON	「ON」にすると、設定の保存や初期化の操作を禁止して、シーン・メモリーの内容を保護します。 ※ ファクトリー・リセット時は、保護されたシーン・メモリーの内容も消去されます。
LOAD FROM STORAGE	ENTER	ストレージ内のシーン・メモリー設定ファイルを一覧表示します。 シーン・メモリー設定ファイルを選ばと、本体にシーン・メモリー (1 ~ 32) を呼び出すことができます。
SAVE TO STORAGE	ENTER	ストレージ内のシーン・メモリー設定ファイルを一覧表示します。 シーン・メモリー設定ファイルを選ばと、ストレージにシーン・メモリー (1 ~ 32) を保存することができます。
BUTTON ASSIGN	ENTER	BUTTON ASSIGN メニューを表示します。
VIDEO SWITCHER BUTTON 1 ~ 6	1 : MEMORY 1 ~ 32 : MEMORY 32 (*1) 初期値は、以下のとおりです。 1 : MEMORY 1 2 : MEMORY 2 3 : MEMORY 3 4 : MEMORY 4 5 : MEMORY 5 6 : MEMORY 6	VIDEO SWITCHER ボタンに割り当てるシーン・メモリーを選びます。
FADE TIME	0.0 ~ 4.0sec	シーン・メモリーを呼び出したときの映像切り替え時間を設定します。 ※ 設定した時間は、以下の項目で適用されます。
MIX/WIPE	OFF、ON	「ON」にすると、シーン・メモリーを呼び出したときに、切り替え効果がかかります。
PinP & KEY 1 ~ 2	OFF、ON	「ON」にすると、PinP 合成を含むシーン・メモリーを呼び出したときに、子画面がフェード・インします。
DSK	OFF、ON	「ON」にすると、DSK 合成を含むシーン・メモリーを呼び出したときに、上に重ねるテロップや映像がフェード・インします。
LOAD PARAMETERS	シーン・メモリーを呼び出したときに、以下の項目を呼び出すかどうかを設定します。 「OFF」にした項目は、シーン・メモリーの呼び出しから除外されます。	
VIDEO ASSIGN	OFF、ON	VIDEO ASSIGN メニュー
VIDEO INPUT	OFF、ON	VIDEO INPUT メニュー
VIDEO OUTPUT	OFF、ON	VIDEO OUTPUT メニュー
TRANSITION	TRANSITION の設定	
TRANSITION TYPE	OFF、ON	TRANSITION メニュー
MIX	OFF、ON	MIX メニュー
WIPE	OFF、ON	WIPE メニュー
SPLIT	OFF、ON	SPLIT メニュー
PinP & KEY	PinP & KEY の設定	
PinP & KEY 1	OFF、ON	PinP & KEY 1 メニュー
PinP & KEY 2	OFF、ON	PinP & KEY 2 メニュー
DSK	DSK の設定	
DSK	OFF、ON	DSK メニュー
VIDEO SWITCHER BUTTON	OFF、ON	VIDEO SWITCHER ボタンの状態
AUDIO FADER ASSIGN	OFF、ON	AUDIO FADER ASSIGN メニュー
AUDIO INPUT	OFF、ON	AUDIO INPUT メニュー
AUDIO OUTPUT	OFF、ON	AUDIO OUTPUT メニュー
AUDIO FOLLOW	OFF、ON	AUDIO FOLLOW メニュー
AUDIO AUTO MIXING	OFF、ON	AUDIO AUTO MIXING メニュー

(*1) 「NAME EDIT」でシーン・メモリーの名前を編集した場合は、変更後の名前が表示されます。

MACRO

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
LOAD FROM STORAGE	ENTER	ストレージ内のマクロ設定ファイル（.RMC）を一覧表示します。 マクロ設定ファイルを選ぶと、本体にマクロ（1 ～ 100）を呼び出すことができます。
SAVE TO STORAGE	ENTER	ストレージ内のマクロ設定ファイル（.RMC）を一覧表示します。 マクロ設定ファイルを選ぶと、ストレージにマクロ（1 ～ 100）を保存することができます。
BUTTON ASSIGN	ENTER	BUTTON ASSIGN メニューを表示します。
VIDEO SWITCHER BUTTON 1 ～ 6	1: MACRO 1 ～ 100: MACRO 100 (*2) 初期値は、以下のとおりです。 1: MACRO 1 2: MACRO 2 3: MACRO 3 4: MACRO 4 5: MACRO 5 6: MACRO 6	VIDEO SWITCHER ボタンに割り当てるマクロを選びます。
INITIALIZE	EXEC	マクロを初期化します。

(*2) 「NAME EDIT」でマクロの名前を編集した場合は、変更後の名前が表示されます。

SEQUENCER

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
SEQUENCER	OFF 、ON	シーケンサー機能をオン／オフします。
REPEAT EXECUTE	OFF 、ON	「ON」にすると、記録した操作を繰り返し実行します。
AUTO SEQUENCE	OFF 、ON	「ON」にすると、記録した操作を自動で実行します。
LOAD FROM STORAGE	ENTER	ストレージ内のシーケンス・ファイル（.RSQ）を一覧表示します。 シーケンス・ファイルを選ぶと、本体にシーケンサーの設定を呼び出すことができます。現在のシーケンサーの設定は、上書きされます。
SAVE TO STORAGE	ENTER	ストレージ内のシーケンス・ファイル（.RSQ）を一覧表示します。 シーケンス・ファイルを選ぶと、ストレージに現在のシーケンサーの設定を保存することができます。
INITIALIZE	EXEC	シーケンサーを初期化します。

9: STILL IMAGE

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明	
LOAD FROM STORAGE	ストレージから静止画を読み込みます。		
STILL IMAGE	STILL 1 ～ 16	ストレージから静止画を読み込むときに、保存先の本体メモリーを指定します。	
LOAD	ENTER	ストレージ内の静止画ファイルを一覧表示します。 一覧から静止画を選べると、ストレージから静止画を読み込むことができます。 読み込み対応フォーマット	
		フォーマット	Bitmap ファイル（.bmp）、24 ビットカラー、非圧縮
			PNG ファイル（.png）、24 ビットカラー ※ アルファ・チャンネル対応
			JPEG ファイル（.jpg）、24 ビットカラー
		解像度	システム・フォーマットに準拠
		ファイル名	半角英数 64 文字以内 ※ 必ず拡張子「.bmp」、'.png」、'.jpg」、または「.jpeg」を付けてください。
SAVE TO STORAGE	ストレージに静止画を書き出します。		
STILL IMAGE	STILL 1 ～ 16	ストレージに書き出す静止画を選びます。 [VALUE] つまみを押すと、ストレージ内（still サブ・ディレクトリー）の静止画が一覧表示されます。 ※ 書き出しできる静止画のファイル形式は、上記の「読み込み対応フォーマット」と同じです。 ※ SYSTEM メニューの「HDCP」が「ON」のときにキャプチャーされた静止画は、書き出しできません。	
SAVE	ENTER	ストレージ内の静止画ファイルを一覧表示します。 一覧から静止画を選べると、ストレージに静止画を書き出すことができます。	
SAVE TO INTERNAL STORAGE	ENABLE、DISABLE	静止画の保存方法を「一時保存」にすることができます。「DISABLE」の状態では電源を切ると、キャプチャーした静止画は削除されます。	
DELETE STILL IMAGE	EXEC	選んだ静止画を削除します。	
DELETE ALL STILL IMAGE	EXEC	すべての静止画を削除します。	

10: AUTO SWITCHING

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
AUTO SWITCHING	OFF , ON	オート・スイッチング機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると映像やシーン・メモリーが自動的に切り替わります。
TYPE	オート・スイッチングの動作モードを設定します。	
	INPUT SCAN	指定した間隔で、INPUT 1～6の映像が自動的に切り替わります。
	SCENE MEMORY SCAN	指定した間隔で、シーン・メモリー 1～32 を自動的に呼び出します。各シーン・メモリーに保存されている設定に従って、映像/音声切り替わります。
	BEAT SYNC	曲のビート（拍）に合わせて映像が切り替わります。
	VIDEO FOLLOWS AUDIO	マイクからの音声に合わせて映像が切り替わります。
	PinP & KEY 1～2 SCAN	あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に PinP & KEY 1/ 2 の映像が切り替わります。
	DSK SCAN	あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に DSK の映像が切り替わります。
TYPE = INPUT SCAN のとき		
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 ※ 映像入力がない場合は、スキップされます。	
	NORMAL	INPUT 1→6の順に切り替わります。
	REVERSE	INPUT 6→1の順に切り替わります。
	RANDOM	ランダムに切り替わります。
SCAN TRANSITION TIME	0.0～ 1.0 ～4.0sec	映像の切り替え時間を設定します。
SCAN TARGET	オート・スイッチングの対象とする映像を設定します。	
	VIDEO INPUT	最終出力映像とプレビュー映像
	PinP & KEY 1～2	PinP & KEY レイヤー（子画面）の映像
	DSK	DSK レイヤー（子画面）の映像
INPUT 1～6 TIME	OFF、1～ 5 ～120sec	映像の表示時間を設定します。「OFF」にすると、スキップされます。
TYPE = SCENE MEMORY SCAN のとき		
SCAN SEQUENCE	シーン・メモリーを切り替える順番を設定します。 ※ 設定が保存されていないシーン・メモリーは、スキップされます。	
	NORMAL	シーン・メモリー 1→32の順に切り替わります。
	REVERSE	シーン・メモリー 32→1の順に切り替わります。
	RANDOM	ランダムに切り替わります。
MEMORY 1～32 TIME	OFF、1～ 5 ～120sec	次のシーン・メモリーに切り替わるまでの時間を設定します。「OFF」にすると、スキップされます。
TYPE = BEAT SYNC のとき		
SYNC SOURCE	AUDIO IN 1～AUDIO IN 7/8、USB IN、Bluetooth IN、AUDIO PLAYER、VIDEO IN 1～6、VIDEO PLAYER	映像を同期させる入力音声を設定します。
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 ※ 映像入力がない場合は、スキップされます。	
	NORMAL	INPUT 1→6の順に切り替わります。
	REVERSE	INPUT 6→1の順に切り替わります。
	RANDOM	ランダムに切り替わります。
SCAN TRANSITION TIME	0.0～ 1.0 ～4.0sec	映像の切り替え時間を設定します。
SCAN CYCLE	1～ 4 ～10	何拍で次の映像に切り替えるかを設定します。
SCAN TARGET	VIDEO INPUT , PinP & KEY 1～2、DSK	オート・スイッチングの対象とする映像を設定します。
TYPE = VIDEO FOLLOWS AUDIO のとき		
AUDIO IN 1～7/8 TARGET、USB IN TARGET、Bluetooth IN TARGET、AUDIO PLAYER TARGET、VIDEO IN 1～6 TARGET、VIDEO PLAYER TARGET	OFF、VIDEO 1～6	音声を検出したときに出力する映像を設定します。
-THRESHOLD	-50dB～ -16dB ～0dB	ビデオ・フォロー・オーディオ機能が動作する基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超える音声が発出されると、映像が切り替わります。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
AUDIO MIX TARGET	OFF 、VIDEO 1 ～ 6	複数のマイクで音声を検出したときに出力する映像を設定します。「OFF」にすると、音声を検出した順番に映像が切り替わります。
AUDIO SILENT TARGET	OFF 、VIDEO 1 ～ 6	すべてのマイクから音声入力がないときに出力する映像を設定します。「OFF」にすると、最後に切り替わった映像を出力し続けます。
AUDIO REDETECTION TIME	0 ～ 4.0 ～ 30.0sec	映像切り替えが完了したあと、再び音声の検出を始めるまでの時間を設定します。
TYPE = PinP & KEY 1 ～ 2 SCAN のとき		
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 ※ 映像入力がない場合は、スキップされます。	
	NORMAL	INPUT 1 → 6 の順に切り替わります。
	REVERSE	INPUT 6 → 1 の順に切り替わります。
	RANDOM	ランダムに切り替わります。
VIDEO 1 ～ 6 TIME	OFF、1 ～ 5 ～ 120sec	映像の表示時間を設定します。
STILL 1 ～ 16 TIME	OFF、1 ～ 5 ～ 120sec	静止画の表示時間を設定します。
V. PLAYER TIME	OFF、1 ～ 5 ～ 120sec	ビデオ・プレーヤーの表示時間を設定します。
TYPE = DSK SCAN のとき		
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 ※ 映像入力がない場合は、スキップされます。	
	NORMAL	INPUT 1 → 6 の順に切り替わります。
	REVERSE	INPUT 6 → 1 の順に切り替わります。
	RANDOM	ランダムに切り替わります。
VIDEO 1 ～ 6 TIME	OFF、1 ～ 5 ～ 120sec	映像の表示時間を設定します。
STILL 1 ～ 16 TIME	OFF、1 ～ 5 ～ 120sec	静止画の表示時間を設定します。
V.PLAYER TIME	OFF、1 ～ 5 ～ 120sec	ビデオ・プレーヤーの表示時間を設定します。

11: REMOTE

RC232

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
RS-232	RS-232 コマンドの送受信に関する設定をします。	
RS-232	OFF、 ON	「ON」にすると、RS-232 コマンドの送受信ができます。
BAUDRATE	9600、38400、 115200	RS-232 端子の通信速度 (bps) を設定します。

TALLY/GPO

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
TALLY/GPO	TALLY/GPIO 端子から出力するタリー信号や制御信号を設定します。	
TEMPLATE	TALLY 、GPO、TALLY/GPO	TALLY/GPO 1 ～ 16 の設定用テンプレートを選びます。 [VALUE] つまみを押すと、「TALLY/GPO 1 ～ 16」にテンプレートの設定が反映されます。
TALLY/GPO 1 ～ 16	TALLY/GPIO 端子のコネクター・ピン 1 ～ 16 に、タリー信号を割り当てます。	
	PGM VIDEO IN 1 ～ 6	該当する端子の映像が最終出力されたときに、タリー信号が出力されます。
	PGM STILL 1 ～ 16	該当する静止画が最終出力されたときに、タリー信号が出力されます。
	PGM VIDEO PLAYER	ビデオ・プレーヤーの映像が最終出力されたときに、タリー信号が出力されます。
	PGM INPUT 1 ～ 6	該当する VIDEO SWITCHER ボタンで最終出力映像を選んだときに (赤点灯)、タリー信号が出力されます。
	PST VIDEO IN 1 ～ 6	該当する端子の映像がプレビュー出力されたときに、タリー信号が出力されます。
	PST STILL 1 ～ 16	該当する静止画がプレビュー出力されたときに、タリー信号が出力されます。
	PST VIDEO PLAYER	ビデオ・プレーヤーの映像がプレビュー出力されたときに、タリー信号が出力されます。
	PST INPUT 1 ～ 6	該当する VIDEO SWITCHER ボタンでプレビュー出力映像を選んだときに (緑点灯)、タリー信号が出力されます。
	TALLY/GPIO 端子のコネクター・ピン 1 ～ 16 に、GPO を割り当てます。	
	GPO 1 ～ 16	フットスイッチ、GPI に GPO 出力機能を割り当て、それぞれを操作することで、制御信号が出力されます。

GPI

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明	
GPI	GPI に割り当てる機能を設定します。		
GPI 1 ～ 8	外部から制御信号が入力されると、割り当てられた機能を実行します。		
	CATEGORY	VALUE	説明
	N/A	---	機能を割り当てません。
	PGM CH SELECT	INPUT 1 ～ 6	PGM バスに送る映像を切り替えます。
	PST CH SELECT	INPUT 1 ～ 6	PST バスに送る映像を切り替えます。
	AUX CH SELECT	VIDEO 1 ～ 6、STILL 1 ～ 16、V.PLAYER、INPUT 1 ～ 6	AUX バスに送る映像を切り替えます。
	INPUT 1 ～ 6 ASSIGN	VIDEO IN 1 ～ 6、STILL 1 ～ 16、V.PLAYER、N/A	INPUT 1 ～ 6 に割り当てる映像を変更します。
	STILL OUTPUT	STILL 1 ～ 16	通常の出力を一時的に止めて、静止画をカットでプレビュー／最終出力します。
	VIDEO PLAYER OUTPUT	---	通常の出力を一時的に止めて、ビデオ・プレーヤーの映像をカットでプレビュー／最終出力します。
	PinP & KEY 1 ～ 2 SOURCE	VIDEO 1 ～ 6、STILL 1 ～ 16、V.PLAYER、INPUT 1 ～ 6	子画面の映像ソースを切り替えます。
	DSK SOURCE	VIDEO 1 ～ 6、STILL 1 ～ 16、V.PLAYER、INPUT 1 ～ 6	DSK の映像ソースを切り替えます。
	BUTTON CONTROL	CUT BUTTON、AUTO BUTTON MIX BUTTON、WIPE BUTTON SPLIT BUTTON PinP & KEY 1 ～ 2 PVW BUTTON PinP & KEY 1 ～ 2 PGM BUTTON DSK PVW BUTTON、DSK PGM BUTTON AUDIO EFFECT 1 ～ 3 BUTTON AUDIO PLAYER 1 ～ 6 BUTTON	「VALUE」 で選んだボタンを押したときと同じ動作をします。
	AUDIO INPUT MUTE	AUDIO IN 1 ～ 7/8、USB IN、Bluetooth IN、AUDIO PLAYER、VIDEO 1 ～ 6、V.PLAYER	入力音声のミュート機能をオン／オフします。
	AUDIO OUTPUT MUTE	MAIN BUS、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS、USB OUT、STREAM/RECORD	出力音声のミュート機能をオン／オフします。
	AUDIO INPUT SOLO	AUDIO IN 1 ～ 7/8、USB IN、Bluetooth IN、AUDIO PLAYER、VIDEO 1 ～ 6、V.PLAYER	入力音声のソロ機能をオン／オフします。
	AUDIO OUTPUT SOLO	MAIN BUS、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS	出力音声のソロ機能をオン／オフします。
	VOICE CHANGER	AUDIO IN 1、2	ボイス・チェンジャーをオン／オフします。
	AUTO MIXING	---	オート・スイッチング機能をオン／オフします。
	REVERB (MOMENTARY)	---	制御信号が入力されている間だけ、リバーブをオンにします。
	REVERB (ALTERNATE)	---	リバーブをオン／オフします。
	OUTPUT FADE	---	最終出力映像をフェード・イン／アウトします。
	LOAD MEMORY	MEMORY 1 ～ 32	シーン・メモリーを呼び出します。
	INPUT SCAN	NORMAL	制御信号を入力するたびに、最終出力を INPUT 1 → 6 の順に切り替えます。
		REVERSE	制御信号を入力するたびに、最終出力を INPUT 6 → 1 の順に切り替えます。
	SCENE MEMORY SCAN	NORMAL	制御信号を入力するたびに、シーン・メモリーを 1 → 32 の順に呼び出します。
		REVERSE	制御信号を入力するたびに、シーン・メモリーを 32 → 1 の順に呼び出します。
	PinP & KEY 1 ～ 2 SCAN	NORMAL	制御信号を入力するたびに、PinP & KEY 1 ～ 2 の子画面の映像を VIDEO IN 1 ～ 6 → STILL 1 ～ 16 の順に切り替えます。
		REVERSE	制御信号を入力するたびに、PinP & KEY 1 ～ 2 の子画面の映像を STILL 16 ～ 1 → VIDEO IN 6 ～ 1 の順に切り替えます。
	DSK SCAN	NORMAL	制御信号を入力するたびに、DSK のテロップの映像を VIDEO IN 1 ～ 6 → STILL 1 ～ 16 の順に切り替えます。
		REVERSE	制御信号を入力するたびに、DSK のテロップの映像を STILL 16 ～ 1 → VIDEO IN 6 ～ 1 の順に切り替えます。
	MACRO EXECUTE	MACRO 1 ～ 100	マクロ（記録した一連の操作）を実行します。
	SEQUENCER	MODE ON/OFF、NEXT、PREVIOUS、AUTO SEQUENCE	シーケンサー機能がオンのとき、「VALUE」 で選んだボタンを押したときと同じ動作をします。
	GPO (ONE SHOT)	GPO 1 ～ 16	制御信号を 0.5 秒間出力します。
	GPO (ALTERNATE)	GPO 1 ～ 16	制御信号を入力するたびに、制御信号の出力をオン／オフします。

CTL/EXP

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明	
CTL/EXP 1、2			
CTL/EXP TYPE	CTL/EXP 1、2 端子に接続したフットスイッチやエクスプレッション・ペダルに関する設定をします。		
	CTL/EXP 1 または 2 端子に接続する機器（フットスイッチ、エクスプレッション・ペダル）を設定します。		
	OFF	CTL/EXP 端子を無効にします。	
	CTL A & CTL B	フットスイッチを接続するときに選びます。	
	EXP	エクスプレッション・ペダルを接続するときに選びます。	
CTL/EXP TYPE = CTL A & CTL B のとき			
ASSIGN	フットスイッチの CTL A / CTL B に割り当てる機能を設定します。		
	CATEGORY	VALUE	説明
CTL A CTL B	N/A	---	機能を割り当てません。
	PGM CH SELECT	INPUT 1 ～ 6	PGM バスに送る映像を切り替えます。
	PST CH SELECT	INPUT 1 ～ 6	PST バスに送る映像を切り替えます。
	AUX CH SELECT	INPUT 1 ～ 6	AUX バスに送る映像を切り替えます。
	INPUT 1 ～ 6 ASSIGN	VIDEO 1 ～ 6、STILL 1 ～ 16、 V.PLAYER、INPUT 1 ～ 6	INPUT 1 ～ 6 に割り当てる映像を変更します。
	STILL OUTPUT	STILL 1 ～ 16	通常の出力を一時的に止めて、静止画をカットでプレビュー／最終出力します。もう一度フットスイッチを踏むと、通常の出力に戻ります。
	VIDEO PLAYER OUTPUT	---	通常の出力を一時的に止めて、ビデオ・プレーヤーの映像をカットでプレビュー／最終出力します。
	PinP & KEY 1 ～ 2 SOURCE	VIDEO 1 ～ 6、STILL 1 ～ 16、 V.PLAYER、INPUT 1 ～ 6	子画面の映像ソースを切り替えます。
	DSK SOURCE	VIDEO 1 ～ 6、STILL 1 ～ 16、 V.PLAYER、INPUT 1 ～ 6	DSK の映像ソースを切り替えます。
	BUTTON CONTROL	CUT BUTTON、AUTO BUTTON MIX BUTTON、WIPE BUTTON SPLIT BUTTON PinP & KEY 1 ～ 2 PVW BUTTON PinP & KEY 1 ～ 2 PGM BUTTON DSK PVW BUTTON、DSK PGM BUTTON AUDIO EFFECT 1 ～ 3 BUTTON AUDIO PLAYER 1 ～ 6 BUTTON	「VALUE」で選んだボタンを押したときと同じ動作をします。
	AUDIO INPUT MUTE	AUDIO IN 1 ～ 7/8、USB IN、 Bluetooth IN、AUDIO PLAYER、 VIDEO 1 ～ 6、V.PLAYER	入力音声のミュート機能をオン／オフします。
	AUDIO OUTPUT MUTE	MAIN BUS、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS、USB OUT、STREAM/ RECORD	出力音声のミュート機能をオン／オフします。
	AUDIO INPUT SOLO	AUDIO IN 1 ～ 7/8、USB IN、 Bluetooth IN、AUDIO PLAYER、 VIDEO 1 ～ 6、V.PLAYER	入力音声のソロ機能をオン／オフします。
	AUDIO OUTPUT SOLO	MAIN BUS、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS	出力音声のソロ機能をオン／オフします。
	VOICE CHANGER	AUDIO IN 1、2	ボイス・チェンジャーをオン／オフします。
	AUTO MIXING	---	オート・スイッチング機能をオン／オフします。
	REVERB (MOMENTARY)	---	フットスイッチを踏んでいる間だけ、リバーブをオンにします。
	REVERB (ALTERNATE)	---	リバーブをオン／オフします。
	OUTPUT FADE	---	最終出力映像をフェード・イン／アウトします。
	LOAD MEMORY	MEMORY 1 ～ 32	シーン・メモリーを呼び出します。
	INPUT SCAN	NORMAL	フットスイッチを踏むたびに、最終出力を INPUT 1 → 6 の順に切り替えます。
		REVERSE	フットスイッチを踏むたびに、最終出力を INPUT 6 → 1 の順に切り替えます。
	SCENE MEMORY SCAN	NORMAL	フットスイッチを踏むたびに、シーン・メモリーを 1 → 32 の順に呼び出します。
		REVERSE	フットスイッチを踏むたびに、シーン・メモリーを 32 → 1 の順に呼び出します。
	PinP & KEY 1 ～ 2 SCAN	NORMAL	フットスイッチを踏むたびに、PinP & KEY 1 ～ 2 の子画面の映像を VIDEO IN 1 ～ 6 → STILL 1 ～ 16 の順に切り替えます。
		REVERSE	フットスイッチを踏むたびに、PinP & KEY 1 ～ 2 の子画面の映像を STILL 16 ～ 1 → VIDEO IN 6 ～ 1 の順に切り替えます。
	DSK SCAN	NORMAL	フットスイッチを踏むたびに、DSK のテロップの映像を VIDEO IN 1 ～ 6 → STILL 1 ～ 16 の順に切り替えます。
		REVERSE	フットスイッチを踏むたびに、DSK のテロップの映像を STILL 16 ～ 1 → VIDEO IN 6 ～ 1 の順に切り替えます。
	MACRO EXECUTE	MACRO 1 ～ 100	マクロ（記録した一連の操作）を実行します。
	SEQUENCER	MODE ON/OFF、NEXT、 PREVIOUS、 AUTO SEQUENCE	シーケンサー機能がオンのとき、「VALUE」で選んだボタンを押したときと同じ動作をします。
	GPO (ONE SHOT)	GPO 1 ～ 16	制御信号を 0.5 秒間出力します。
	GPO (ALTERNATE)	GPO 1 ～ 16	フットスイッチを踏むたびに、制御信号の出力をオン／オフします。

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明	
CTL/EXP TYPE = EXP のとき			
ASSIGN	エクスプレッション・ペダルに割り当てる機能を設定します。		
EXP	CATEGORY	VALUE	説明
	N/A	---	機能を割り当てません。
	VIDEO FADER	FADE、CUT	FADE： ビデオ・フェーダーを操作します。 CUT： 最終出力映像とプレビュー映像をカットで切り替えます。
	STILL OUTPUT	STILL 1 ～ 16	通常の出力を一時的に止めて、静止画をカットでプレビュー／最終出力します。
	VIDEO PLAYER OUTPUT	---	通常の出力を一時的に止めて、ビデオ・プレーヤーの映像をカットでプレビュー／最終出力します。
	AUDIO INPUT LEVEL	AUDIO IN 1 ～ 7/8、USB IN、 Bluetooth IN AUDIO PLAYER VIDEO 1 ～ 6、V.PLAYER	入力音量を調節します。
	AUDIO OUTPUT LEVEL	MAIN BUS、AUX 1 BUS、 AUX 2 BUS、USB OUT、 STREAM/RECORD	出力音量を調節します。
	VOICE CHANGER	AUDIO IN 1 PITCH AUDIO IN 1 FORMANT AUDIO IN 1 MIX AUDIO IN 2 PITCH AUDIO IN 2 FORMANT AUDIO IN 2 MIX	普通の声（0）とエフェクトをかけた声（100）のバランスを調節します。
	REVERB LEVEL	---	リバーブからの音声の戻り量（リターン・レベル）を調節します。
CALIBRATION	ENTER	EXP CALIBRATION 画面が表示されます。 画面の指示に従って、エクスプレッション・ペダルのキャリブレーション（調節）をします。 エクスプレッション・ペダルを初めてお使いになるときは、ペダルを最適な状態にするために、必ずキャリブレーションを実行してください。 また、経年変化や使用環境によって、エクスプレッション・ペダルが最適な動作をしなくなる場合があります。このようなときにも、エクスプレッション・ペダルのキャリブレーションを実行します。	

Bluetooth

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
Bluetooth PAIRING	Bluetooth に関する設定をします。	
Bluetooth	OFF、ON	Bluetooth 機能をオン／オフします。
PAIRING	EXEC	Bluetooth 機器とのペアリングを実行します。
STATUS	Bluetooth 接続の状態を表示します。	
	OFF	Bluetooth 機能オフ
	PAIRING MODE	ペアリング中
	NOT CONNECTED	接続待ち
	CONNECTED	接続済み

CAMERA CONTROL

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明
CAMERA ID	CAMERA 1 ～ 6	操作対象のカメラを選びます。
PROTOCOL	N/A、JVC、Panasonic、 Canon PTZ、VISCA over IP、 PTZOptics、Avonic	カメラのプロトコルを設定します。
IP ADDRESS	192.168.0.101	カメラの IP アドレスを入力します。
LOGIN NAME	ENTER	LOGIN NAME 画面を表示します。 [PROTOCOL] が「JVC」のとき、カメラと接続するために必要なログイン名を入力します。
PASSWORD	ENTER	PASSWORD 画面を表示します。 [PROTOCOL] が「JVC」のとき、カメラと接続するために必要なパスワードを入力します。
CAMERA PRESET	PRESET 1 ～ 6	設定を呼び出す／登録するプリセットを選びます。
RECALL	EXEC	画面にタッチすると、カメラからプリセットを呼び出すことができます。
ALL CAMERAS RECALL	OFF	操作対象のカメラからプリセットを呼び出します。
	ON	すべてのカメラ（CAMERA 1 ～ 6）からプリセットを同時に呼び出します。
STORE	EXEC	画面にタッチすると、カメラの設定をプリセットに登録することができます。 ※ プリセットは、カメラ本体に保存されます。
TALLY CH	VIDEO IN 1 ～ 6	カメラの映像が入力されている端子を指定します。VR-6HD からカメラの映像が最終出力されると、カメラのタリー・ランプが点灯します。

12: NETWORK

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明	
NETWORK INFORMATION	ENTER	以下の情報を表示します。	
	項目	説明	
	CONNECTION	接続状態	
	IP ADDRESS	IP アドレス	
	SUBNET MASK	サブネット・マスク	
	DEFAULT GATEWAY	デフォルト・ゲートウェイ	
	DNS SERVER	DNS サーバー	
PRIORITY	LAN、TETHERING	LAN とスマートフォンのテザリングのどちらを優先して配信に使用するか設定します。	
CONFIGURE	IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイの設定方法を選びます。		
	MANUAL	手動で設定します。	
	USING DHCP	LAN 内の DHCP サーバーから IP アドレスなど、ネットワーク接続に必要な情報を自動取得します。	
IP ADDRESS（*1）	---.---.---.---	接続するネットワークに従って、IP アドレスを設定します。	
SUBNET MASK（*1）	---.---.---.---	接続するネットワークに従って、サブネット・マスクを設定します。	
DEFAULT GATEWAY（*1）	---.---.---.---	接続するネットワークに従って、デフォルト・ゲートウェイを設定します。	
DNS SERVER（*1）	---.---.---.---	DNS サーバーを設定します。	
TETHERING	START、STOP	スマートフォンのテザリングを、スタート／ストップします。	
2D CODE FOR SMART TALLY	ENTER	スマート・タリーの設定画面（Web）にアクセスする QR コード ※ VR-6HD がネットワークに接続されていないと、QR コードは表示されません。	
NETWORK PASSWORD	ENTER	NETWORK PASSWORD 画面を表示します。 ネットワーク接続に必要なパスワードを 4 桁で設定します。 パスワードの表示	
		パスワード未設定	----
		パスワード設定済み	****
		※ 同じネットワークに接続したパソコンなどから VR-6HD にアクセスするときに、ここで設定したパスワードの入力が必要です。	
MAC ADDRESS	--:--:--:--:--:--	VR-6HD の MAC アドレスを表示します。	

(*1) 「CONFIGURE」が「MANUAL」のときに設定できます。

13: SD CARD/USB MEMORY

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SD CARD SD カードの設定をします。		
EJECT	EXEC	SD カードを取り出すときに実行します。
FORMAT	EXEC	SD カードをフォーマットします。
SPEED TEST	EXEC	SD カードの処理速度を計測します。
USB MEMORY USB メモリーの設定をします。		
EJECT	EXEC	USB メモリーを取り出すときに実行します。
FORMAT	EXEC	USB メモリーをフォーマットします。
SPEED TEST	EXEC	USB メモリーの処理速度を計測します。
RESTORE ALL SETTINGS	ENTER	ストレージ内の設定ファイル (.VR6) を一覧表示します。 設定ファイルを選べば、本体に設定をリストア (復元) することができます。現在の設定は、上書きされます。
BACKUP ALL SETTINGS	ENTER	ストレージ内の設定ファイル (.VR6) を一覧表示します。 ストレージに現在の設定をバックアップすることができます。 ※ SYSTEM メニューの「TEST PATTERN」や「TEST TONE」など、一部の設定はファイルに保存されません。

14 : DASHBOARD

メニュー項目	設定値（太字は初期値）	説明		
LCD ASSIGN				
LCD ASSIGN A, B	N/A	非表示		
	CLOCK	アナログ／デジタル時計を表示します。		
	STREAM/RECORD STATUS 1	配信／録画のステータスを表示します。		
		CATEGORY	VALUE	説明
		---	START/STOP	配信／録画のスタート／ストップ
	STREAM/RECORD STATUS 2	配信／録画のステータスを表示します。		
	USER BUTTON1/2、 USER BUTTON 3/4	画面内にタッチすると、設定した機能を実行します。		
		CATEGORY	VALUE	説明
		N/A	---	機能を割り当てません。
		FREEZE	---	フリーズ機能をオン／オフします。
		AUTO SWITCHING	---	オート・スイッチング機能をオン／オフします。
		INPUT ASSIGN	INPUT 1 ～ 6	ボタンを押すたびに、指定した VIDEO SWITCHER ボタンに割り当てる映像ソースを、VIDEO IN 1 ～ 6→ STILL 1 ～ 16 の順に切り替えます。
		STILL OUTPUT	STILL 1 ～ 16	通常の出力を一時的に止めて、静止画をカットでプレビュー／最終出力します。
		VIDEO PLAYER OUTPUT	---	通常の出力を一時的に止めて、ビデオ・プレーヤーの映像をカットでプレビュー／最終出力します。
		SCENE MEMORY	MEMORY 1 ～ 32	シーン・メモリーを呼び出します。
		INPUT SCAN	NORMAL	ボタンを押すたびに、最終出力を INPUT 1→6 の順に切り替えます。
			REVERSE	ボタンを押すたびに、最終出力を INPUT 6→1 の順に切り替えます。
		MEMORY SCAN	NORMAL	ボタンを押すたびに、シーン・メモリーを 1→32 の順に呼び出します。
			REVERSE	ボタンを押すたびに、シーン・メモリーを 32→1 の順に呼び出します。
		PinP & KEY 1 ～ 2 SCAN	NORMAL	ボタンを押すたびに、PinP & KEY 1 ～ 2 の子画面の映像を VIDEO IN 1 ～ 6 → STILL 1 ～ 16 の順に切り替えます。
			REVERSE	ボタンを押すたびに、PinP & KEY 1 ～ 2 の子画面の映像を STILL 16 ～ 1 → VIDEO IN 6 ～ 1 の順に切り替えます。
		DSK SCAN	NORMAL	ボタンを押すたびに、DSK のテロップの映像を VIDEO IN 1 ～ 6 → STILL 1 ～ 16 の順に切り替えます。
			REVERSE	ボタンを押すたびに、DSK のテロップの映像を STILL 16 ～ 1 → VIDEO IN 6 ～ 1 の順に切り替えます。
		EXTERNAL REC CONTROL	---	REC コントロール機能対応のレコーダーを接続しているとき、レコーダーの録画開始／停止をコントロールします。
		MACRO EXECUTE	MACRO 1 ～ 100	マクロ（記録した一連の操作）を実行します。
		SEQUENCER	---	シーケンサーの実行画面を表示します。
		STREAM/RECORD	SETUP	配信／録画のセットアップ画面を表示します。
START/STOP			配信／録画を開始／停止します。	
SAFETY IMAGE			セーフティー・ディレイ機能をオン／オフします。	
VIDEO PLAYER		SETUP	ビデオ・プレーヤーのセットアップ画面を表示します。	
		START/PAUSE/STOP	動画の再生を開始／停止します。	
GPO（ONE SHOT）		GPO 1 ～ 16	制御信号を 0.5 秒間出力します。	
GPO（ALTERNATE）		GPO 1 ～ 16	ボタンを押すたびに、制御信号の出力をオン／オフします。	
CAMERA CONTROL		---	カメラ・コントロール機能をオン／オフします。オンにすると、VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンでプリセットを呼び出すことができます。	
SYSTEM		EFFECTS TRANSITION SYNC	Bluetooth 機能や EFFECTS TRANSITION SYNC 機能をオン／オフします。ボタンを長押しすると、ペアリングを開始します。	
		Bluetooth CONTROL		
VIDEO OUT ASSIGN				
VIDEO OUT ASSIGN A, B		N/A	非表示	
	CLOCK	アナログ／デジタル時計を表示します。		
	STREAM/RECORD STATUS 1	配信／録画のステータスを表示します。		
	STREAM/RECORD STATUS 2	配信／録画のステータスを表示します。		

15: SYSTEM

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明	
DATE&TIME	メニュー項目	設定値	説明
	CONFIGURE	時刻の合わせかたを選びます。	
		MANUAL	手動で時刻を合わせます。
		USING NTP	NTP サーバーに問い合わせ、時刻を合わせます。
	TIME ZONE	-	タイム・ゾーンを設定します。
	DATE FORMAT	Month/Day/Year Day/Month/Year Year/Month/Day	日付の表示形式を設定します。
	CLOCK TYPE	ANALOG、DIGITAL	時計表示のタイプを設定します。
NTP SERVER	-	NTP サーバーを設定します。	
Bluetooth	メニュー項目	設定値	説明
	Bluetooth	OFF、ON	Bluetooth 機能をオン／オフします。
	PAIRING	EXEC	Bluetooth 機器とのペアリングを実行します。
	STATUS	Bluetooth 接続の状態を表示します。	
		OFF	Bluetooth 機能オフ
		PAIRING MODE	ペアリング中
		NOT CONNECTED	接続待ち
CONNECTED	接続済み		
HDCP (*1)	HDCP の有効 (ON) ／無効 (OFF) を設定します。		
	OFF	著作権保護 (HDCP) された映像は入力できません。	
	ON	著作権保護 (HDCP) された映像を入力できます。また、出力される映像に HDCP を付加します。 ※ USB STREAM 端子から映像／音声は出力されません。	
SYSTEM FORMAT (*1)	1080p、720p	システム・フォーマットを設定します。出力フォーマットは、システム・フォーマットと同一です。	
VIDEO OUT 1 ～ 3	1080p、1080i、720p	VIDEO OUT 1 ～ 3 端子の出力フォーマットを設定します。	
USB OUT	1080p、720p	USB STREAM 端子の出力フォーマットを設定します。	
STREAM/RECORD	1080p、720p	DIRECT STREAM 端子の出力フォーマットを設定します。	
FRAME RATE (*1)	60、59.94、50、30、29.97、25、24、23.98Hz	フレーム・レートを設定します。	
USB OUT (*1)	30、60Hz	USB STREAM 端子のフレーム・レートを設定します。 ※ [FRAME RATE] の設定によって、設定値が異なります。	
	29.97、59.94Hz		
	25、50Hz		
STREAM/RECORD (*1)	30、60Hz	DIRECT STREAM 端子のフレーム・レートを設定します。 ※ [FRAME RATE] の設定によって、設定値が異なります。	
	29.97、59.94Hz		
	25、50Hz		
PANEL OPERATION	映像切り替えの操作モードを設定します。		
	DISSOLVE	出力したい映像を選び、PGM バスへ即座に出力するモードです。	
	PGM/PST	PVW バスに PST 映像を表示させ、映像を確認してから PGM バスへ出力するモードです。	
EFFECTS TRANSITION SYNC	OFF、ON	PinP 合成や DSK 合成のオン／オフを映像切り替えに連動させるかどうかを設定します。 [ON] にすると、映像切り替えに連動して、PinP/DSK 合成がオン／オフします。映像を切り替えると、プレビュー出力されていた合成結果が最終出力されます。	
EFFECTS SPOT	DISABLE、ENABLE	[PVW] [PGM] ボタンのスポット機能の有効 (ENABLE) ／無効 (DISABLE) を設定します。 スポットとは、各レイヤーの [PVW] または [PGM] ボタンを長押しすると、ボタンを押している間、操作対象のレイヤーだけを表示する機能です。	
AUDIO FADER/KNOB MODE	CATCH	フェーダーやつまみを操作したとき、フェーダーやつまみの位置とパラメーターの値が一致していない場合は、パラメーターの値と一致するまで操作が無視されます。 ※ 操作が無視されている間は、[SETUP] ボタンが点滅します。フェーダーやつまみの位置をパラメーターの値が近づくほど点滅の周期が速くなります。	
	DIRECT	フェーダーやつまみを操作したとき、該当するパラメーターの値を即座にフェーダーやつまみの位置に合わせます。	

(*1) 設定の変更は、[VALUE] つまみを押して確定するまで反映されません。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明		
PANEL LOCK	パネル・ロックの有効 (ON) / 無効 (OFF) を設定します。			
	メニュー項目	説明		
	ALL	すべての設定を一括でオン/オフします。		
	TOUCH SCREEN	タッチパネルの操作		
	VIDEO SWITCHER ALL	VIDEO SWITCHER セクションにあるボタン		
	VIDEO SWITCHER 1 ~ 6 BUTTON	VIDEO SWITCHER [1] ~ [6] ボタン		
	CUT BUTTON	[CUT] ボタン		
	AUTO BUTTON	[AUTO] ボタン		
	MODE ALL	MODE セクションにあるボタン		
	INPUT SELECT BUTTON	[INPUT SELECT] ボタン		
	AUX BUTTON	[AUX] ボタン		
	SCENE MEMORY BUTTON	[SCENE MEMORY] ボタン		
	MACRO BUTTON	[MACRO] ボタン		
	TRANSITION ALL	TRANSITION セクションにあるボタン		
	MIX BUTTON	[MIX] ボタン		
	WIPE BUTTON	[WIPE] ボタン		
	SPLIT BUTTON	[SPLIT] ボタン		
	PinP & KEY 1 ~ 2 ALL	PinP & KEY 1 ~ 2 セクションにあるボタン		
	PVW BUTTON	PinP & KEY 1 ~ 2 [PVW] ボタン		
	PGM BUTTON	PinP & KEY 1 ~ 2 [PGM] ボタン		
	POSITION H KNOB	[POSITION H] つまみ		
	POSITION V KNOB	[POSITION V] つまみ		
	DSK ALL	DSK セクションにあるボタン		
	PVW BUTTON	DSK [PVW] ボタン		
	PGM BUTTON	DSK [PGM] ボタン		
	MONITOR BUTTON	[MONITOR] ボタン		
	PANEL SETUP BUTTON	PANEL [SETUP] ボタン		
	メニュー項目説明			
	OUTPUT FADE BUTTON	[OUTPUT FADE] ボタン	[OUTPUT FADE] ボタン	
	AUDIO MIXER 1 ~ 7/8 ALL	AUDIO INPUT セクションにあるボタン、つまみ	AUDIO INPUT セクションにあるボタン、つまみ	
	SETUP BUTTON	SETUP [1] ~ [7/8] ボタン	SETUP [1] ~ [7/8] ボタン	
	SOLO BUTTON	SOLO [1] ~ [7/8] ボタン	SOLO [1] ~ [7/8] ボタン	
MUTE BUTTON	MUTE [1] ~ [7/8] ボタン	MUTE [1] ~ [7/8] ボタン		
LEVEL FADER	LEVEL [1] ~ [7/8] フェーダー	LEVEL [1] ~ [7/8] フェーダー		
MAIN ALL	AUDIO OUTPUT セクションにあるボタン、つまみ	AUDIO OUTPUT セクションにあるボタン、つまみ		
SETUP BUTTON	MAIN [SETUP] ボタン	MAIN [SETUP] ボタン		
MUTE BUTTON	MAIN [MUTE] ボタン	MAIN [MUTE] ボタン		
LEVEL FADER	MAIN [LEVEL] フェーダー	MAIN [LEVEL] フェーダー		
AUX 1 KNOB	[AUX 1] つまみ	[AUX 1] つまみ		
AUX 2 KNOB	[AUX 2] つまみ	[AUX 2] つまみ		
USB STREAM KNOB	[USB STREAM] つまみ	[USB STREAM] つまみ		
STREAM/RECORD KNOB	[STREAM/RECORD] つまみ	[STREAM/RECORD] つまみ		
AUDIO EFFECT ALL	AUDIO EFFECT セクションにあるボタン	AUDIO EFFECT セクションにあるボタン		
SETUP BUTTON	AUDIO EFFECT [SETUP] ボタン	AUDIO EFFECT [SETUP] ボタン		
AUDIO EFFECT 1 ~ 3 BUTTON	AUDIO EFFECT [1] ~ [3] ボタン	AUDIO EFFECT [1] ~ [3] ボタン		
AUDIO PLAYER ALL	AUDIO PLAYER セクションにあるボタン	AUDIO PLAYER セクションにあるボタン		
SETUP BUTTON	AUDIO PLAYER [SETUP] ボタン	AUDIO PLAYER [SETUP] ボタン		
AUDIO PLAYER 1 ~ 6 PAD	AUDIO PLAYER [1] ~ [6] パッド	AUDIO PLAYER [1] ~ [6] パッド		
AUDIO PLAYER KNOB	AUDIO PLAYER [LEVEL] つまみ	AUDIO PLAYER [LEVEL] つまみ		
AUX LINKED PGM	AUX バスに最終出力と同じ映像を送るかどうかを設定します (AUX リンク)。			
	OFF	VIDEO SWITCHER [1] ~ [6] ボタンで、AUX バスの映像を選びます。 INPUT 1 ~ 6 に割り当てられていない映像を選ぶ場合は、VIDEO ASSIGN メニューの「AUX SOURCE」で設定します。		
	AUTO LINK MANUAL LINK	AUX リンクが有効になり、AUX バスには最終出力と同じ映像が送られます。 AUX リンクを一時的に無効にする VIDEO SWITCHER [1] ~ [6] ボタンを押すと、VIDEO SWITCHER [1] ~ [6] ボタンの選択が有効 (緑点灯) になります。AUX バスに送る映像を任意で選ぶことができます。 再び AUX リンクを有効にする		
		<table><tr><td>AUTO LINK</td><td>[AUTO] ボタンなどを操作して最終出力映像を切り替えると、AUX リンクが自動的に有効になります。</td></tr><tr><td>MANUAL LINK</td><td>選択中 (緑点灯) の VIDEO SWITCHER [1] ~ [6] ボタンを押して消灯させると、AUX リンクが有効になります。</td></tr></table>	AUTO LINK	[AUTO] ボタンなどを操作して最終出力映像を切り替えると、AUX リンクが自動的に有効になります。
AUTO LINK	[AUTO] ボタンなどを操作して最終出力映像を切り替えると、AUX リンクが自動的に有効になります。			
MANUAL LINK	選択中 (緑点灯) の VIDEO SWITCHER [1] ~ [6] ボタンを押して消灯させると、AUX リンクが有効になります。			
OUTPUT FADE ASSIGN	[OUTPUT FADE] ボタンの機能を設定します。			
OUTPUT FADE TIME	0.0 ~ 1.0 ~ 4.0sec	フェード・イン/アウトの時間を設定します。		
OUTPUT FADE ASSIGN VIDEO	N/A、 BLACK 、WHITE、AUX	最終出力映像を、指定した映像でフェード・イン/アウトします。		
OUTPUT FADE ASSIGN AUDIO	DISABLE、 ENABLE	[ENABLE] にすると、出力音声映像と同時にフェード・イン/アウトします。		

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明		
AUDIO EFFECT ASSIGN	AUDIO EFFECT [1] ～ [3] ボタンに割り当てる機能を設定します。			
	AUDIO EFFECT 1 ～ 3			
	CATEGORY	VALUE 説明		
	N/A	---	機能を割り当てません。	
	AUDIO INPUT MUTE	(*)	入力音声のミュート機能をオン／オフします。	
	AUDIO OUTPUT MUTE	MAIN BUS AUX 1 ～ 2 BUS USB OUT STREAM/RECORD	出力音声のミュート機能をオン／オフします。	
	AUDIO INPUT SOLO	(*)	入力音声のソロ機能をオン／オフします。	
	AUDIO OUTPUT SOLO	MAIN BUS AUX 1 ～ 2 BUS	出力音声のソロ機能をオン／オフします。	
	HPF 80Hz	(*)	ハイパス・フィルター機能をオン／オフします。	
	ECHO CANCELLER	AUDIO IN 1 ～ 2	エコー・キャンセラー機能をオン／オフします。	
	ANTI-FEEDBACK	AUDIO IN 1 ～ 2	アンチ・フィードバック機能をオン／オフします。	
	NOISE GATE	(*)	ノイズ・ゲート機能をオン／オフします。	
	DE-ESSER	AUDIO IN 1 ～ 6	ディエッサー機能をオン／オフします。	
	COMPRESSOR	(*)	コンプレッサー機能をオン／オフします。	
	AUDIO IN EQ	(*)	入力音声のイコライザー機能をオン／オフします。	
	AUDIO OUT EQ	MAIN BUS AUX 1 ～ 2 BUS USB OUT STREAM/RECORD	出力音声のイコライザー機能をオン／オフします。	
	AUDIO OUT GEQ	MAIN BUS AUX 1 ～ 2 BUS	グラフィック・イコライザー機能をオン／オフします。	
	VOICE CHANGER	AUDIO IN 1 ～ 2	ボイス・チェンジャーをオン／オフします。	
	AUTO MIXING	---	オート・ミキシング機能をオン／オフします。	
	REVERB(MOMENTARY)	---	ボタンを押している間だけ、リバーブをオンにします。	
	REVERB(ALTERNATE)	---	リバーブをオン／オフします。	
	AUDIO OUT COMP/ LMT	MAIN BUS AUX 1 ～ 2 BUS	コンプレッサー／リミッター機能をオン／オフします。	
	LOUDNESS AGC	---	ラウドネス・オート・ゲイン・コントロール機能をオン／オフします。	
	ADAPTIVE NR	---	アダプティブ・ノイズ・リダクション機能をオン／オフします。	
	(*) AUDIO IN 1 ～ 7/8、USB IN、Bluetooth IN、AUDIO PLAYER、VIDEO 1 ～ 6、V.PLAYER			
	MONITOR SELECT ASSIGN	[MONITOR] ボタンで切り替えるモニタリング映像を設定します。		
		メニュー項目	設定値 説明	
		MONITOR SELECT 1 ～ 4	N/A	映像を割り当てません。
			MULTI-VIEW	最終出力映像、プレビュー出力映像、VIDEO SWITCHER [1] ～ [6] ボタンに割り当てられている映像を分割表示します (マルチビュー)。
			STILL-VIEW	読み込んだ静止画を 16 分割画面で表示します。
			PROGRAM	最終出力映像を表示します。
			SUB PROGRAM	SUB PROGRAM バスの映像を表示します。
PREVIEW			プレビュー出力映像を表示します。	
AUX			AUX バスの映像を表示します。	
AUDIO LEVEL			オーディオ・レベル画面を表示します。	
DASHBOARD	ENTER	ダッシュボード画面を表示します。		
MULTI-VIEW SETTINGS	ENTER	マルチビューの設定をします。		
TALLY FRAME	モニターにタリー枠を表示するかどうかを設定します。			
MULTI-VIEW	OFF、ON	MULTI-VIEW でのタリー枠表示をオン／オフします。		
STILL-VIEW	OFF、ON	STILL-VIEW でのタリー枠表示をオン／オフします。		
AUX/SOURCE INDICATOR	モニターに AUX インジケータ表示するかどうかを設定します。			
		色 説明		
	黄	PinP & KEY の子画面映像に選ばれていることを示します。		
	マゼンタ	DSK の映像ソースに選ばれていることを示します。		
	緑	AUX バスの映像ソースに選ばれていることを示します。		
MULTI-VIEW	OFF、ON	MULTI-VIEW での AUX インジケータ表示をオン／オフします。		
STILL-VIEW	OFF、ON	STILL-VIEW での AUX インジケータ表示をオン／オフします。		

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
EXTERNAL REC INDICATOR	モニターに REC インジケーターを表示するかどうかを設定します。 「ON」にすると、REC ステータス機能対応カメラの接続時に、カメラの REC ボタンが押されたことを示す REC インジケーターを表示します。	
MULTI-VIEW	OFF、 ON	MULTI-VIEW での REC インジケーター表示をオン/オフします。
AUDIO LEVEL METER	モニターにオーディオ・レベル・メーターを表示するかどうかを設定します。	
MULTI-VIEW	OFF、 ON	MULTI-VIEW での AUDIO LEVEL METER 表示をオン/オフします。
MULTI-VIEW LAYOUT	マルチビューの PVW セクション (LEFT) と PGM セクション (RIGHT) に表示する映像を設定します。	
LEFT RIGHT	PROGRAM	最終出力映像。「RIGHT」の初期値です。
	SUB PROGRAM	SUB PROGRAM バスの映像
	PREVIEW	プレビュー出力映像 (次に出力される映像)。「LEFT」の初期値です。
	AUX	AUX バスの映像
	BLACK	黒映像
PREVIEW LABEL	モニターにラベルを表示するかどうかを設定します。	
MULTI-VIEW	OFF、 ON	MULTI-VIEW でのラベル表示をオン/オフします。
STILL-VIEW	OFF、 ON	STILL-VIEW でのラベル表示をオン/オフします。
LABEL EDIT	ENTER	モニターに表示するラベル名を変更します。 [VALUE] つまみを押すと、LABEL EDIT 画面が表示されます。
	VIDEO IN 1 ~ 6、STILL 1 ~ 16、VIDEO PLAYER、PGM、SUB PGM、PVW、AUX	
LABEL SIZE	SMALL、 NORMAL	モニターに表示するラベルの文字サイズを設定します。
LED DIMMER	1 ~ 8	ボタンやインジケーターが点灯したときの明るさを調節します。
LCD DIMMER	1 ~ 8	本体モニターの明るさを調節します。
AUTO INPUT DETECT	OFF 、ON	オート・インプット・ディテクト機能のオン/オフを設定します。 「ON」にすると、最終出力している映像の入力が途切れたとき、自動的に入力を検知して映像を切り替えます。
AUTO FAN CONTROL	OFF、 ON	オート・ファン制御機能のオン/オフを設定します。 「ON」にすると、内部温度の状態に応じてファンを制御します。
TEST PATTERN	テスト・パターンを設定をします。	
TEST PATTERN	OFF 、COLOR BARS 75%、 COLOR BARS100%、 RAMP、STEP、HATCH、 DIAMOND、 CIRCLE、COLOR BARS 75%-SP、 COLOR BARS100%-SP、 RAMP-SP、STEP-SP、 HATCH-SP	表示するテスト・パターンを選びます。
MOTION	DISABLE 、SLOW、FAST	テスト・パターンのスクロール速度を設定します。
TEST TONE	テスト・トーンの設定をします。	
TEST TONE	OFF 、-20、-10、0dB	テスト・トーンの音量を調節します。
FREQUENCY L	500Hz、 1kHz 、2kHz	L チャンネルのテスト・トーンの周波数を設定します。
FREQUENCY R	500Hz、 1kHz 、2kHz	R チャンネルのテスト・トーンの周波数を設定します。
AUTO OFF(240min)	OFF、ON	操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます。
SHUT DOWN	EXEC	本体をシャットダウンします。
FACTORY RESET	EXEC	工場出荷時の状態に戻します。
SYSTEM INFORMATION	---	システム・プログラムのバージョンを表示します。

主な仕様

■ 映像							
映像処理	4 : 2 : 2 (Y/Pb/Pr)、8 ビット						
映像チャンネル数	6 チャンネル						
入力端子	VIDEO IN 1 ～ 6	HDMI タイプ A × 6 ※ HDCP、マルチフォーマット対応					
出力端子	VIDEO OUT 1 ～ 3	HDMI タイプ A × 3 ※ HDCP 対応					
	USB STREAM	USB Type-C®					
入力映像フォーマット	VIDEO IN 1 ～ 6	フレーム・レート設定					
		59.94Hz、60Hz		50Hz			
		480/59.94i	480/59.94p	576/50i	576/50p		
		720/59.94p		720/50p			
		1080/59.94i	1080/59.94p	1080/50i	1080/50p		
		1080/60p		1080/25p			
		1080/29.97p	1080/30p	1080/23.98p	1080/24p		
		1080/23.98p	1080/24p	VGA (640 × 480/60Hz)			
		VGA (640 × 480/60Hz)		SVGA (800 × 600/60Hz)			
		SVGA (800 × 600/60Hz)		XGA (1024 × 768/60Hz)			
		XGA (1024 × 768/60Hz)		WXGA (1280 × 800/60Hz)			
		WXGA (1280 × 800/60Hz)		SXGA (1280 × 1024/60Hz)			
		SXGA (1280 × 1024/60Hz)		FWXGA (1366 × 768/60Hz)			
		FWXGA (1366 × 768/60Hz)		SXGA+ (1400 × 1050/60Hz)			
		SXGA+ (1400 × 1050/60Hz)		UXGA (1600 × 1200/60Hz)			
		UXGA (1600 × 1200/60Hz)		WUXGA (1920 × 1200/60Hz)			
		WUXGA (1920 × 1200/60Hz)					
		※ リフレッシュ・レートは、各解像度の最大値です。					
		※ CEA-861-E、VESA DMT Version 1.0 Revision 11 準拠					
		※ 1920 × 1200/60Hz : Reduced blanking					
※ インターレースで入力された映像は、本体内の処理でプログレッシブに変換されます。							
出力映像フォーマット	VIDEO OUT 1 ～ 3	アウトプット・フォーマット設定	フレーム・レート設定				
			59.94Hz		60Hz		50Hz
		720p	720/59.94p	720/60p	720/50p		
		1080i	1080/59.94i	1080/60i	1080/50i		
		1080p	1080/59.94p	1080/60p	1080/50p		
		アウトプット・フォーマット設定	フレーム・レート設定				
			29.97Hz	30Hz	25Hz	23.98Hz	24Hz
	1080p	1080/29.97p	1080/30p	1080/25p	1080/23.98p	1080/24p	
	USB STREAM		フレーム・レート (USB STREAM) 設定				
			59.94Hz	60Hz	29.97Hz	30Hz	
			1080/59.94p	1080/60p	1080/29.97p	1080/30p	
			720/59.94p	720/60p	720/29.97p	720/30p	
			640 × 480/59.94p	640 × 480/60p	640 × 480/29.97p	640 × 480/30p	
フレーム・レート (USB STREAM) 設定							
50Hz			25Hz	23.98Hz	24Hz		
1080/50p			1080/25p	1080/23.98p	1080/24p		
720/50p			720/25p	720/23.98p	720/24p		
640 × 480/50p			640 × 480/25p	640 × 480/23.98p	640 × 480/24p		
※ 非圧縮 (YUY2) と圧縮 (Motion JPEG) に対応							

配信、録画フォーマット	配信、録画フォーマット	アウトプット・フォーマット設定	フレーム・レート (Stream/Record) 設定			
			59.94Hz	60Hz	29.97Hz	30Hz
		720p	720/59.94p	720/60p	720/29.97p	720/30p
		1080p	1080/59.94p	1080/60p	1080/29.97p	1080/30p
		アウトプット・フォーマット設定	フレーム・レート (Stream/Record) 設定			
			50Hz	25Hz	23.98Hz	24Hz
		720p	720/50p	720/25p		
		1080p	1080/50p	1080/25p	1080/23.98p	1080/24p
	ファイル・フォーマット	MP4	コーデック: H.264、ターゲット・ビットレート最大 20,000kbps AAC LC 48kHz 16bit ステレオ、ターゲット・ビットレート最大 384kbps			
		WAV	コーデック: リニア PCM、16bit、48kHz、ステレオ			
		※ 配信、録画フォーマット、ビデオ・プレーヤーで再生するファイルのいずれかが 1080/30p を超える場合、配信、録画機能とビデオ・プレーヤー機能を同時に使用できません。				
		※ 配信、録画ビットレート設定と、ビデオ・プレーヤーで再生するファイルのビットレートの合計が 20,000kbps を超える場合、配信、録画機能とビデオ・プレーヤー機能を同時に使用できません。				
ビデオ・プレーヤー	ファイル・フォーマット	MP4 (H.264、AAC)、平均ビットレート 20,000kbps 以下、最大 1080/60p				
	※ 配信、録画フォーマット、ビデオ・プレーヤーで再生するファイルのいずれかが 1080/30p を超える場合、配信、録画機能とビデオ・プレーヤー機能を同時に使用できません。					
	※ 配信、録画ビットレート設定と、ビデオ・プレーヤーで再生するファイルのビットレートの合計が 20,000kbps を超える場合、配信、録画機能とビデオ・プレーヤー機能を同時に使用できません。					
静止画 (Still Image)	ファイル・フォーマット	Bitmap File (.bmp): 最大 1920×1080、24 ビットカラー、非圧縮 PNG File (.png): 最大 1920×1080、24 ビットカラー JPG File (.jpg .jpeg): 最大 1920×1080、24 ビットカラー ※ 最大 16 枚まで内蔵不揮発メモリーに記憶可能 ※ SD カード、USB メモリーに書き出し可能 ※ PNG アルファ・チャンネル対応				
映像エフェクト	切り替え	カット、ミックス (ディゾルブ / Fam / Nam)、ワイプ (8 種類)、スプリット (2 種類)				
	合成	ピクチャーインピクチャー×2 (四角型、丸型、ひし型)、キー×2 (ルミナンス・キー、クロマ・キー) DSK (ルミナンス・キー、クロマ・キー、アルファ・キー、エクスターナル・キー)				
	その他	マルチビュー (3 種類)、左右反転、上下反転、静止画キャプチャー、静止画再生、アウトプット・フェード (音声、映像: 白または黒)、テスト・パターン出力、配信ディレイ				

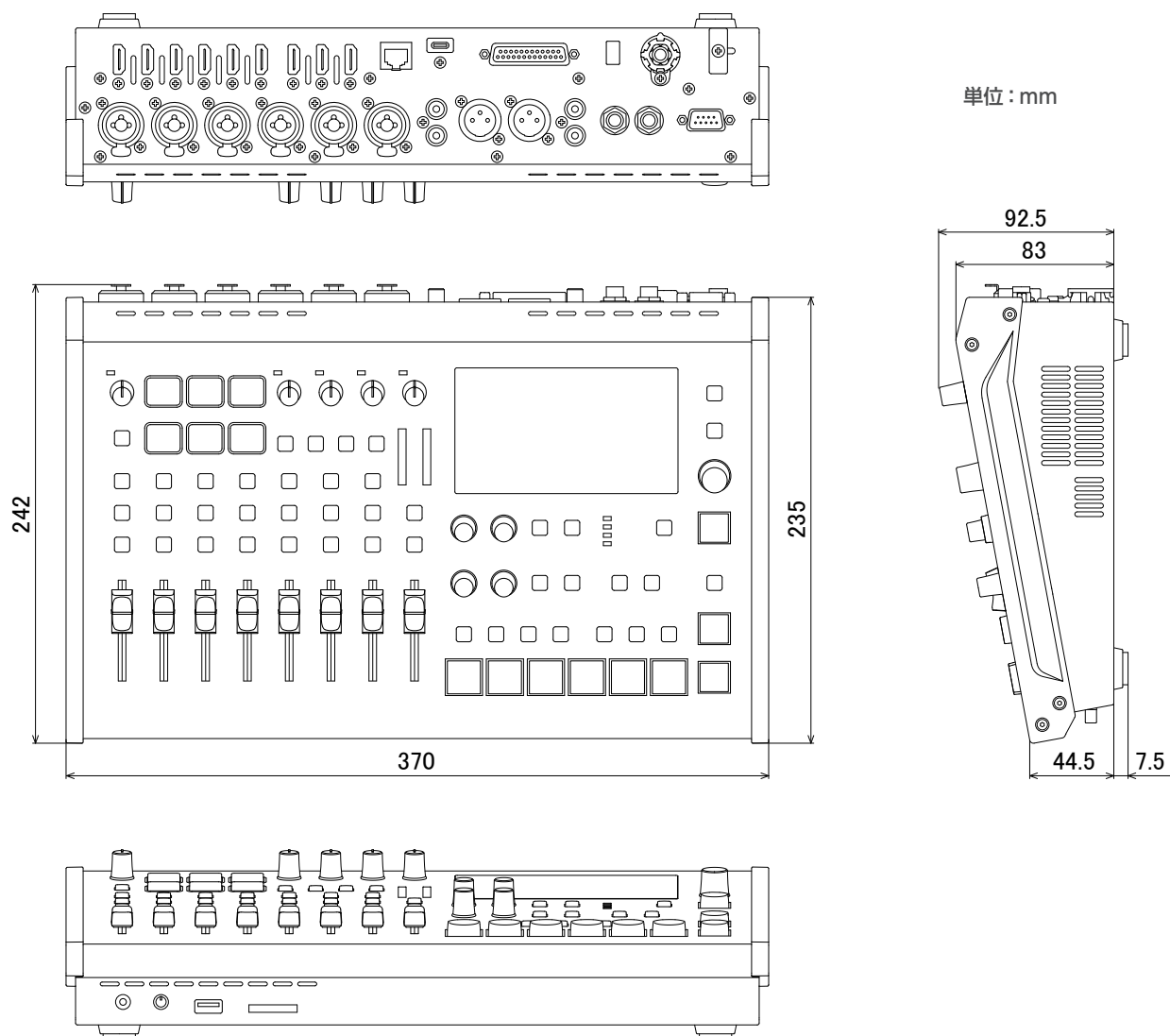
■ 音声			
音声処理	サンプル・レート	24 ビット、48kHz	
音声チャンネル数	28 チャンネル		
オーディオ・フォーマット	USB STREAM (入力／出力)	リニア PCM、24 ビット、48kHz、2ch	
	Bluetooth IN (入力)	リニア PCM、24 ビット、48kHz、2ch	
	VIDEO IN	リニア PCM、24 ビット、48kHz、2ch	
	VIDEO OUT	リニア PCM、24 ビット、48kHz、8ch	
オーディオ・プレーヤー	ファイル・フォーマット	WAV (リニア PCM、16 ビット、48kHz／44.1kHz、ステレオ) ※ 最大 16 曲まで内蔵不揮発メモリーに記憶可能	
オーディオ・エフェクト	チャンネル・エフェクト	ハイパス・フィルター、エコー・キャンセラー、アンチ・フィードバック、ノイズ・ゲート、ディエッサー、コンプレッサー、4 バンド・イコライザー、ボイス・チェンジャー、ディレイ、オート・ミキシング	
	マスター・エフェクト	リバーブ、4 バンド・イコライザー、コンプレッサー／リミッター、ラウドネス・オート・ゲイン・コントロール、アダプティブ・ノイズ・リダクション、ロー・フリケンシー・カット、15 バンド GEQ、ディレイ	
	その他	アウトプット・フェード、テスト・トーン出力	
入力端子	アナログ	AUDIO IN 1 ～ 6	コンボ・タイプ (XLR、TRS 標準)、ファンタム電源 (DC 48V、14mA Max)
		AUDIO IN 7/L、8/R	RCA ピン・タイプ
	デジタル	USB STREAM	USB Type-C®
		Bluetooth IN	
		VIDEO IN 1 ～ 6	HDMI タイプ A × 6
出力端子	アナログ	AUDIO OUT 1/L、2/R	XLR タイプ
		AUDIO OUT 3/L、4/R	RCA ピン・タイプ
		PHONES	ステレオ・ミニ・タイプ
	デジタル	USB STREAM	USB Type-C®
		VIDEO OUT 1 ～ 3	HDMI タイプ A × 3
規定入力レベル	AUDIO IN 1 ～ 6	-64 ～ +4dBu (最大入力レベル：+24dBu)	
	AUDIO IN 7/L、8/R	-10dBu (最大入力レベル：+10dBu)	
入力インピーダンス	AUDIO IN 1 ～ 6	8.4k Ω	
	AUDIO IN 7/L、8/R	10k Ω	
規定出力レベル	AUDIO OUT 1/L、2/R (XLR)	+4dBu (最大出力レベル：24dBu)	
	AUDIO OUT 3/L、4/R (RCA)	-10dBu (最大出力レベル：10dBu)	
	PHONES	92mW + 92mW (32 Ω負荷時)	
出力インピーダンス	AUDIO OUT 1/L、2/R (XLR)	600 Ω	
	AUDIO OUT 3/L、4/R (RCA)	1k Ω	
	PHONES	33 Ω	

■ その他		
外部記録メディア	SDHC/SDXC カード（市販品）	※ ビデオ録画には SDXC カードが必要です。
	USB メモリー（市販品）	
その他の端子	USB HOST	USB A タイプ（USB メモリー用）
	USB STREAM	USB Type-C®（パソコンや iPad を接続してのリモート用）
	Bluetooth 接続	iPad を接続してのリモート用
	CTL/EXP 1、2	TRS 標準タイプ（フットスイッチ、エクスプレッション・ペダルを接続してのリモート用）
	TALLY/GPIO	25 ピン D-sub タイプ（メス）（TALLY/GPO：16、GPI：8）
	RS-232	9 ピン D-sub タイプ（オス）（外部制御用）
	DIRECT STREAM	RJ-45、1000BASE-T（配信、外部制御用）
その他の機能	シーン・メモリー（32 個）、マクロ・コントロール（100 個）、シーケンサー・コントロール（1000 個）、パネル・ロック機能、EDID エミュレーター、オート・スイッチング、オート・インプット・ディテクト、スマート・タリ、リモート・カメラ制御（最大 6 台）、外部 REC コントロール	
Bluetooth 機能	標準規格 Ver 5.0	
	対応プロファイル	A2DP（オーディオ）、GATT（MIDI over Bluetooth Low Energy）
	対応コーデック	SBC（SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応）
ディスプレイ	4.3 インチ・グラフィック・カラー LCD（WVGA 480 × 272dots）タッチスクリーン	
電源	AC アダプター	
消費電流	2.3A	
消費電力	55W	
動作温度	0 ～ +40℃	
外形寸法	370（幅）× 242（奥行）× 100（高さ）mm	
質量	3.4kg（AC アダプターを除く）	
付属品	スタートアップ・ガイド、「安全上のご注意」チラシ、AC アダプター、電源コード、保証書	
別売品	フットスイッチ：BOSS FS-5U、FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：EV-5、EV-30、BOSS FV-500L、FV-500H	

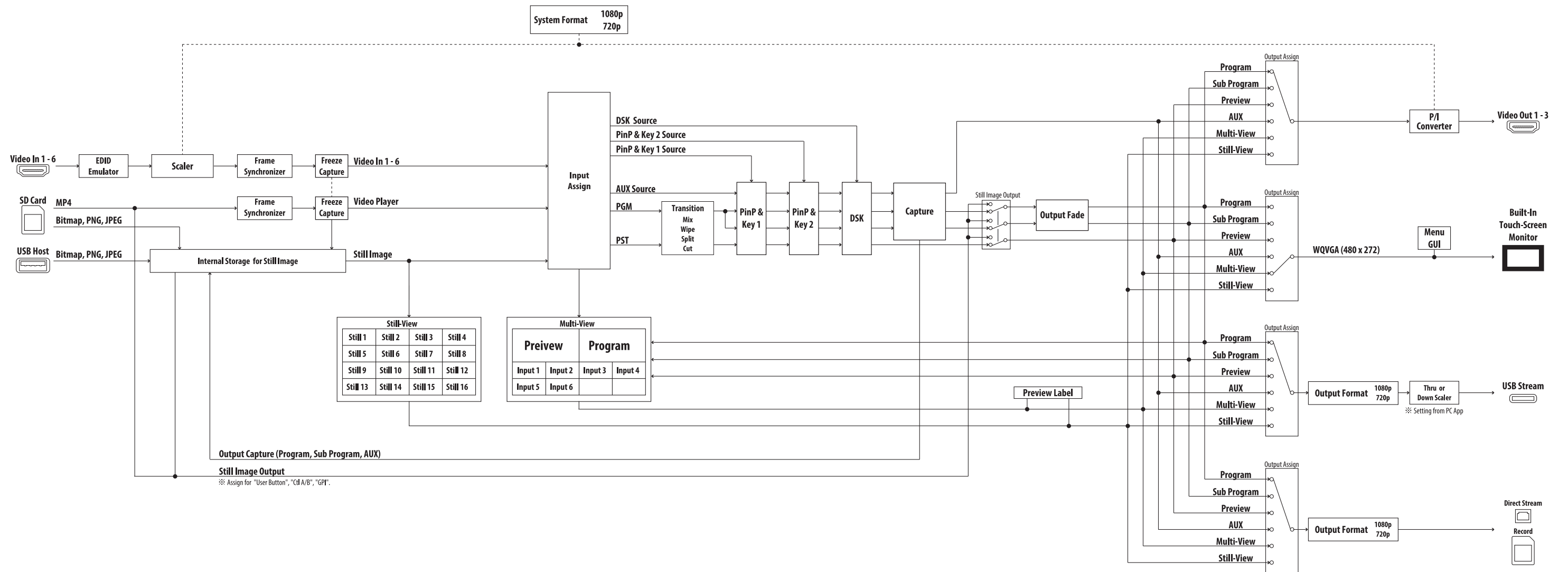
※ OdBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

外形寸法図



ビデオ・ブロック・ダイアグラム



オーディオ・ブロック・ダイアグラム

